

# 第 1 章

東京都感染症発生動向調査事業における患者情報



# 東京都感染症発生動向調査事業報告

2015 年

(2014 年 12 月 29 日～2016 年 1 月 3 日)

2012 年 9 月以降、サウジアラビアやアラブ首長国連邦など中東地域で広く発生していた中東呼吸器症候群 (MERS) は 2014 年 7 月に感染症法の指定感染症となり、2015 年 1 月には感染症法の二類感染症として追加されました。2015 年 5 月にわが国の隣国である韓国で MERS の最初の患者が確認され、その後 12 月の終息までに感染者 186 人 (このうち死亡者 38 人) の大きな流行となりました。幸いなことに我が国での MERS の発生はありませんでした。

一方 1947 年ウガンダのジカ森林のアカゲザルから初めて分離されたジカウイルスは、2013 年にフランス領ポリネシアで約 1 万人の感染が報告され 2014 年にはチリのイースター島、2015 年にはブラジル及びコロンビアを含む南アメリカ大陸での流行が見られました。日本への最初の輸入症例はフランス領ポリネシアでの感染症例でした。こうした状況からわが国は 2016 年 2 月にジカウイルス感染症を四類感染症の届け出疾患として追加し、対策を開始しております。また 2016 年 3 月に WHO は妊娠中のジカウイルス感染と胎児の小頭症との関連が示唆されることから、妊婦はジカウイルス流行地域への渡航をするべきでないとの勧告を行っています。

2015 年の小児科・内科の定点把握疾患では、インフルエンザ、水痘、ヘルパンギーナの 3 疾患が前年より報告数が減少しました。一方、9 疾患で報告数が増加しており、特に RS ウイルス感染症、A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎、手足口病、伝染性紅斑の 4 疾患はここ 10 年で最多の報告数になっています。報告数が減少しているインフルエンザは 2015/16 シーズンの流行開始が遅く 2016 年 1 週 (1.4～1.10) になって定点当たり 1.67 件の報告数があり、流行開始の目安である 1.00 件を超えています。流行開始の遅れが暖冬の影響なのか、また 2015/16 シーズンに初めて導入されたインフルエンザ 4 価ワクチンの評価など今後の検討が待たれます。

本年も報告書を取りまとめることができました。これはひとえに定点医療機関の諸先生方を始め調査事業にご協力いただいた多くの医療関係者の方々のお力添えによるものです。改めて厚くお礼を申しあげます。またご指導いただいた東京都医師会の鳥居明理事、副委員長の岡部信彦、武隈孝治の両先生を始めとする検討委員会の先生方、事務局の皆様にご感謝申し上げます。

平成 28 年 7 月

東京都医師会感染症予防検討委員会  
委員長 長岡常雄

## 1 発生動向調査の概略

### (1) 調査対象疾患

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」及び「感染症発生動向調査事業実施要綱」に定められている全数把握対象疾患及び定点把握対象疾患に加え、厚生労働省令で定める二つの疑似症をサーベイランスの調査対象としている。また、東京都が独自に指定する調査対象疾患として、不明発しん症と川崎病を小児科疾患、臍トリコモナス症と梅毒様疾患を性感染症に加えている。

2015年1月に、中東呼吸器症候群と鳥インフルエンザ（H7N9）が指定感染症から二類感染症へ変更された。

### (2) 定点医療機関

患者定点となる医療機関数は、小児科定点 264、内科定点 155、眼科定点 39、基幹定点 25、性感染症定点 55、疑似症単独定点 24 が設定され、このうち 70 医療機関が病原体定点を兼ねている。なお、小児科定点と内科定点は、インフルエンザ定点及び疑似症定点としての機能も果たしている。

表 1 東京都感染症発生動向調査事業定点医療機関数

(2015年12月31日現在)

定点種別 (疾患数)	患者定点数	病原体定点数
小児科定点 (14)	264	26
内科定点 (1)	155	15
眼科定点 (2)	39	4
基幹定点 (9)	25	21
性感染症定点 (6)	55	4
疑似症単独定点 (2)	24	

### (3) 運営方法

全数把握対象疾患は、診断後直ちに（五類感染症は7日以内、ただし侵襲性髄膜炎菌感染症及び麻しんは診断後直ちに）保健所に届出が行われるほか、小児科定点、内科定点、眼科定点及び基幹定点からの報告は週単位で、性感染症定点からの報告は月単位でなされる。ただし、基幹定点から報告される一部の疾患（薬剤耐性菌による感染症）については月単位となっている。

週単位で報告される疾患については、毎週月曜日から日曜日までに診断された患者を、小児科、内科、眼科の各定点医療機関は年齢別の患者数、基幹定点医療機関は年齢及び検出病原体名を所定の調査票に記入し保健所に送付する。

月単位で報告される疾患については、性感染症定点医療機関は当該月の年齢別患者数、基幹定点医療機関は当該月の患者の年齢、検体採取部位を所定の調査票に記入し保健所に送付する。

疑似症サーベイランスでは、疑似症定点医療機関において報告基準を満たす患者が発生した場合に、症例分類、年齢、性別を、所定の調査票に記入し直ちに保健所に送付する（疑似症単独定点は、疑似症サーベイランスシステムへ直接入力する）。なお、発生がない場合であってもその旨週単位で報告する。

医療機関から届いた情報は、保健所が発生動向調査システム及び疑似症サーベイランスシステムに

入力する。東京都健康安全研究センター疫学情報担当（基幹地方感染症情報センター）は、保健所からの情報を確認後、国へ送信する。

#### （４）情報発信

患者情報は、全国の情報及び病原体定点で採取された検体からの病原体検出結果と共に、「感染症週報」として東京都感染症情報センターホームページ（<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp>）で公開され、広く都民に情報還元が図られている。さらに都医ニュースの特定の感染症を取り上げ、週報に「感染症豆知識」として掲載している。

また、隔月第４木曜日を目途に開催される東京都感染症予防検討委員会において直近２か月分の情報について討議し、その情報は東京都医師会雑誌に「感染症だより」として掲載されている。

## ２ 本年（2015年）の概況

### （１）一～四類、五類（全数把握対象）、指定感染症

#### ア 一類感染症

一類感染症の届出はなかった。

#### イ 二類感染症

急性灰白髄炎、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群、中東呼吸器症候群、鳥インフルエンザ（H5N1）、鳥インフルエンザ（H7N9）の届出はなく、結核については別途「東京都における結核の概況」として報告する。

#### ウ 三類感染症

コレラ：2015年は１人届出があり、推定感染地は国外であった。

細菌性赤痢：53人届出があった。菌型の内訳は *sonnei* 41件、*flexneri* 9件、*boydii* 3件で、推定感染地は国内23人、国外30人であった。

腸管出血性大腸菌感染症：335人届出があり、患者257人（うち溶血性尿毒症症候群6人）、無症状病原体保有者78人であった。血清型・毒素型では、O157 VT1・VT2が検出された例が116件で最も多かった。

腸チフス：14人届出があり、推定感染地は国外13人、国内又は国外1人であった。

パラチフス：9人届出があり、推定感染地はすべて国外であった。

#### エ 四類感染症

E型肝炎：39人届出があり、性別は男性32人、女性7人であった。推定感染地は国内36人、国外2人、国内又は国外1人であった。

A型肝炎：40人届出があり、推定感染地は国内30人、国外8人、国内又は国外2人であった。

エキノコックス症：1人届出があった。

コクシジオイデス症：2人届出があった。

チクングニア熱：7人届出があり、推定感染地はすべて国外であった。

つつが虫病：14人届出があり、推定感染地は国内12人、国外2人であった。

デング熱：92人（うちデング出血熱2人）届出があり、推定感染地はすべて国外であった。

**日本紅斑熱**：1人届出があった。

**ブルセラ症**：2人届出があった。

**マラリア**：16人届出があった。病型は熱帯熱マラリア 11人、三日熱マラリア 3人、四日熱マラリア 1人、不明 1人であり、推定感染地はすべて国外であった。

**ライム病**：2人届出があった。

**類鼻疽**：1人届出があった。

**レジオネラ症**：153人届出があり、病型は肺炎型 146人、ポンティアック熱型 6人、無症状病原体保有者 1人で、死亡例が 3人見られた。水系感染によると推定された届出は 53人であった。

**レプトスピラ症**：10人届出があり、推定感染地は国内 8人、国外 2人であった。

四類感染症のうち、ウエストナイル熱、黄熱、オウム病、オムスク出血熱、回帰熱、キャサヌル森林病、Q熱、狂犬病、サル痘、重症熱性血小板減少症候群（病原体がフレボウイルス属 SFTS ウイルスであるものに限る。）、腎症候性出血熱、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、炭疽、東部ウマ脳炎、鳥インフルエンザ（H5N1 及び H7N9 を除く）、ニパウイルス感染症、日本脳炎、ハンタウイルス肺症候群、B ウイルス病、鼻疽、ベネズエラウマ脳炎、ヘンドラウイルス感染症、発しんチフス、ボツリヌス症、野兎病、リッサウイルス感染症、リフトバレー熱、ロッキー山紅斑熱の届出はなかった。

#### オ 五類感染症（全数把握対象）

**アメーバ赤痢**：205人届出があった。腸管アメーバ症 172人、腸管外アメーバ症 27人、腸管及び腸管外アメーバ症 6人であった。推定感染経路は、性的接触 77人、飲食物による経口感染 38人、2経路以上 6人、不明 84人であった。

**ウイルス性肝炎**：53人届出があった。内訳は、B型肝炎 41人、C型肝炎 11人、サイトメガロウイルス肝炎 1人であり、推定感染地は国内 48人、国外 4人、国内又は国外 1人であった。

**カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症**：236人届出があった。分離された菌種のうち *Enterobacter cloacae* が 122件、*Enterobacter aerogenes* が 63件、*Klebsiella pneumoniae* が 11件、*Escherichia coli* が 11件、*Serratia marcescens* が 10件、*Citrobacter freundii* が 5件であった。

**急性脳炎**：47人届出があった。病原体はインフルエンザウイルス 11件、アデノウイルス 2件、エンテロウイルス 2件、ヒトヘルペスウイルス 2件、単純ヘルペスウイルス 2件、サルモネラ菌 2件、ロタウイルス 1件、マイコプラズマ 1件、不明 24件であった。

**クリプトスポリジウム症**：3人届出があった。推定感染経路では性的接触による感染が 1人、経口感染 1人、性的接触または経口感染 1人であった。

**クロイツフェルト・ヤコブ病 (CJD)**：24人届出があり、孤発性プリオン病が 23人、感染性プリオン病が 1人であった。

**劇症型溶血性レンサ球菌感染症**：62人届出があった。血清型は A 群 35件、B 群 11件、G 群 11件、不明 5件で、死亡例は 13人報告された。

**後天性免疫不全症候群**：435人届出があり、AIDS 患者 71人、その他（指標疾患以外の有症者） 51人、HIV 感染者（無症候性キャリア） 313人であった。推定感染地は国内 358人、国外 31人、国内又は国外 3人、不明 43人で、推定感染経路では性的接触 394人のほか、静注薬物使用 1人、入れ墨 1人などが見られた。

**ジアルジア症**：19人届出があり、推定感染地は国内 10人、国外 9人、推定感染経路は飲食物による経口感染 8人などのほか、性的接触による感染が 3人見られた。

**侵襲性インフルエンザ菌感染症**：29 人届出があった。血清型は b 群 3 人、f 型 1 人、判定不能 7 人、不明 18 人であった。ワクチン接種歴は、4 回接種が 2 人、1 回接種が 1 人のほか、接種なし 7 人、不明 19 人であった。

**侵襲性髄膜炎菌感染症**：8 人届出があり、血清群は Y 群 3 人、W-135 群 2 人、B 群 1 人、C 群 1 人、Y 群及び W-135 群 1 人であった。ワクチン接種歴は、なし 4 人、不明 4 人であった。

**侵襲性肺炎菌感染症**：323 人届出があった。血清型は 24F 型 12 人、15A 型 9 人、12F 型 8 人、19A 型 8 人、35B 型 5 人、3 型 4 人、10A 型 4 人、1 型 2 人、4 型 2 人、7F 型 2 人、24B 型 2 人、34 型 2 人、8 型 1 人、9V 型 1 人、11A 型 1 人、15B 型 1 人、15C 型 1 人、18C 型 1 人、20 型 1 人、22 型 1 人、23A 型 1 人、24A 型 1 人、38 型 1 人、24 (24A 又は 24B 又は 24F) 型 2 人、不明 250 人であった。ワクチン接種歴は 4 回接種 38 人、3 回接種 15 人、2 回接種 2 人、1 回接種 14 人、なし 143 人、不明 111 人であった。

**水痘 (入院例)**：55 人届出があった。ワクチン接種歴は 1 回接種 7 人、なし 20 人、不明 28 人であった。

**梅毒**：1,044 人届出があり、調査開始以降で最多となった。早期顕症梅毒 I 期 304 人、早期顕症梅毒 II 期 443 人、晩期顕症梅毒 22 人、無症候 273 人、先天梅毒 2 人であった。

**播種性クリプトコックス症**：11 人届出があった。推定感染国はすべて国内で、推定感染原因はすべて免疫不全であった。

**破傷風**：2 人届出があり、推定感染地はすべて国内であった。

**バンコマイシン耐性腸球菌感染症**：2 人届出があった。菌種はすべて *Enterococcus faecium*、耐性遺伝子はすべて *vanB* であった。

**風しん**：33 人届出があり、推定感染地は国内 29 人、国外 3 人、国内又は国外 1 人であった。ワクチン接種歴は、2 回接種 1 人、1 回接種 8 人、接種歴なし 6 人、不明 18 人であった。

**麻疹**：10 人届出があり、推定感染地は国内 6 人、国外 4 人であった。ワクチン接種歴は、接種なし 5 人、不明 5 人であった。

**薬剤耐性アシネトバクター感染症**：13 人届出があった。

五類感染症のうち、先天性風しん症候群 (CRS)、バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症の届出はなかった。

## (2) 五類感染症 (定点把握対象)

### ア 小児科・内科疾患

2014 年と比較して定点当たり 10%以上報告数が減少した疾患はインフルエンザ、水痘、ヘルパンギーナの 3 疾患であった。定点当たりの報告数が前年並みであった疾患は咽頭結膜熱、感染性胃腸炎、突発性発しんの 3 疾患であった。定点当たり前年比 10%以上増加した疾患は RS ウイルス感染症、A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎、手足口病、伝染性紅斑、百日咳、流行性耳下腺炎、不明発しん症、川崎病の 8 疾患であった。

### [前年比減少疾患]

**インフルエンザ**：2015 年の報告数は 59,435 件、定点当たり 145.11 件であった。定点当たりの当年/前年比は 0.39 であった。

**水痘**：2015 年の報告数は 6,765 件、定点当たり 26.04 件であった。定点あたりの当年/前年比は 0.66

であった。

**ヘルパンギーナ**：2015年の報告数は7,200件、定点当たり27.91件であった。定点当たりの当年/前年比は0.46であった。

#### [前年並みであった疾患]

**咽頭結膜熱**：2015年の報告数は5,385件、定点当たり20.77件であった。定点当たりの当年/前年比は0.96であった。

**感染性胃腸炎**：2015年の報告数は91,052件、定点当たり350.13件であった。定点当たりの当年/前年比は1.08であった。

**突発性発しん**：2015年の報告数は7,816件、定点当たり30.10件であった。定点当たりの当年/前年比は0.97であった。

#### [前年比増加疾患]

**RSウイルス感染症**：2015年の報告数は7,197件、定点当たり27.82件であった。定点当たりの当年/前年比は1.17であった。

**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**：2015年の報告数は35,039件、定点当たり134.57件であった。定点当たりの当年/前年比は1.27であった。

**手足口病**：2015年の報告数は32,599件、定点当たり126.39件であった。定点当たりの当年/前年比は5.39であった。

**伝染性紅斑**：2015年の報告数は10,174件、定点当たり39.08件であった。定点当たりの当年/前年比は2.01であった。

**百日咳**：2015年の報告数は300件、定点当たり1.15件であった。定点あたりの当年/前年比は1.89であった。

**流行性耳下腺炎**：2015年の報告数は4,883件、定点当たり18.83件であった。定点当たりの当年/前年比は1.63であった。

**不明発しん症**：2015年の報告数は1,312件、定点当たり5.06件であった。定点当たりの当年/前年比は1.14であった。

**川崎病**：2015年の報告数は199件、定点当たり0.77件であった。定点当たりの当年/前年比は1.12であった。

#### イ 眼科疾患

**急性出血性結膜炎**：報告数は14人、定点当たり0.36人だった。過去10年間で定点あたり報告数が最少だった2014年(0.34人)とほぼ同等の少ない報告だった。

**流行性角結膜炎**：報告数は1,256人、定点当たり32.49人だった。2007年と2012年に報告数が多かったが、2015年は2007年や2012年と同等に多い報告だった。

#### ウ 基幹定点における週報告疾患

**細菌性髄膜炎**：2015年の報告数は39件で、定点当たり1.56件であった。定点当たりの当年/前年比は1.77であった。

**無菌性髄膜炎**：2015年の報告数は72件、定点当たり2.88件であった。定点当たりの当年/前年比は

0.70 であった。

**マイコプラズマ肺炎**：2015 年の報告数は 770 件、定点当たり 30.85 件であった。定点当たりの当年/前年比は 3.29 であった。

**クラミジア肺炎（オウム病を除く）**：2015 年の報告数は 59 件、定点当たり 2.36 件であった。定点当たりの当年/前年比は 2.81 であった。

**感染性胃腸炎（ロタウイルスによる）**：2015 年の報告数は 99 件、定点当たり 3.96 件であった。定点当たりの当年/前年比は 0.74 であった。

**インフルエンザ入院**：2015 年の報告数は 486 件、定点当たり 19.44 件であった。定点当たりの当年/前年比は 0.66 であった。

## エ 基幹定点における月報告疾患

**メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症**：2015 年の報告数は 877 件、定点当たり 35.21 件であった。定点当たりの当年/前年比は 0.97 であった。

**ペニシリン耐性肺炎球菌感染症**：2015 年の報告数は 158 件、定点当たり 6.36 件であった。定点当たりの当年/前年比は 0.85 であった。

**薬剤耐性緑膿菌感染症**：2015 年の報告数は 28 件、定点当たり 1.12 件であった。定点当たりの当年/前年比は 1.33 であった。

## オ 性感染症

**性器クラミジア感染症**：報告数は 2,678 人であり、そのうち男性は 1,519 人、定点当たり 27.84 人（前年比 1.11）、女性は 1,159 人、定点当たり 21.24 人（前年比 1.07）であった。

**性器ヘルペスウイルス感染症**：報告数は 1,329 人であった。男性 920 人、定点当たり 16.87 人（前年比 1.11）、女性 409 人、定点当たり 7.50 人（前年比 0.86）で、2006 年以降男性に多い状況が続いている。

**尖圭コンジローマ**：報告数は 1,237 人であった。男性 940 人、定点当たり 17.23 人（前年比 1.40）、女性 297 人、定点当たり 5.45 人（前年比 0.92）で、男性が多い。

**淋菌感染症**：報告数は 1,394 人であった。男性 1,005 人、定点当たり 18.42 人（前年比 1.14）、女性 389 人、定点当たり 7.13 人（前年比 1.00）で、男性は女性の 2 倍以上の報告数が続いている。

**膣トリコモナス症**：報告数は 151 人であり、男性 10 人、定点当たり 0.18 人（前年比 2.50）、女性 141 人、定点当たり 2.58 人（前年比 1.13）であった。

**梅毒様疾患**：報告数は 221 人であり、男性 141 人、定点当たり 2.58 人（前年比 1.37）、女性 80 人、定点当たり 1.47 人（前年比 2.40）であった。過去 10 年の定点当たり患者報告数では、男女とも、徐々に増加傾向である。

### （3）疑似症（法第 14 条第 1 項に規定する厚生労働省令で定める疑似症）

摂氏 38℃以上の発熱及び呼吸器症状（明らかな外傷又は器質的疾患に起因するものを除く。）は 126 人、発熱及び発しん又は水疱は 21 人報告があった。

表2-1(1) 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数

(一～四類、五類全数、新型)

		2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年
一類	エボラ出血熱	-	-	-	-	-	-	-
	クリミア・コンゴ出血熱	-	-	-	-	-	-	-
	痘そう	-	-	-	-	-	-	-
	南米出血熱	-	-	-	-	-	-	-
	ペスト	-	-	-	-	-	-	-
	マールブルグ病	-	-	-	-	-	-	-
	ラッサ熱	-	-	-	-	-	-	-
二類	急性灰白髄炎	-	-	1	-	-	-	-
	結核	3,219	3,045	3,022	2,874	2,671	2,533	集計中
	ジフテリア	-	-	-	-	-	-	-
	重症急性呼吸器症候群	-	-	-	-	-	-	-
	中東呼吸器症候群 <sup>*11</sup>	/	/	/	/	/	-	-
	鳥インフルエンザ(H5N1) <sup>*1</sup>	-	-	-	-	-	-	-
	鳥インフルエンザ(H7N9) <sup>*8</sup>	/	/	/	/	-	-	-
三类	コレラ	3	2	3	-	-	3	1
	細菌性赤痢	48	86	86	75	36	41	53
	腸管出血性大腸菌感染症	317	339	257	258	382	362	335
	腸チフス	11	12	6	13	23	27	14
	パラチフス	12	5	9	11	20	8	9
四類	E型肝炎	6	9	9	21	32	27	39
	ウエストナイル熱	-	-	-	-	-	-	-
	A型肝炎	24	45	27	35	19	38	40
	エキノкокクス症	1	1	2	1	-	-	1
	黄熱	-	-	-	-	-	-	-
	オウム病	1	-	3	-	2	3	-
	オムスク出血熱	-	-	-	-	-	-	-
	回帰熱	-	-	-	1	-	-	-
	キャサナル森林病	-	-	-	-	-	-	-
	Q熱	1	-	-	-	3	-	-
	狂犬病	-	-	-	-	-	-	-
	コクシジオイデス症	1	1	2	1	4	-	2
	サル痘	-	-	-	-	-	-	-
	重症熱性血小板減少症候群 <sup>*5</sup>	/	/	/	/	-	-	-
	腎症候性出血熱	-	-	-	-	-	-	-
	西部ウマ脳炎	-	-	-	-	-	-	-
	ダニ媒介脳炎	-	-	-	-	-	-	-
	炭疽	-	-	-	-	-	-	-
	チクングニア熱 <sup>*2</sup>	/	/	-	3	4	5	7
	つつが虫病	14	14	13	19	12	18	14
	デング熱	32	70	27	56	66	163	92
	東部ウマ脳炎	-	-	-	-	-	-	-
	鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)	-	-	-	-	-	-	-
	ニパウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-
	日本紅斑熱	-	1	1	-	-	-	1
	日本脳炎	-	-	1	-	-	-	-
	ハンタウイルス肺症候群	-	-	-	-	-	-	-
	Bウイルス病	-	-	-	-	-	-	-
	鼻疽	-	-	-	-	-	-	-
	ブルセラ症	1	-	-	-	-	4	2
	ベネズエラウマ脳炎	-	-	-	-	-	-	-
	ヘンドラウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-
発しんチフス	-	-	-	-	-	-	-	
ポツリヌス症	-	-	-	-	-	-	-	
マラリア	26	27	27	24	12	27	16	
野兔病	-	-	-	-	-	-	-	
ライム病	1	1	3	-	7	2	2	

		2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年
四 類	リッサウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-
	リフトバレー熱	-	-	-	-	-	-	-
	類鼻疽	-	1	-	-	1	-	1
	レジオネラ症	53	55	72	60	80	107	153
	レプトスピラ症	-	2	5	6	6	6	10
	ロッキー山紅斑熱	-	-	-	-	-	-	-
五 類 (全 数 届 出)	アメーバ赤痢	140	180	178	198	187	229	205
	ウイルス性肝炎(A型・E型を除く)	35	48	40	60	72	48	53
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症*9	/	/	/	/	/	56	236
	急性脳炎	45	14	19	33	46	52	47
	クリプトスポリジウム症	4	3	2	2	7	82	3
	クロイツフェルト・ヤコブ病	19	15	13	18	19	17	24
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	10	19	30	23	37	41	62
	後天性免疫不全症候群	471	509	409	461	469	512	435
	ジアルジア症	24	13	13	16	22	15	19
	侵襲性インフルエンザ菌感染症*6	/	/	/	/	12	22	29
	侵襲性髄膜炎菌感染症*6	/	/	/	/	11	9	8
	侵襲性肺炎球菌感染症*6	/	/	/	/	124	225	323
	水痘(入院例)*9	/	/	/	/	/	11	55
	髄膜炎菌性髄膜炎*7	1	-	2	-	-	/	/
	先天性風しん症候群	-	-	-	-	13	3	-
	梅毒	196	173	248	297	419	507	1,044
	播種性クリプトコックス症*9	/	/	/	/	/	4	11
	破傷風	7	5	8	5	4	10	2
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	-	-	-	-	-	-	-
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	15	17	6	10	8	6	2
風しん*3	19	15	32	672	3,445	99	33	
麻しん*3	110	76	178	84	69	94	10	
薬剤耐性アシネトバクター感染症*10	/	/	/	/	/	3	13	
新型	新型インフルエンザ*4	1,160	/	/	/	/	/	/

- \*1 2008年5月12日より追加指定。  
 \*2 2011年2月1日より追加指定。  
 \*3 2008年1月1日より五類(定点把握対象)から五類(全数把握対象)に変更。  
 \*4 AH1pdm09は、2009年4月28日に新型インフルエンザ等感染症に指定。全数届け出は2009年7月23日まで。  
 \*5 2013年3月4日より追加指定。  
 \*6 2013年4月1日より髄膜炎菌性髄膜炎に替わり指定。  
 \*7 2003年11月5日より四類(全数把握対象)から五類(全数把握対象)に変更となった後、2013年4月1日より届出対象から除外。  
 \*8 2013年4月26日より指定感染症に定められた後、2015年1月21日より二類感染症に変更。  
 \*9 2014年9月19日より追加指定。  
 \*10 2011年2月1日より五類(定点把握対象)に追加指定、2014年9月19日に五類(全数把握対象)に変更。  
 \*11 2014年7月26日より指定感染症に定められた後、2015年1月21日より二類感染症に変更。  
 病原体がベータコロナウイルス属 MERS コロナウイルスであるものに限る。

表2-1(2) 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数(全数動物)

	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年
エボラ出血熱のサル	-	-	-	-	-	-	-
マールブルグ病のサル	-	-	-	-	-	-	-
バスタのプレーリードッグ	-	-	-	-	-	-	-
重症急性呼吸器症候群のイタチアナグマ	-	-	-	-	-	-	-
重症急性呼吸器症候群のタヌキ	-	-	-	-	-	-	-
重症急性呼吸器症候群のハクビシン	-	-	-	-	-	-	-
結核のサル	-	-	-	-	-	-	-
中東呼吸器症候群のラクダ*1	/	/	/	/	/	-	-
鳥インフルエンザ(H5N1又はH7N9)の鳥類	1*2	-	-	-	-	-	-
細菌性赤痢のサル	-	-	-	-	-	-	-
ウエストナイル熱の鳥類	-	-	-	-	-	-	-
エキノコックス症の犬	-	-	-	-	-	-	-

- \*1 2014年7月26日より追加指定  
 \*2 2009年の報告は動物実験による感染

表2-2 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数  
(インフルエンザ定点・小児科定点)

上段:年間報告数  
下段:定点当たり

	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年
小児科定点数 *1	142	150	150	150	150	264	264	264	264	264
インフルエンザ定点数 *2	178	290	290	290	290	419	419	419	419	419
インフルエンザ	23,953 134.57	53,927 191.41	23,059 80.47	142,140 495.53	12,614 43.97	99,940 240.03	135,064 323.29	75,328 181.11	152,421 367.55	59,435 145.11
RSウイルス感染症 *3	818 5.76	1,403 9.57	1,722 11.71	845 5.73	2,153 14.52	3,628 13.94	6,349 24.51	6,058 23.48	6,183 23.70	7,197 27.82
咽頭結膜熱	3,929 27.67	2,793 18.96	2,927 19.86	1,339 9.07	1,979 13.37	4,936 18.95	5,510 21.20	6,184 23.89	5,607 21.54	5,385 20.77
A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	11,213 78.96	11,913 81.32	13,925 93.97	10,058 68.03	11,231 75.80	25,487 97.66	25,224 96.60	24,801 95.29	27,581 105.60	35,039 134.57
感染性胃腸炎	51,945 365.81	46,783 318.41	58,681 395.92	37,599 254.50	63,372 427.41	95,910 367.56	118,967 455.28	102,987 395.81	84,091 322.84	91,052 350.13
水痘	8,345 58.77	8,874 60.77	8,682 58.68	7,079 47.94	9,472 63.93	15,679 60.11	12,995 49.75	11,452 44.22	10,314 39.69	6,765 26.04
手足口病	2,885 20.32	4,382 29.73	4,487 30.60	3,426 23.36	6,257 42.52	24,786 95.84	5,411 20.90	29,320 114.72	6,089 23.44	32,599 126.39
伝染性紅斑	3,109 21.89	2,879 19.73	1,168 7.90	1,558 10.54	2,929 19.79	6,317 24.23	1,626 6.23	1,608 6.19	5,069 19.44	10,174 39.08
突発性発しん	4,119 29.01	4,691 31.95	4,944 33.49	4,463 30.24	4,397 29.74	8,447 32.44	8,547 32.85	8,299 32.00	8,120 31.18	7,816 30.10
百日咳	23 0.16	151 1.02	278 1.88	225 1.53	506 3.42	450 1.73	286 1.10	91 0.35	158 0.61	300 1.15
風しん *4	21 0.15	35 0.24								
ヘルパンギーナ	5,900 41.55	6,804 46.10	6,470 44.08	2,574 17.63	8,400 57.06	14,431 55.78	13,548 52.28	8,480 33.06	15,874 61.25	7,200 27.91
麻しん *4	25 0.18	303 2.05								
流行性耳下腺炎	4,481 31.56	1,940 13.24	3,662 24.83	5,175 35.05	5,154 34.87	4,488 17.23	3,089 11.88	2,549 9.83	3,003 11.57	4,883 18.83
不明発しん症 *5	966 6.80	665 4.52	734 4.98	657 4.48	622 4.21	1,506 5.78	1,400 5.40	1,094 4.24	1,158 4.45	1,312 5.06
川崎病 *5	101 0.71	110 0.75	109 0.73	71 0.48	89 0.60	217 0.83	177 0.68	221 0.85	180 0.69	199 0.77

\*1 2007年は、12月末時点の定点数

\*2 2007年は、12月末時点の定点数

\*3 2003年45週より実施

\*4 2008年1月1日から五類全数把握対象疾患に変更

\*5 東京都独自疾患

表2-3 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数  
(眼科定点)

上段:年間報告数  
下段:定点当たり

	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年
定点数*	14	39	39	39	39	39	39	39	39	39
急性出血性結膜炎	8 0.57	82 2.15	64 1.66	53 1.37	74 1.91	31 0.84	19 0.50	17 0.45	13 0.34	14 0.36
流行性角結膜炎	535 38.21	968 32.04	865 22.41	703 18.28	951 24.60	842 22.73	1,140 30.01	891 23.68	913 23.79	1,256 32.49

\* 2007年は、12月末時点の定点数

表2-4 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数  
(基幹定点週報告分)

上段:年間報告数  
下段:定点当たり

	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年
定点数	25	25	24	24	25	25	25	25	25	25
細菌性髄膜炎	15 0.60	28 1.14	24 1.01	24 1.02	18 0.76	52 2.14	42 1.68	48 1.93	22 0.88	39 1.56
無菌性髄膜炎	40 1.60	50 2.03	34 1.42	28 1.17	38 1.61	96 3.91	121 4.86	126 5.06	102 4.09	72 2.88
マイコプラズマ肺炎	218 8.72	247 10.11	298 12.53	305 12.93	416 17.76	1,143 46.78	1,067 42.84	514 20.66	234 9.37	770 30.85
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	13 0.52	20 0.81	25 1.05	46 1.96	20 0.85	18 0.74	14 0.56	40 1.60	21 0.84	59 2.36
感染性胃腸炎 *1 (ロタウイルスによる)								22 0.88	134 5.36	99 3.96
インフルエンザ入院 *2						12 0.48	610 24.40	518 20.89	735 29.40	486 19.44
成人麻しん *3	3 0.12	262 10.70								

\*1 2013年42週より実施

\*2 2011年36週より実施

\*3 2008年1月1日から五類全数把握対象疾患に変更

表2-5 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数  
(基幹定点月報告分)

上段:年間報告数  
下段:定点当たり

	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年
定点数	25	25	24	24	25	25	25	25	25	25
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1,536 61.44	1,758 70.53	1,606 66.92	1,290 54.44	1,312 55.36	1,136 46.67	1,074 43.25	918 37.26	908 36.44	877 35.21
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	579 23.16	624 25.08	554 23.08	552 23.30	635 26.77	596 24.55	440 17.72	467 18.94	186 7.47	158 6.36
薬剤耐性緑膿菌感染症	41 1.64	48 1.93	26 1.08	22 0.93	26 1.10	37 1.52	24 0.97	32 1.29	21 0.84	28 1.12
薬剤耐性アシネト* バクテリア感染症						0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	

\* 2011年2月より2014年9月18日まで実施。

表2-6 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数  
(性感染症定点)

上段:年間報告数  
下段:定点当たり

	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年
定点数*1	41	55	55	55	55	55	55	55	55	55
性器クラミジア感染症	2,133 52.02	2,485 48.08	2,605 47.51	2,295 42.51	2,376 44.07	2,426 44.37	2,315 42.64	2,286 42.46	2,427 44.90	2,678 49.09
性器ヘルペスウイルス感染症	963 23.49	989 19.40	946 17.25	954 17.69	1,194 22.15	1,236 22.60	1,311 24.17	1,216 22.60	1,298 24.00	1,329 24.36
尖圭コンジローマ	646 15.76	801 15.39	926 16.88	727 13.47	842 15.62	837 15.31	877 16.17	959 17.84	986 18.22	1,237 22.68
淋菌感染症	868 21.17	1,013 19.63	1,096 19.99	950 17.61	1,067 19.81	1,212 22.15	1,035 19.09	1,070 19.87	1,259 23.31	1,394 25.55
膣トリコモナス症*2	233 5.68	233 4.69	169 3.08	138 2.55	150 2.78	136 2.49	129 2.38	113 2.10	127 2.36	151 2.77
梅毒様疾患*2	74 1.80	103 1.99	82 1.50	94 1.74	83 1.54	117 2.14	120 2.21	136 2.53	135 2.50	221 4.05

\*1 2007年は、12月末時点の定点数

\*2 東京都独自疾患

表2-7 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数  
(疑似症定点)

	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年
定点数			315	315	315	443	443	443	443	443
発熱及び呼吸器症状*			11	147	20	9	10	38	147	126
発熱及び発しん・水疱*			8	6	9	4	15	16	20	21

\* 2008年7月より実施

### 3 各疾患の動向

#### (1) 一～四類、五類感染症（全数把握対象）、指定感染症

##### ア 一類感染症

一類感染症（エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱）は届出がなかった。

##### イ 二類感染症

###### ① 結核

結核の発生動向は別途、「東京都における結核の概況」で報告する。

###### ② その他の二類感染症

急性灰白髄炎、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群、中東呼吸器症候群、鳥インフルエンザ（H5N1）、鳥インフルエンザ（H7N9）は届出がなかった。

##### ウ 三類感染症

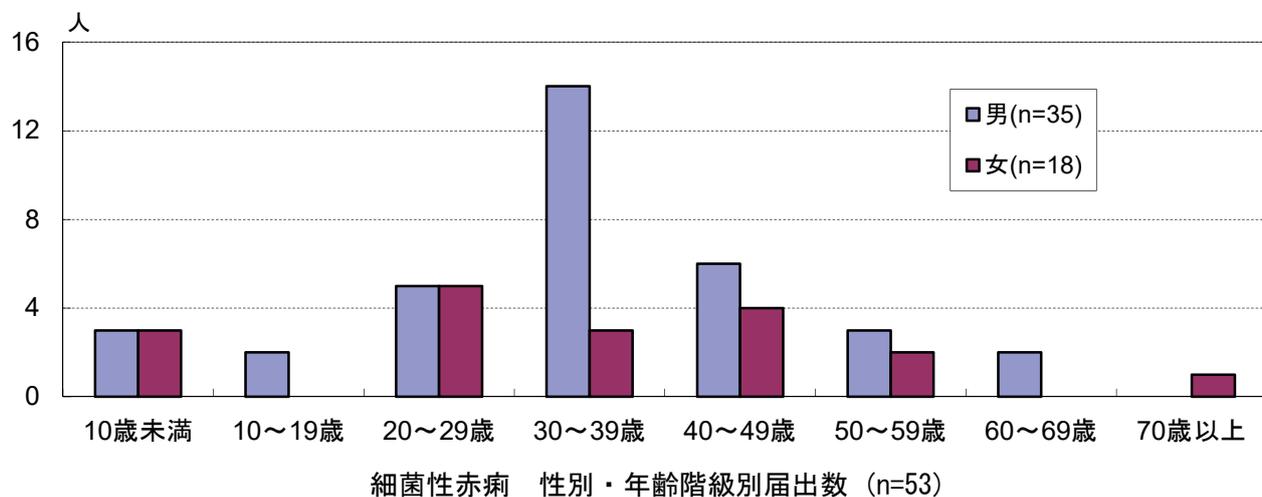
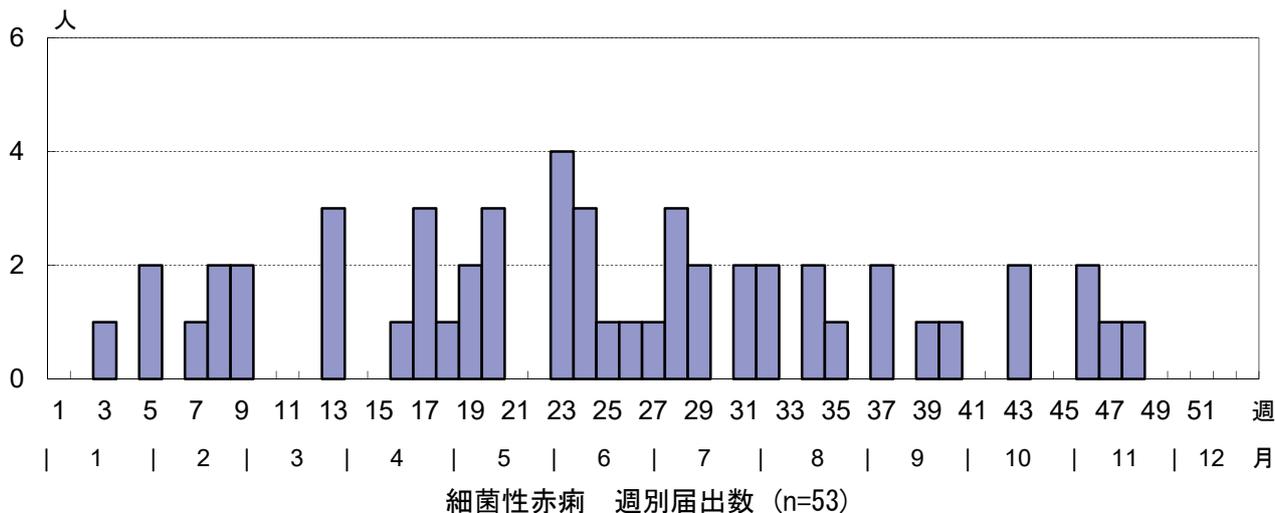
###### ① コレラ

2015年は1人の届出があった。菌型はO1アジア小川型であった。性別は男性、年齢階級別は30歳代であった。推定感染地はフィリピンであった。

###### ② 細菌性赤痢

2015年は53人の届出があった。菌種は*sonnei* 41件、*flexneri* 9件、*boydii* 3件であった。性別は男性35人、女性18人で、年齢階級別では10歳未満6人、10～19歳2人、20～29歳10人、30～39歳17人、40～49歳10人、50～59歳5人、60～69歳2人、70歳以上1人であった。

推定感染地は国内23人、国外30人であった。国内感染と推定された23人の年齢階級別の内訳は10歳未満4人、10～19歳2人、20～29歳1人、30～39歳9人、40～49歳3人、50～59歳2人、60～69歳1人、70歳以上1人であり、同性間性的接触によると推定される感染例が3例報告された。国外感染例の推定感染地域は東南アジア13人、南アジア12人、アフリカ2人、東アジア1人、2地域以上2人であり、推定感染国別に見ると、2人以上の届出があった国はインド11人、インドネシア6人、ミャンマー3人、フィリピン2人、エチオピア2人であった。



細菌性赤痢 国内感染例 (n=23)

受理日	性別	年齢	菌種	症状	備考
1/26	男	31	ソンネ	有	性的接触 (同性間)
2/18	男	31	ソンネ	有	性的接触 (同性間)
3/23	男	32	ソンネ	有	
3/23	男	36	ソンネ	有	
4/21	女	8	ソンネ	有	集団事例 (初発)
4/24	男	6	ソンネ	有	集団事例
4/25	女	8	ソンネ	有	集団事例
4/29	男	64	ソンネ	無	集団事例
5/7	男	6	ソンネ	有	
5/10	女	53	ソンネ	有	集団事例
5/12	女	36	ソンネ	有	
5/12	男	37	ソンネ	有	

6/1	男	39	ソンネ	有	
6/3	女	51	ソンネ	有	
6/10	女	41	ボイド	有	患者の妻
7/6	男	19	ソンネ	有	
7/10	男	40	ソンネ	有	
7/10	男	28	ソンネ	有	性的接触（同性間）
7/13	男	34	ソンネ	有	弁当の寿司
8/1	男	30	フレキシネル	有	
9/30	女	75	フレキシネル	有	
10/19	男	19	ソンネ	有	再感染
10/21	男	45	ソンネ	有	

#### 細菌性赤痢 国外感染例 (n=30)

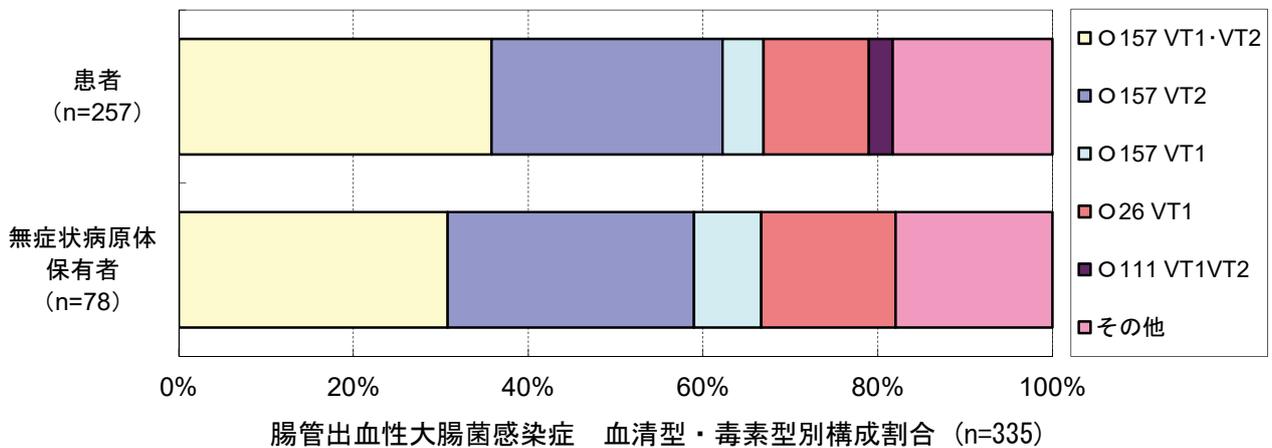
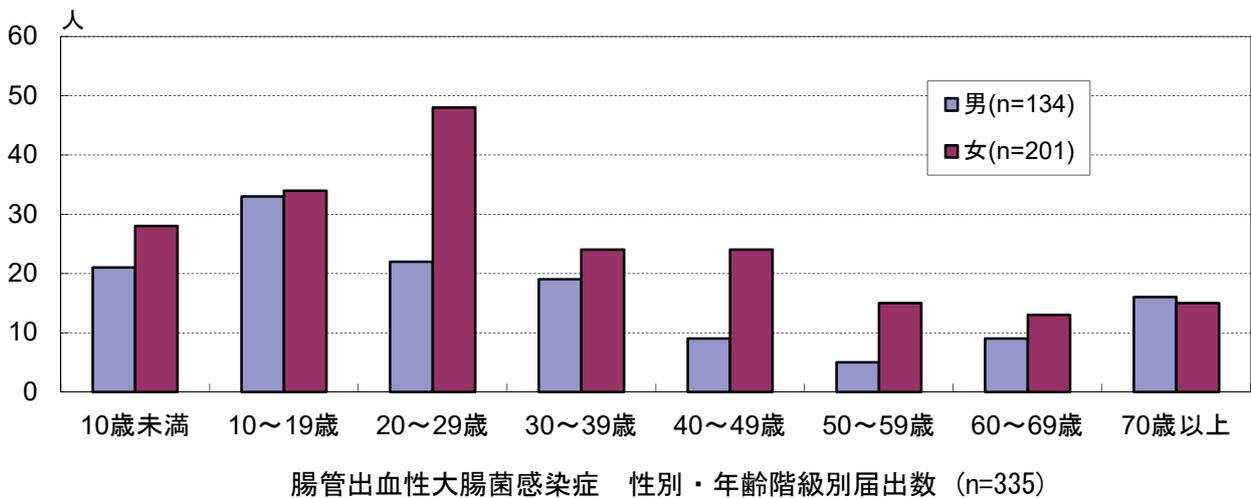
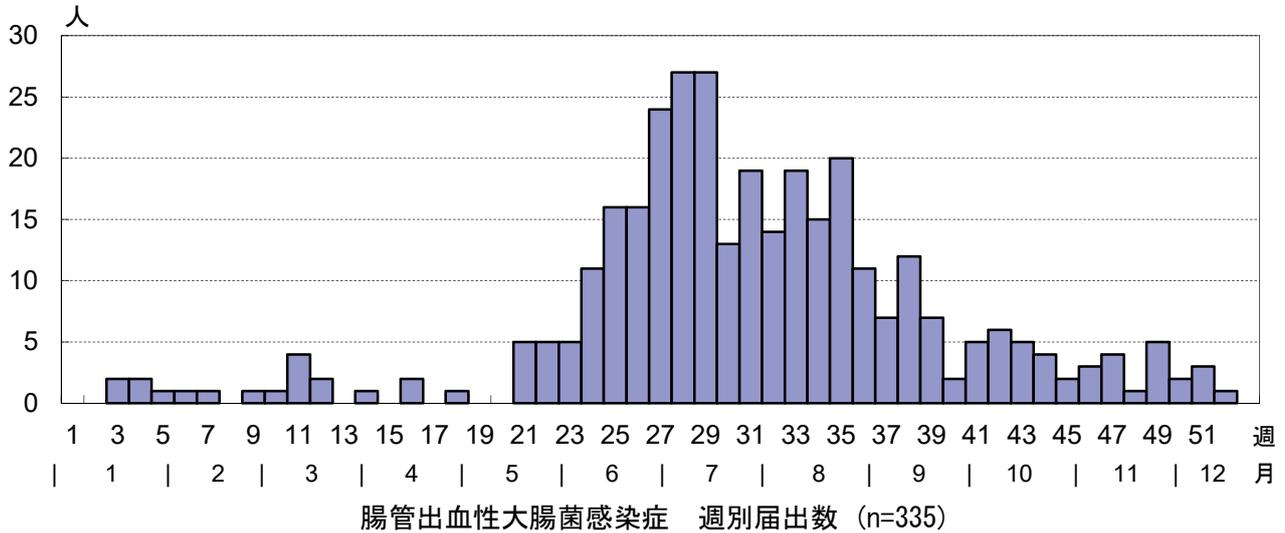
推定感染地域	人数	推定感染国	人数
東南アジア	13	インドネシア	6
		ミャンマー	3
		フィリピン	2
		ラオス	1
		ベトナム又はカンボジア	1
南アジア	12	インド	11
		パキスタン	1
アフリカ	2	エチオピア	2
東アジア	1	中国	1
2 地域以上	2	タイ又はバングラデシュ	1
		タイ又はマレーシア又は香港	1
合計	30		30

### ③ 腸管出血性大腸菌感染症

2015 年は 335 人の届出があり、症状別では患者 257 人、無症状病原体保有者 78 人であった。届出はほぼ 1 年を通して見られたが、特に夏期から秋期にかけて増加した。性別は男性 134 人、女性 201 人で、年齢階級別では 10 歳未満 49 人（うち 5 歳未満 26 人）、10～19 歳 67 人、20～29 歳 70 人、30～39 歳 43 人、40～49 歳 33 人、50～59 歳 20 人、60～69 歳 22 人、70 歳以上 31 人であった。血清型・毒素型は O157 VT1・VT2 が 116 件で最多であり、推定感染地は国内 325 人、国外 7 人（米国 2 人、アルゼンチン 1 人、オーストラリア 1 人、ベトナム 1 人、台湾 1 人、ペルー又はボリビア 1 人）、国内または国外 3 人（米国（ハワイ）1 人、フィリピン 1 人、渡航先不明 1 人）であった。

症例の集積は、第 27～29 週に O157 VT2 による国内飲食店関連が 12 人、第 29～30 週に O157 VT1・VT2 による保育園関連が 7 人、第 32～34 週に O157 VT1・VT2 および O157 毒素型不明による国内飲食店関連が 5 人であった。

溶血性尿毒症症候群（HUS）と診断されたものは6人おり、年齢は10歳未満4人（うち5歳未満2人）、10～19歳1人、70歳以上1人で、血清型・毒素型はO157 VT1・VT2が2件、O157 VT2が1件、O121 毒素型不明が1件、O血清型不明が2件（毒素型 VT1VT2が1件、毒素型不明1件）であった。推定感染地はすべて国内であった。



腸管出血性大腸菌感染症 血清型・毒素型別届出数 (n=335)

血清型	毒素型	件数	血清型	毒素型	件数
O26	VT1	43*	O157	VT1	18*
	VT1・VT2	6		VT2	90*
	不明	2		VT1・VT2	116*
O91	VT1	3		不明	13
	不明	1	O159	VT1・VT2	1
O103	VT1	2	O165	VT1・VT2	1
O111	VT1	2	O166	VT2	2
	VT1・VT2	7	不明	VT1	3
O121	VT2	6		VT2	12
	不明	2		VT1・VT2	2
O145	VT2	4	不明	不明	3
	VT1・VT2	1			

\* 他の血清型・毒素型との重複感染例を含む

溶血性尿毒症症候群発症例 (n=6)

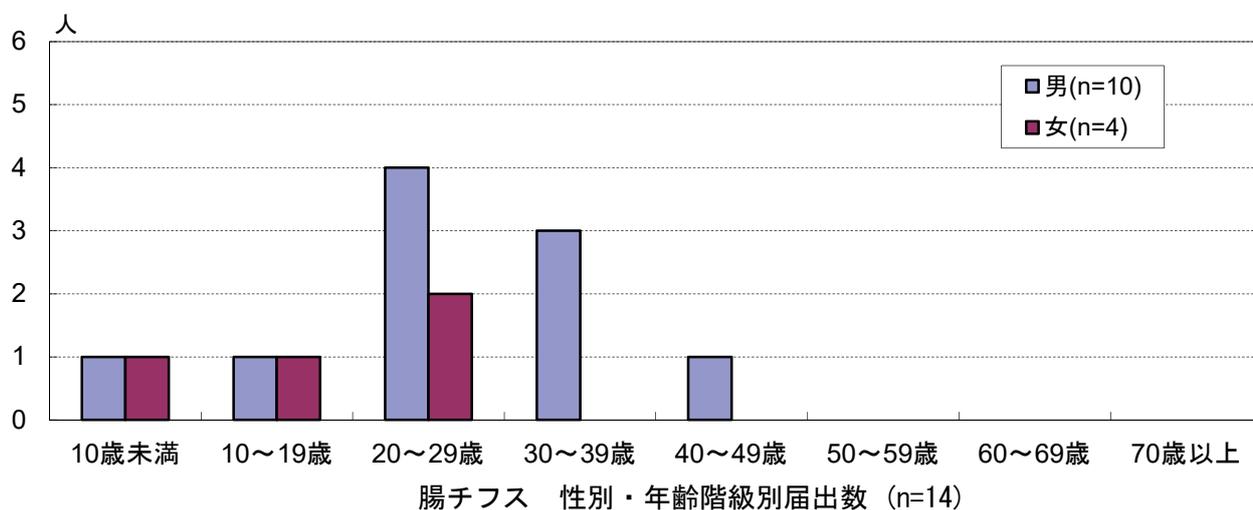
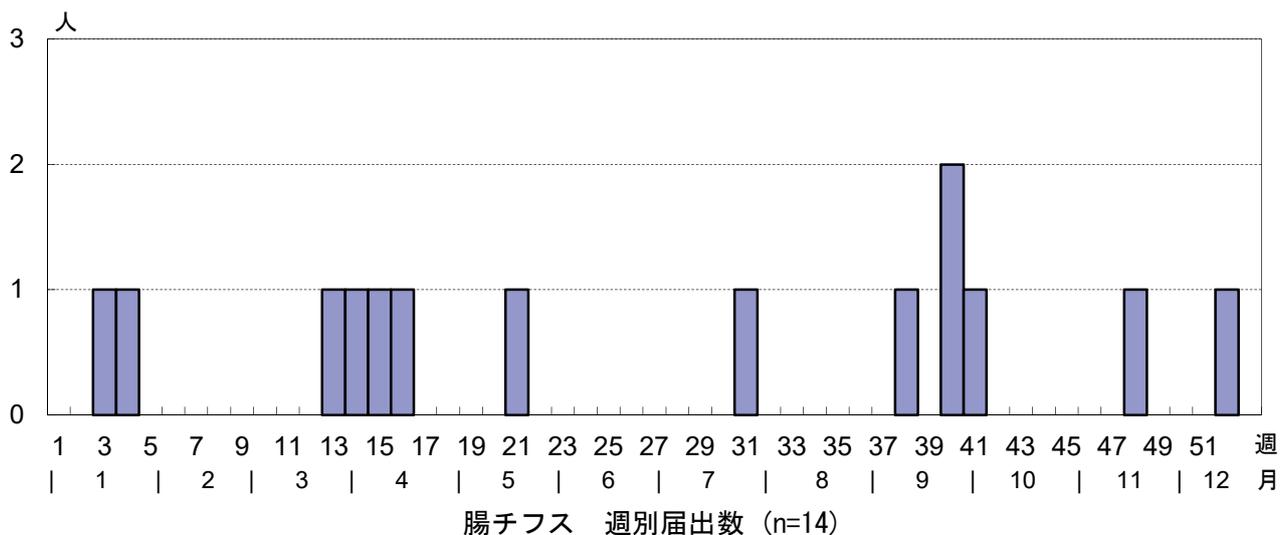
受理日	性別	年齢	血清型・毒素型	推定感染地	備考
7/15	男	1	O157 VT1・VT2	国内	便でのペロ毒素検出
8/17	女	5	血清型・毒素型不明	国内	血清でのO抗原凝集抗体
8/17	女	5	O121・毒素型不明	国内	
8/28	女	88	血清型不明 VT1・VT2	国内	便でのペロ毒素検出
9/9	女	3	O157 VT2	国内	便でのペロ毒素検出
9/24	男	15	O157 VT1・VT2	国内	血清でのO抗原凝集抗体

#### ④ 腸チフス

2015年は14人の届出があった。全員が患者で無症状病原体保有者はいなかった。性別では男性10人、女性4人、年齢階級別では10歳未満2人、10～19歳2人、20～29歳6人、30～39歳3人、40～49歳1人であった。

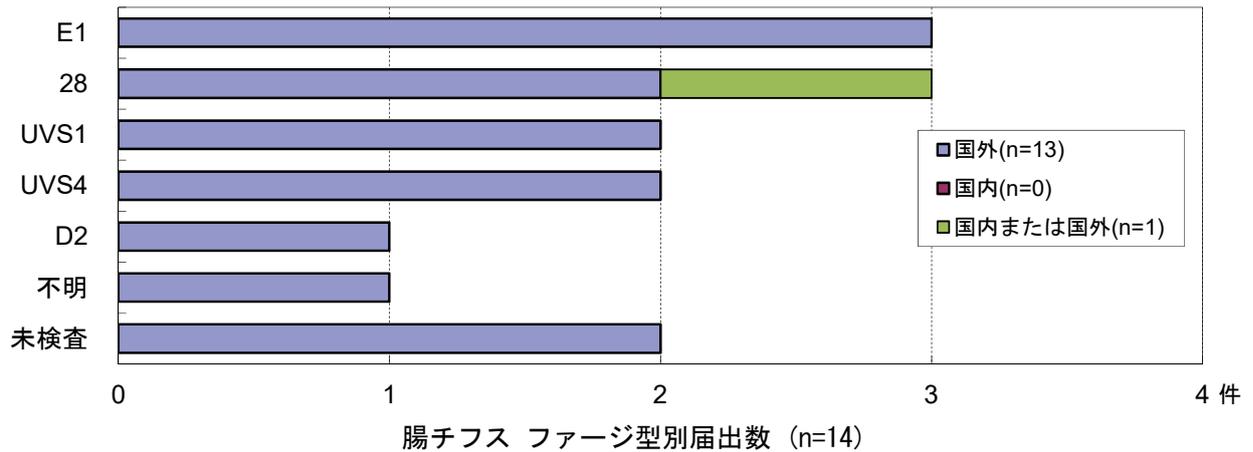
ファージ型はE1が3人、28が3人、UVS1が2人、UVS4が2人、D2が1人、不明1人、未検査2人であった。

推定感染地は国外13人、国内又は国外（タイ又はマレーシア）1人であった。国外感染例13人を推定感染地域別に見ると、南アジア6人、東南アジア6人、アフリカ1人であり、推定感染国はインド5人、ミャンマー3人のほか、バングラデシュ、フィリピン、マレーシア、モザンビーク、フィリピン又はマレーシア又はカンボジア各1人であった。再感染者が1人あった。



腸チフス 国外感染例 (n=13)

推定感染地域	人数	推定感染国	人数
南アジア	6	インド	5
		バングラデシュ	1
東南アジア	6	ミャンマー	3
		フィリピン	1
		マレーシア	1
		フィリピン又はマレーシア又はカ ンボジア	1
		モザンビーク	1
アフリカ	1	モザンビーク	1
合計	13	合計	13



### ⑤ パラチフス

2015年は9人の届出があった。性別は男性5人、女性4人であり、年齢階級別では20～29歳1人、30～39歳3人、40～49歳2人、50～59歳1人、60～69歳1人、70歳以上1人であった。

フェージ型は1が7人、UT (untypeable) 1人、不明1人であった。

推定感染地はすべて国外で、推定感染国はミャンマー7人のほか、ネパール、インドがそれぞれ1人であった。

パラチフス届出例 (n=9)

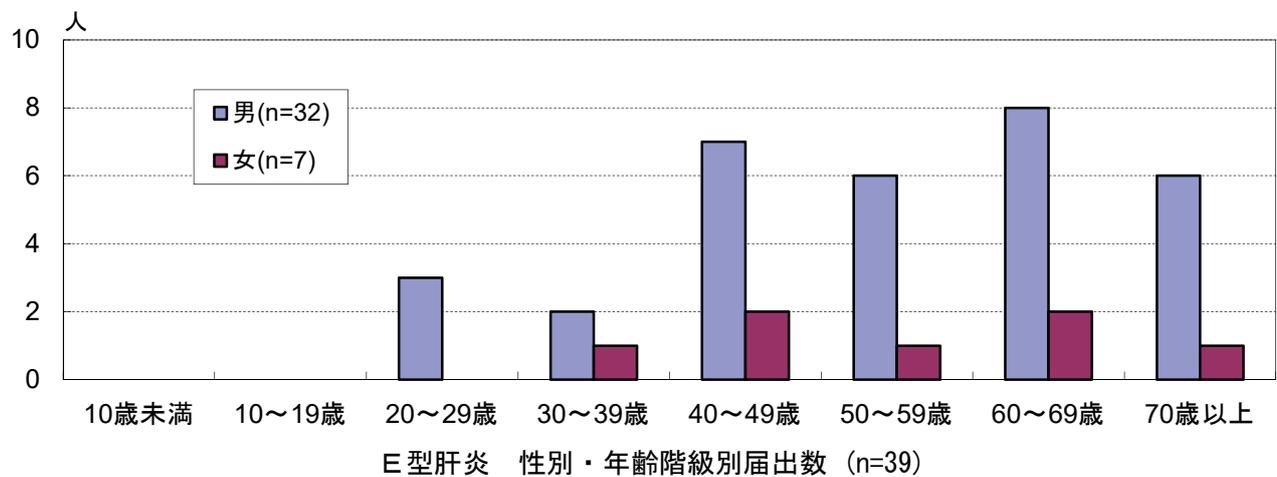
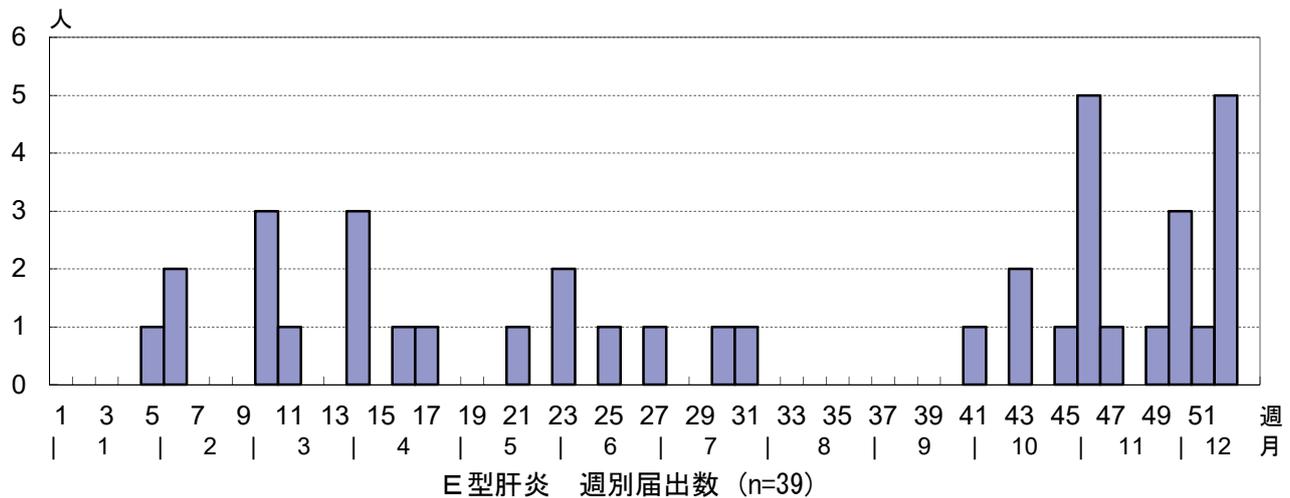
受理日	性別	年齢	フェージ型	推定感染地
1/9	女	54	1	ミャンマー
1/26	男	39	1	ミャンマー
4/20	男	34	1	ミャンマー
5/28	男	60	1	ミャンマー
6/18	女	27	UT	ネパール
9/3	男	44	1	ミャンマー
9/24	男	42	1	ミャンマー
10/19	女	37	1	インド
12/2	女	70	不明	ミャンマー

## エ 四類感染症

### ① E型肝炎

2015年は39人の届出があった。性別は男性32人、女性7人で、年齢階級別では20～29歳3人、30～39歳3人、40～49歳9人、50～59歳7人、60～69歳10人、70歳以上7人であった。

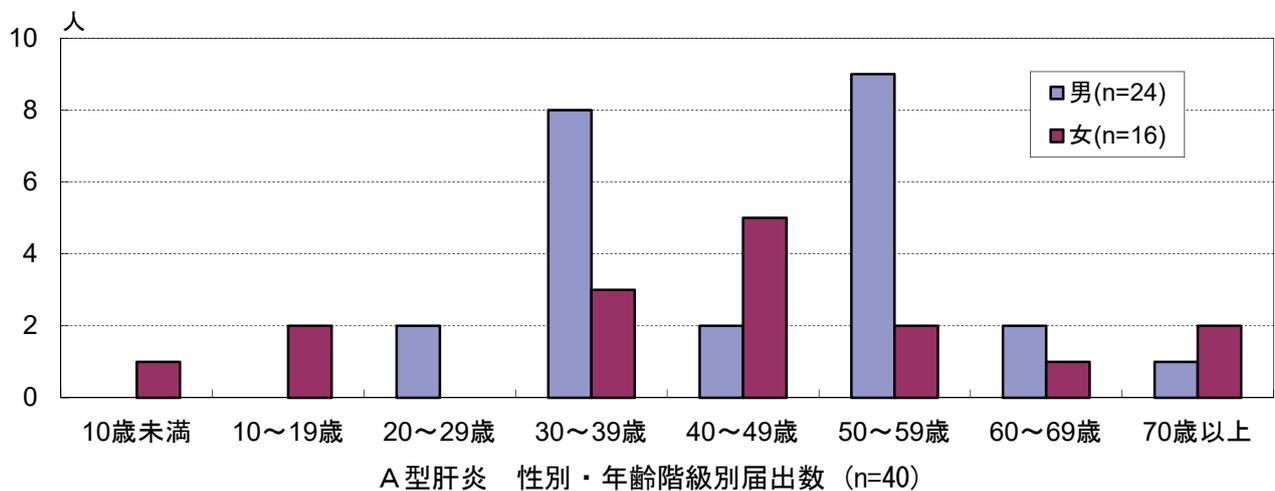
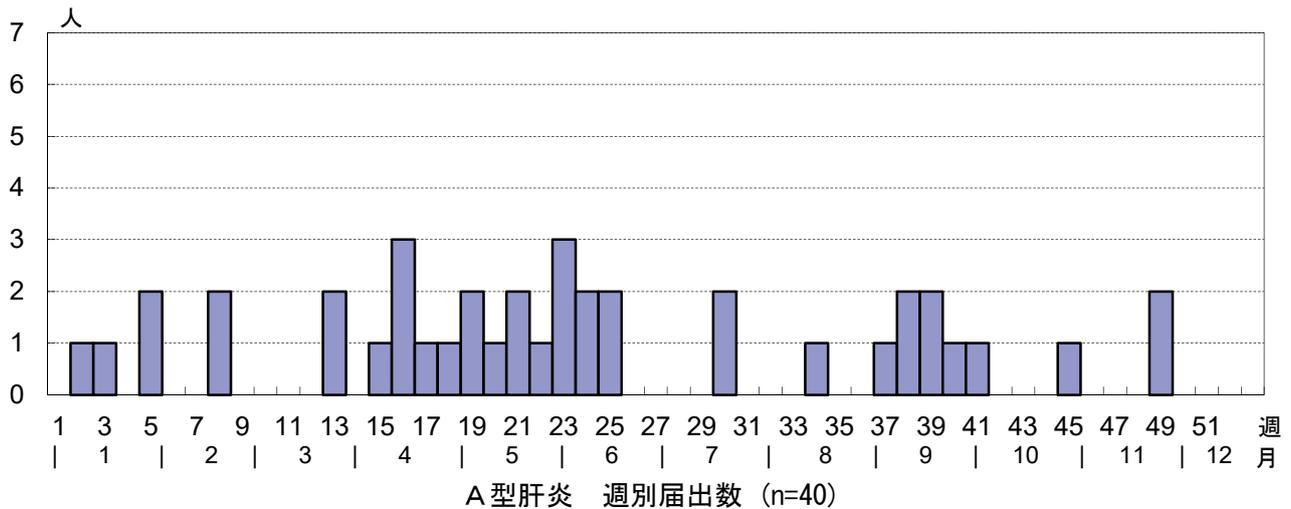
推定感染地は国内36人、中国1人、パキスタン1人、国内または国外（中国）1人であった。推定感染経路は経口感染が29人、不明が10人で、経口感染のうちレバーが6人（うち5人は豚レバー、1人は鳥レバー）、鹿肉の喫食が1人であった。



### ② A型肝炎

2015年は40人の届出があった。性別は男性24人、女性16人で、年齢階級別では10歳未満1人、10～19歳2人、20～29歳2人、30～39歳11人、40～49歳7人、50～59歳11人、60～69歳3人、70歳以上3人であった。

推定感染地は国内30人、国外8人、国内または国外2人（シンガポール又は中国1人、渡航先不明1人）であった。国外感染と推定された8人の推定感染国はフィリピン2人、タイ、ミャンマー、韓国、カナダ各1人、タイ又はパキスタン1人、ボリビア又はブラジル1人であった。



推定感染経路は、飲食物を介した経口感染 31 人、性的接触 2 人、不明 7 人であり、経口感染 31 人の推定原因食品は魚介類が 9 人、生もの 1 人、寿司 1 人、生水 1 人、焼肉 1 人、不明 18 人であった。

### ③ エキノコックス症

2015 年は 1 人の届出があった。性別は女性、年齢階級別は 50 歳代であった。推定感染地は国内（北海道に在住歴あり）、感染経路は不明であった。

### ④ コクシジオイデス症

2015 年は 2 人の届出があった。性別はすべて男性で、年齢階級別は 20~29 歳 1 人、30~39 歳 1 人であった。推定感染地はすべて国外（米国）であった。推定感染経路は塵埃感染 1 人、不明 1 人であった。

### ⑤ チクングニア熱

2015 年は 7 人の届出があった。性別は男性 2 人、女性 5 人であり、年齢階級別では 10~19 歳 1 人、30~39 歳 2 人、40~49 歳 2 人、50~59 歳 1 人、70 歳以上 1 人であった。推定感染地はすべて国外で、推定感染国はソロモン諸島 1 人、インドネシア 1 人、ニカラグア 1 人、コロンビア 1 人、仏領ポリネ

シア 1 人、ボリビア 1 人、メキシコ 1 人であった。

チクングニア熱届出例 (n=7)

受理日	性別	年齢	推定感染国	推定感染経路
1/13	男	71	ソロモン諸島 (ホニアラ島)	動物・蚊・昆虫等からの感染
2/24	女	37	インドネシア (バリ島)	蚊からの感染
5/15	女	44	ニカラグア	蚊からの感染
5/20	女	50	コロンビア	動物・蚊・昆虫等からの感染
6/17	女	40	仏領ポリネシア (ボラボラ島)	動物・蚊・昆虫等からの感染
7/6	男	30	ボリビア	動物・蚊・昆虫等からの感染
11/24	女	18	メキシコ	動物・蚊・昆虫等からの感染

### ⑥ つつが虫病

2015 年は 14 人の届出があった。性別は男性 7 人、女性 7 人であった。年齢階級別では 10～19 歳 1 人、30～39 歳 3 人、40～49 歳 1 人、50～59 歳 2 人、60～69 歳 4 人、70 歳以上 3 人であった。

推定感染地は国内 12 人、国外 (韓国) 2 人であり、国内の推定感染地は東京都 8 人 (多摩地区 5 人、島しょ地区 3 人)、千葉県 1 人、山梨県 1 人、静岡県 1 人、新潟県 1 人であった。

つつが虫病届出例 (n=14)

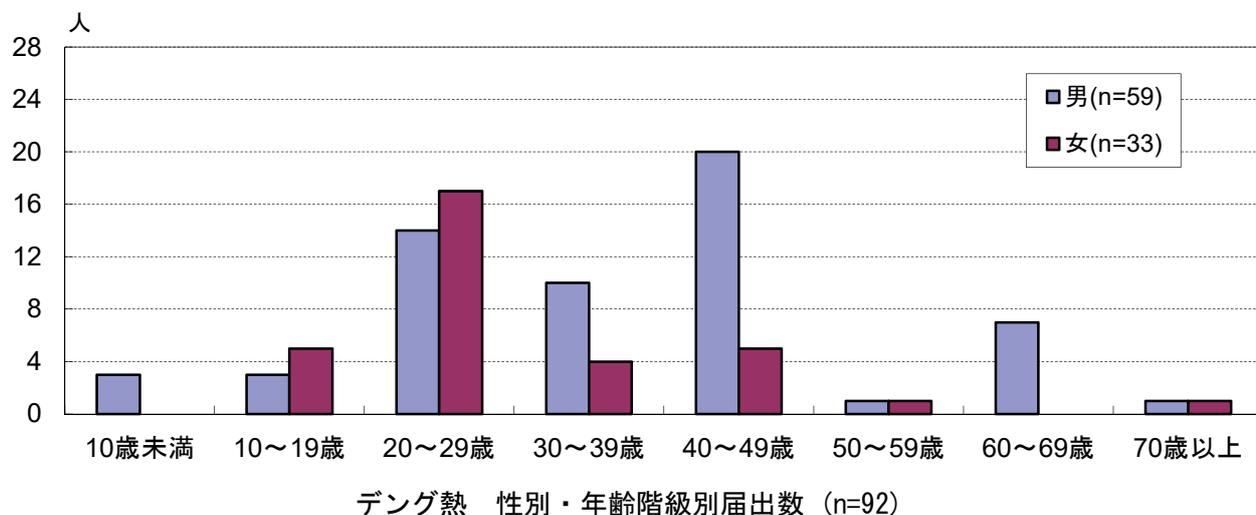
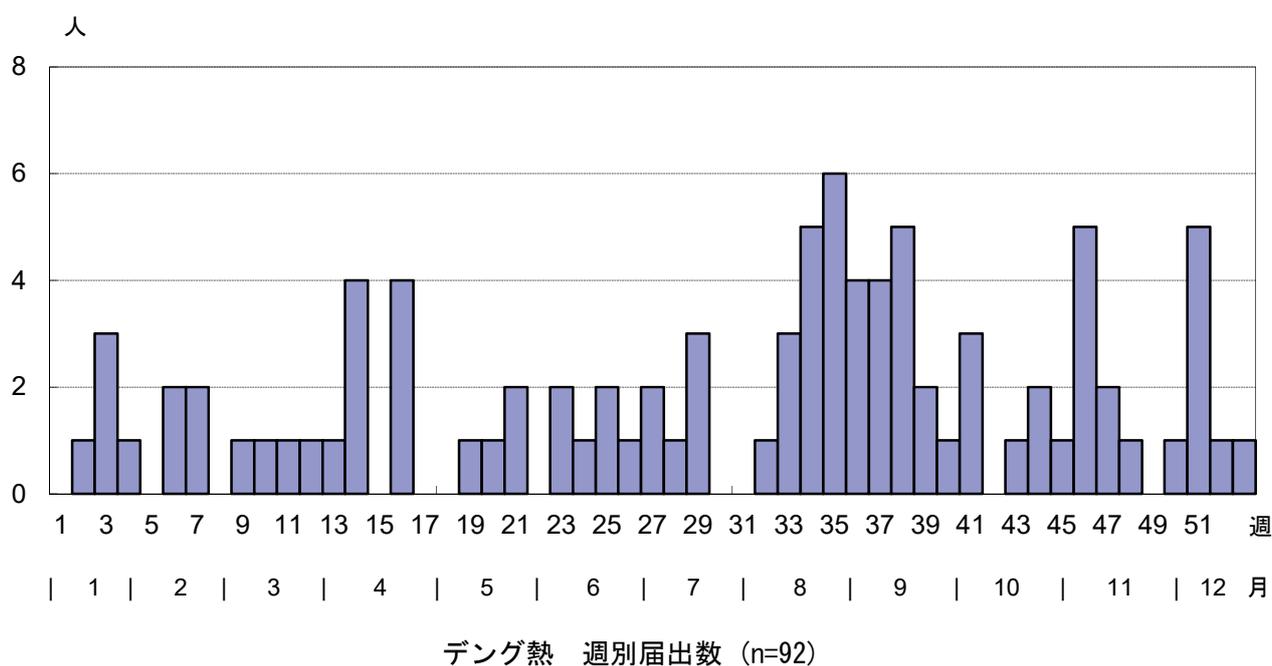
受理日	性別	年齢	推定感染地	野外地への旅行、立入り歴等
4/6	女	66	国内	有 (畑仕事中)
6/24	男	33	国内	不明
8/18	女	35	国内	不明
8/21	男	11	国内	不明
11/5	女	42	国内	不明
11/6	女	80	国内	不明
11/17	男	71	国内	有 (クルミ拾い)
11/18	男	32	国内	有 (演習場)
11/19	女	63	韓国	不明
12/1	男	92	韓国	不明
12/1	女	65	国内	有 (農作業中)
12/8	男	66	国内	有 (落ち葉掃除)
12/9	女	50	国内	不明
12/24	男	55	国内	不明

### ⑦ デング熱

2015 年は 92 人 (うちデング出血熱 2 人) の届出があった。昨年 69 年ぶりに確認された国内感染は 2015 年は確認されなかったが、国外感染者は過去 10 年で最も多い届出数となった。性別は男性 59 人、女性 33 人、年齢階級別では 10 歳未満 3 人、10～19 歳 8 人、20～29 歳 31 人、30～39 歳 14 人、40～

49歳25人、50～59歳2人、60～69歳7人、70歳以上2人であった。血清型は66件報告されており、その内訳は1型26件、2型20件、3型11件、4型9件であった。

推定感染地はすべて国外で、感染地域別では東南アジアが78人（85%）と多くの割合を占め、他は南アジア7人、東アジア2人、オセアニア2人、2地域以上3人であった。推定感染国はフィリピン31人、インドネシア16人、マレーシア9人、タイ4人、ベトナム4人、ミャンマー4人、インド3人、マレーシア又はシンガポール3人、バングラデシュ2人、台湾2人、仏領ポリネシア2人、シンガポール、ラオス、スリランカ、モルディブ、フィリピン又はミャンマー、マレーシア又はミャンマー、ベトナム又はミャンマー、カンボジア又はラオス、フィリピン又はマレーシア又はタイ、ベトナム又はバングラデシュ、フィリピン又はインドネシア又はオーストラリア、インドネシア又はシンガポール又はオーストラリアが各1人であった。



⑧ 日本紅斑熱

日本紅斑熱は2012年以降届出がなかったが、2015年には1人の届出があった。性別は女性、年齢階級別は70歳代であった。推定感染地は国内、推定感染経路は動物・蚊・昆虫等からの感染であった。

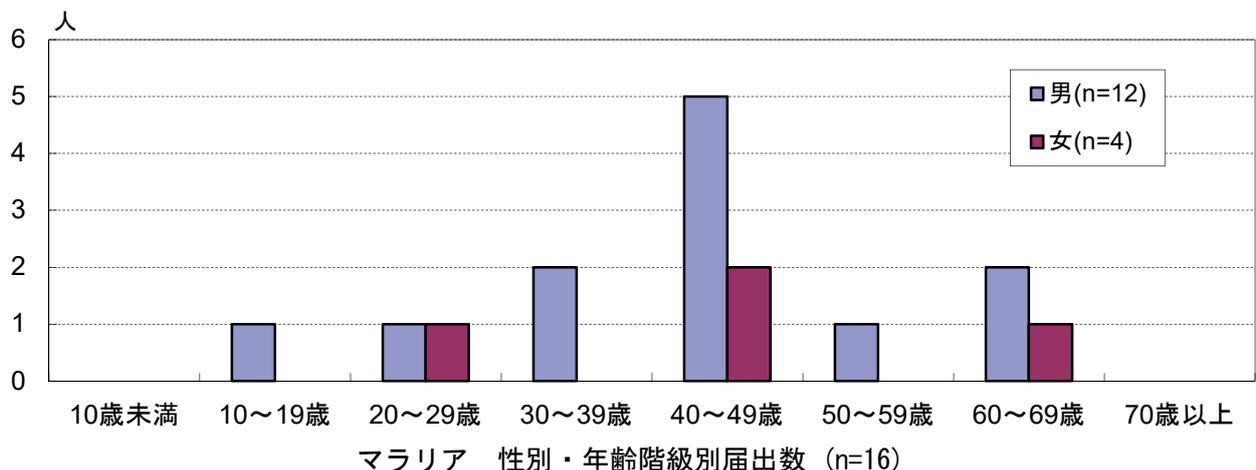
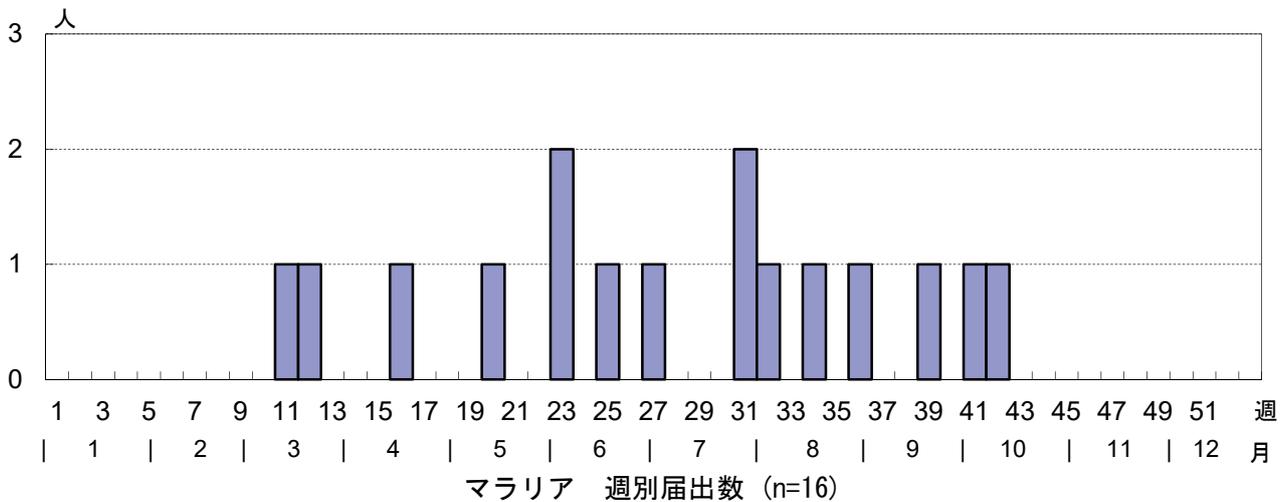
⑨ ブルセラ症

2015年は2人の届出があった。性別はすべて男性で、年齢階級別は50～59歳2人であった。推定感染地はすべて国外で、推定感染国はカメルーン、ソマリアが各1人であった。推定感染経路はすべて経口感染であった。

⑩ マラリア

2015年は16人の届出があった。病型は熱帯熱マラリア11人、三日熱マラリア3人、四日熱マラリア1人、不明1人であった。性別は男性12人、女性4人、年齢階級別では10～19歳1人、20～29歳2人、30～39歳2人、40～49歳7人、50～59歳1人、60～69歳3人であった。

推定感染地はすべて国外で、推定感染地域はアフリカ12人、南アジア2人、オセアニア2人であった。推定感染国はコートジボアール2人、パプアニューギニア2人、ウガンダ、ガーナ、ガボン、ケニア、コンゴ民主共和国、ザンビア、チャド、中央アフリカ、モザンビーク、リベリア、インド、パキスタンが各1人であった。



### ⑪ ライム病

2015年は2人の届出があった。性別はすべて男性で、年齢は50～59歳2人であった。推定感染地は国内1人、国内又は国外（米国）1人であった。また推定感染経路は全て動物・蚊・昆虫等からの感染であった。

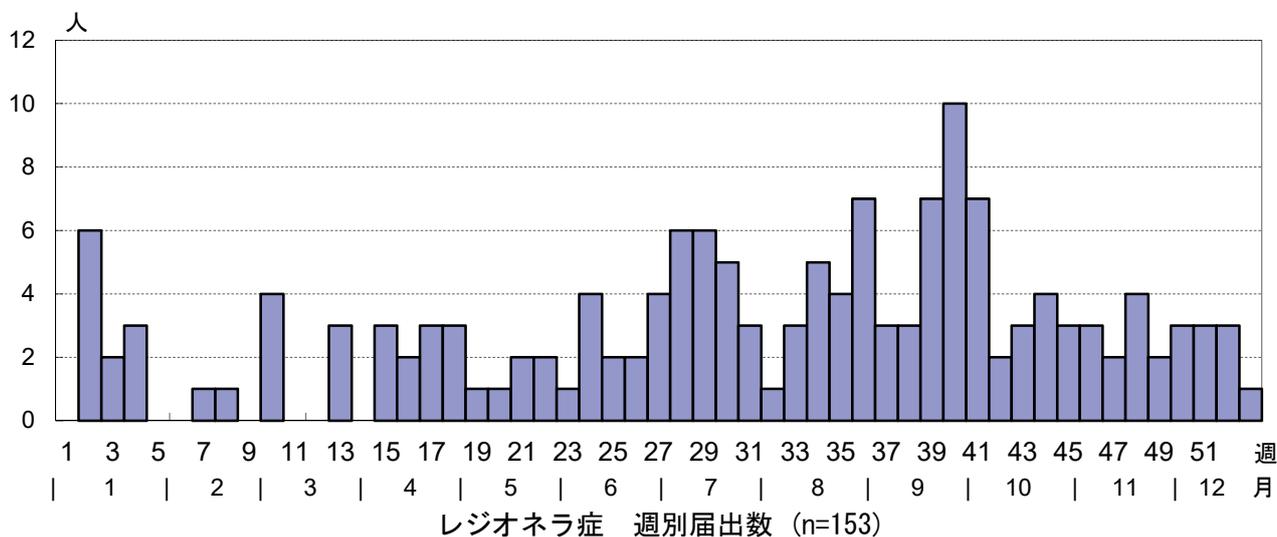
### ⑫ 類鼻疽

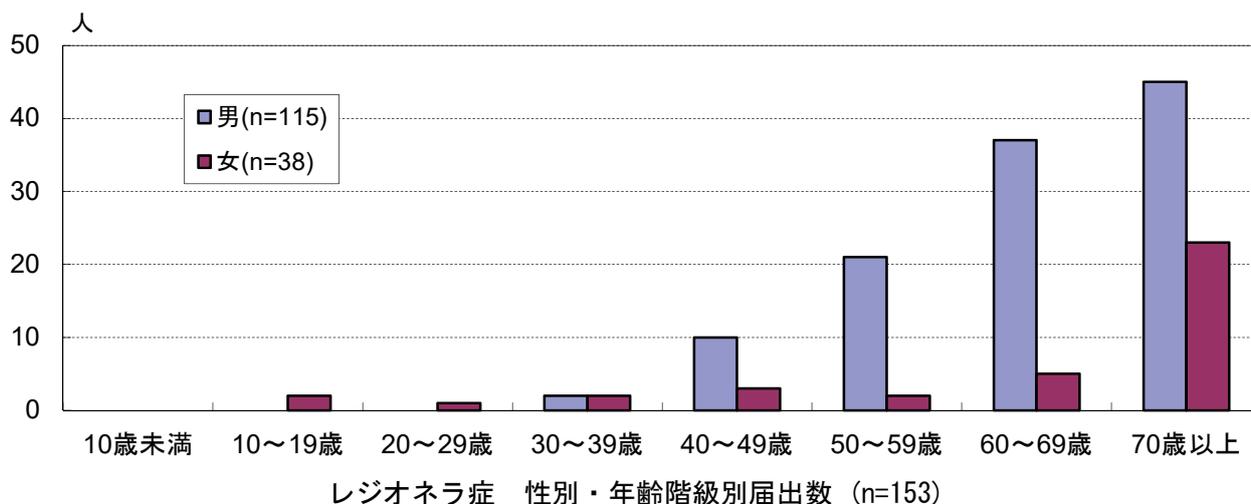
2015年は1人の届出があり、2010年、2013年の届出に次ぐ3人目となった。性別は男性、年齢階級別は40歳代であった。推定感染地は国外（インドネシア）、推定感染経路は水系感染であった。

### ⑬ レジオネラ症

2015年は153人の届出があり、過去10年で最も多い届出数となった。病型は肺炎型146人、ポンティアック熱型6人、無症状病原体保有者1人で、死亡例が3人見られた。性別は男性115人、女性38人、年齢階級別では10～19歳2人、20～29歳1人、30～39歳4人、40～49歳13人、50～59歳23人、60～69歳42人、70歳以上68人であった。

推定感染地は国内142人、国外9人（中国3人、ブラジル2人、タイ、フィリピン、インドネシア、韓国が各1人）、不明2人であった。推定感染経路は水系感染53人、塵埃感染9人、水系または院内感染1人、不明90人であった。水系感染のうち、公共浴場施設（温泉を含む）での感染と推定されたのは28人であった。





#### ⑭ レプトスピラ症

2015年は10人の届出があった。性別はすべて男性で、年齢は30～39歳3人、40～49歳1人、60～69歳4人、70歳以上2人であった。

推定感染地は国内8人、インドネシア1人、マレーシア1人であった。推定感染経路は、国内感染事例ではネズミとの接触によるものが8件中6件であった。

レプトスピラ症届出例 (n=10)

受理日	性別	年齢	推定感染地	推定感染経路
3/4	男	67	国内	天井裏にネズミその後雨漏り
3/31	男	33	インドネシア	
4/21	男	39	マレーシア	
4/28	男	67	国内	
5/13	男	81	国内	ネズミとの接触
9/10	男	36	国内	
9/30	男	73	国内	ネズミからの感染
10/1	男	68	国内	市場でネズミ退治とドブ掃除
10/23	男	64	国内	清掃中にネズミと接触
11/2	男	46	国内	ネズミ (市場)

#### ⑮ その他の四類感染症

以下の疾患は届出がなかった。

ウエストナイル熱、黄熱、オウム病、オムスク出血熱、回帰熱、キャサヌル森林病、Q熱、狂犬病、サル痘、重症熱性血小板減少症候群(病原体がフレボウイルス族 SFTS ウイルスであるものに限る。)、腎症候性出血熱、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、炭疽、東部ウマ脳炎、鳥インフルエンザ (H5N1 及び H7N9 を除く)、ニパウイルス感染症、日本脳炎、ハンタウイルス肺症候群、B ウイルス病、鼻疽、ベネズエラウマ脳炎、ヘンドラウイルス感染症、発しんチフス、ボツリヌス症、野兔病、リッサウイルス感染症、リフトバレー熱、ロッキー山紅斑熱

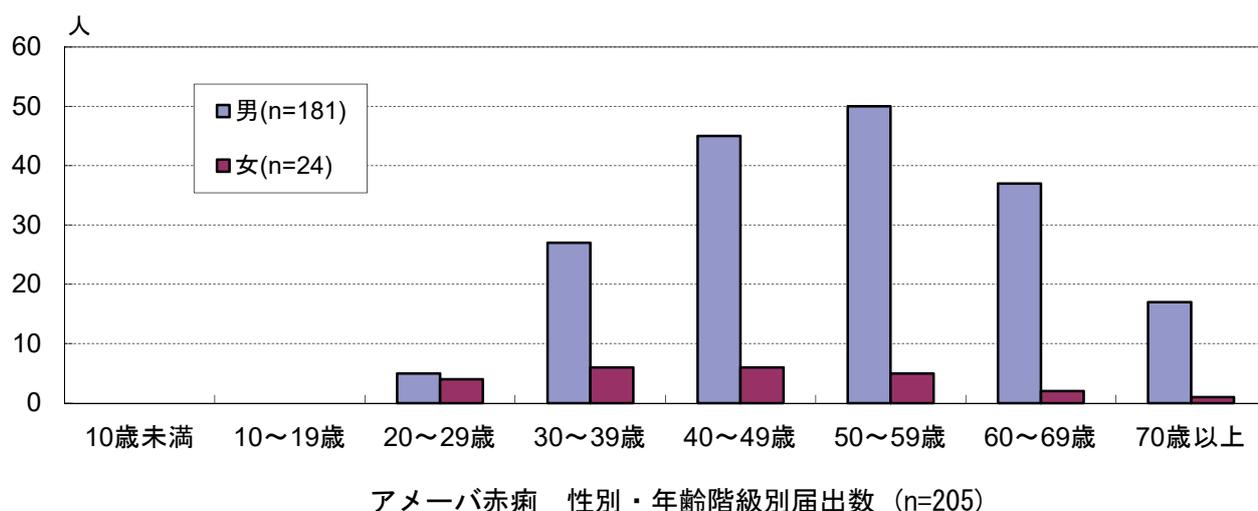
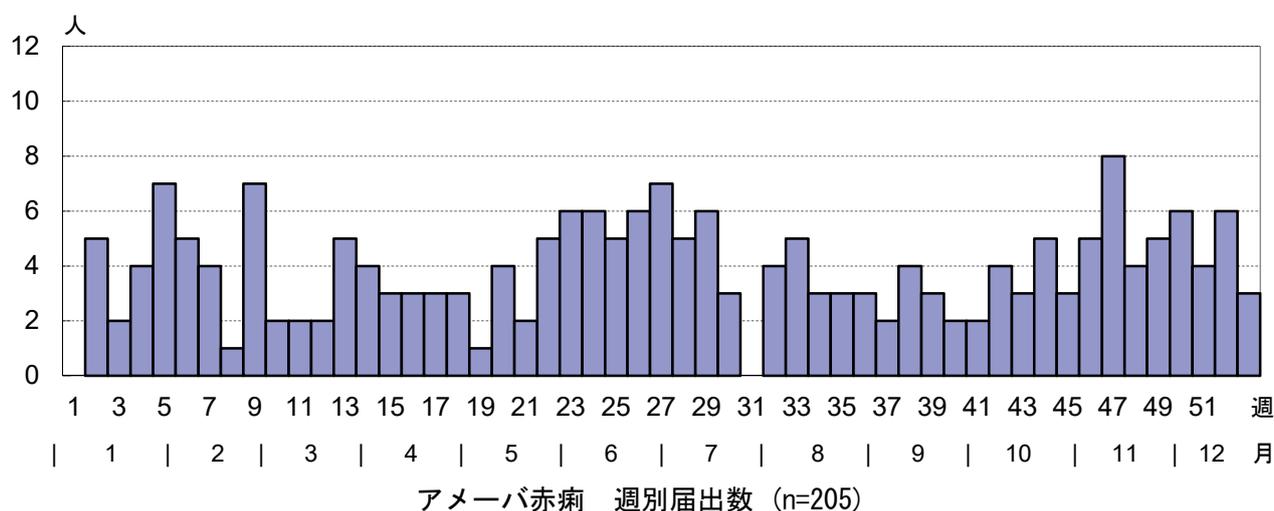
## オ 五類感染症（全数把握対象）

### ① アメーバ赤痢

2015年は205人の届出があった。腸管アメーバ症172人、腸管外アメーバ症27人、腸管及び腸管外アメーバ症6人であった。性別は男性181人、女性24人で、年齢階級別では20～29歳9人、30～39歳33人、40～49歳51人、50～59歳55人、60～69歳39人、70歳以上18人であった。

推定感染地は国内161人、国外32人、国内又は国外12人であり、国外感染例32人を推定感染地域別にみると、東南アジア14人、東アジア9人、西アジア1人、オセアニア1人、2地域以上6人、渡航先不明1人であった。渡航先不明の人を除く推定感染国はインドネシア5人、中国5人、タイ4人、台湾、フィリピン、ベトナム各2人、香港、米国（グアム）、レバノン各1人のほか、中国又はタイ2人、タイ又はフィリピン1人、韓国又は香港1人、韓国又は米国1人、香港又はタイ1人、マカオ又はマレーシア1人、インドネシア又はサモア1人であった。

推定感染経路は、性的接触77人（同性間29人、異性間34人、性別不明14人）、飲食物による経口感染38人、2経路以上6人、不明84人であった。



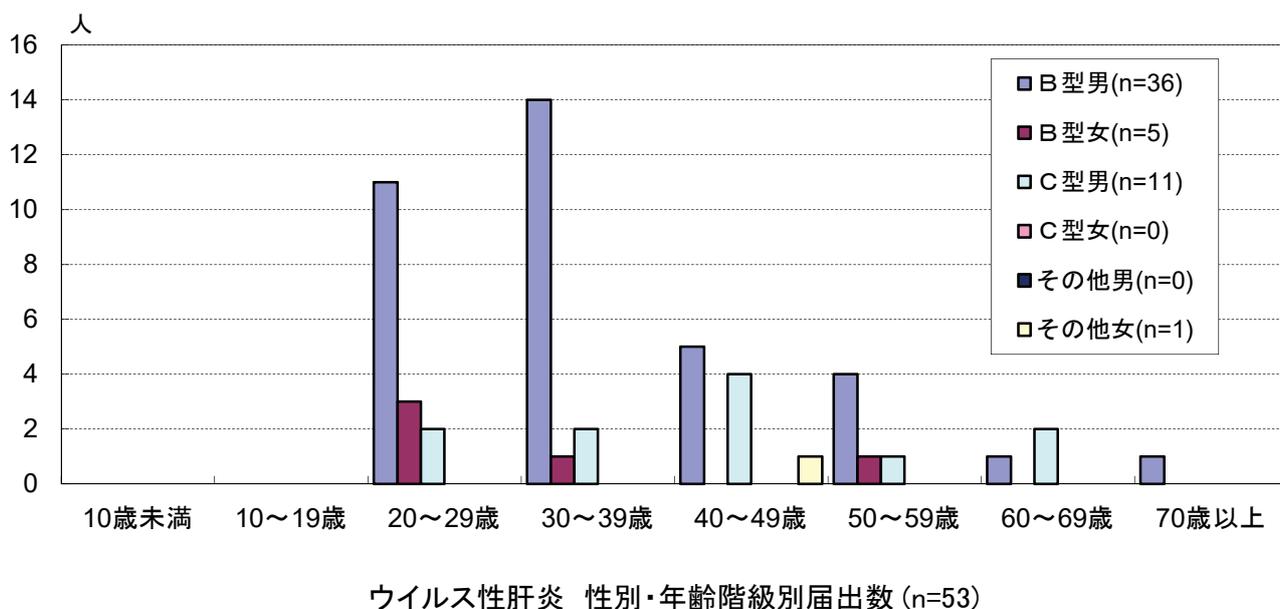
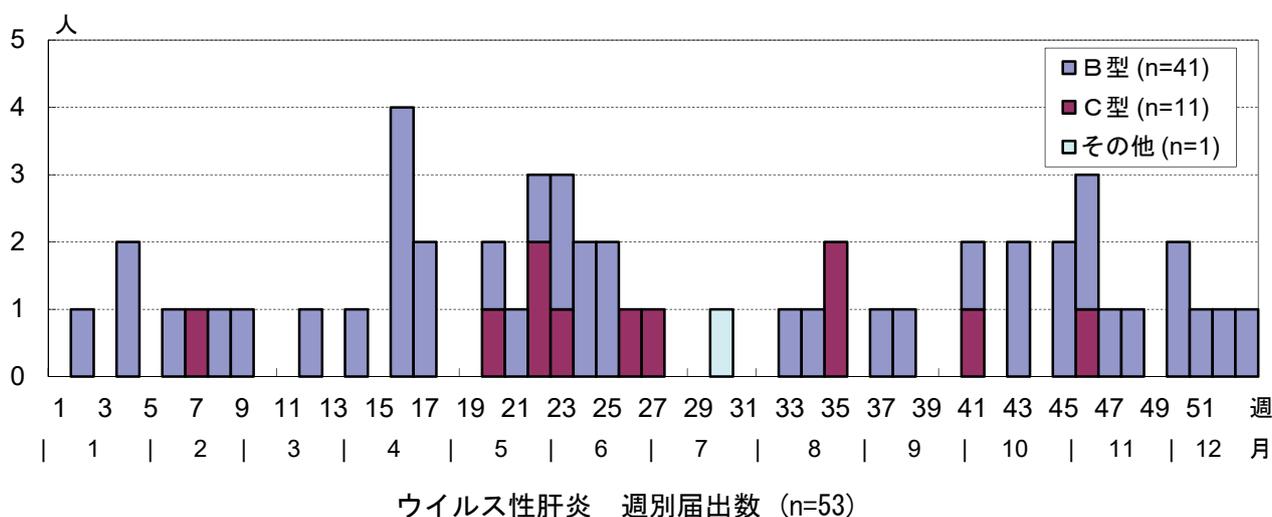
### ② ウイルス性肝炎（E型肝炎及びA型肝炎を除く。）

2015年は53人の届出があった。内訳は、B型肝炎41人、C型肝炎11人、その他（サイトメガロウイルス肝炎）1人であった。

B型肝炎 41 人の届出のうち男性は 36 人、女性は 5 人で、年齢階級別では 20～29 歳 14 人、30～39 歳 15 人、40～49 歳 5 人、50～59 歳 5 人、60～69 歳 1 人、70 歳以上 1 人であった。推定感染地は国内 37 人、国外 3 人（中国 2 人、タイ 1 人）、国内又は国外（渡航先不明）1 人で、推定感染経路は性的接触 35 人（同性間 14 人、異性間 16 人、両性間 2 人、性別不明 3 人）、針等の鋭利なものの刺入による感染 1 人、不明 5 人であった。

C型肝炎 11 人の性別はすべて男性で、年齢は 20～29 歳 2 人、30～39 歳 2 人、40～49 歳 4 人、50～59 歳 1 人、60～69 歳 2 人であった。推定感染地は国内 10 人、国外（中国）1 人で、推定感染経路は性的接触 9 人（同性間 6 人、異性間 2 人、性別不明 1 人）、性的接触又は静注薬物常用 1 人、針等の鋭利なものの刺入による感染 1 人であった。

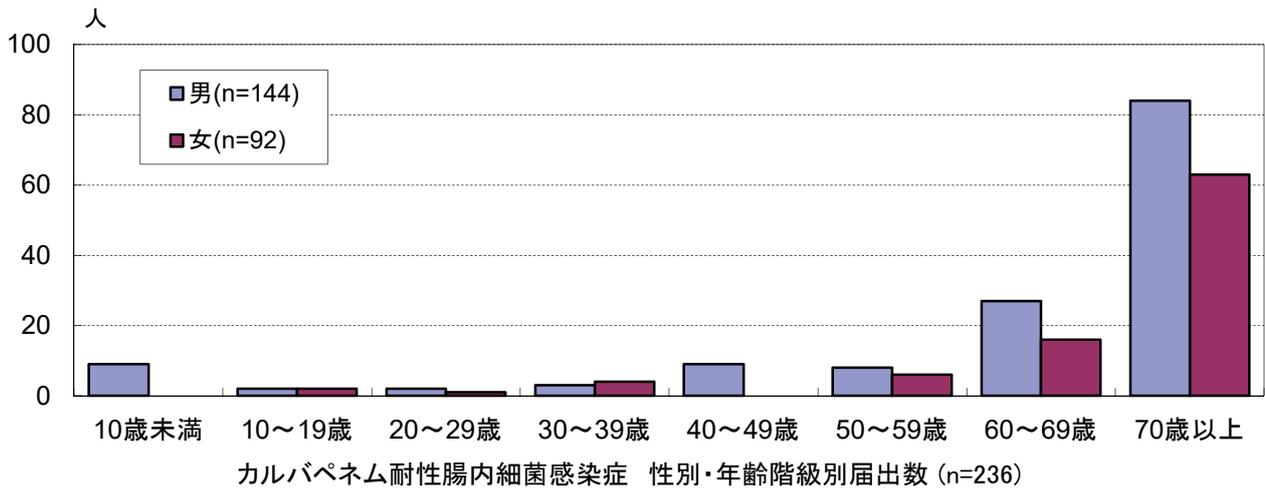
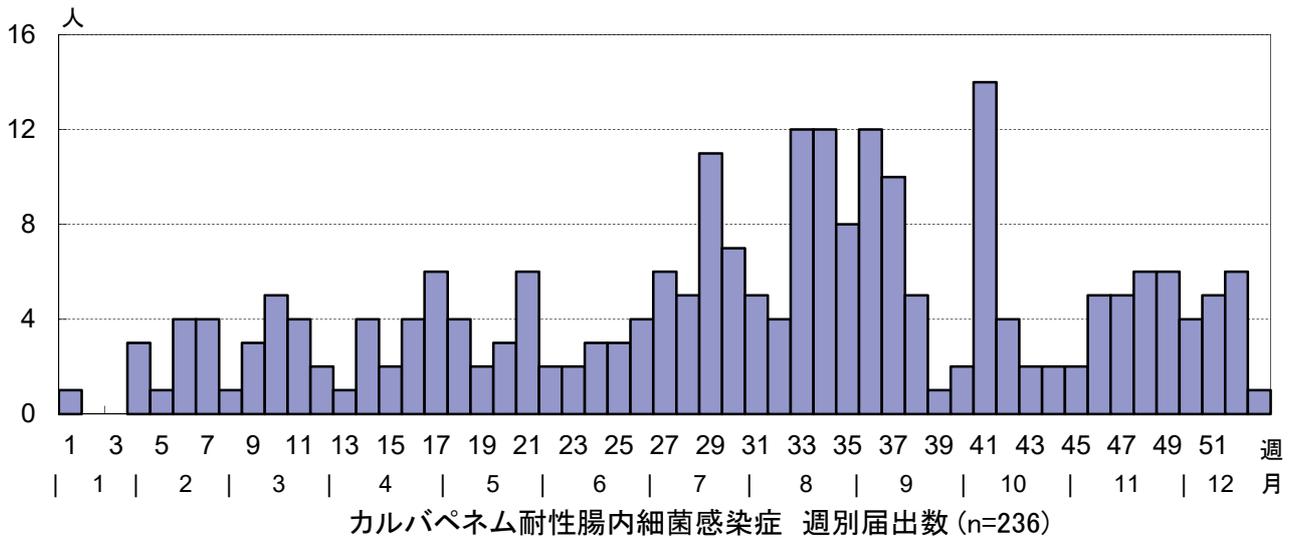
サイトメガロウイルス肝炎の 1 人は、40 代の女性で、推定感染地は国内、推定感染経路は不明であった。



### ③ カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症

2015年は236人の届出があった。性別は男性144人、女性92人で、年齢階級別では10歳未満9人、10～19歳4人、20～29歳3人、30～39歳7人、40～49歳9人、50～59歳14人、60～69歳43人、70歳以上147人であった。死亡例は7人（すべて70歳以上）が報告された。推定感染地は国内235人、国内または国外（渡航先不明）1人であった。

分離された菌種のうち *Enterobacter cloacae* が122件、*Enterobacter aerogenes* が63件、*Klebsiella pneumoniae* が11件、*Escherichia coli* が11件、*Serratia marcescens* が10件、*Citrobacter freundii* が5件であった。

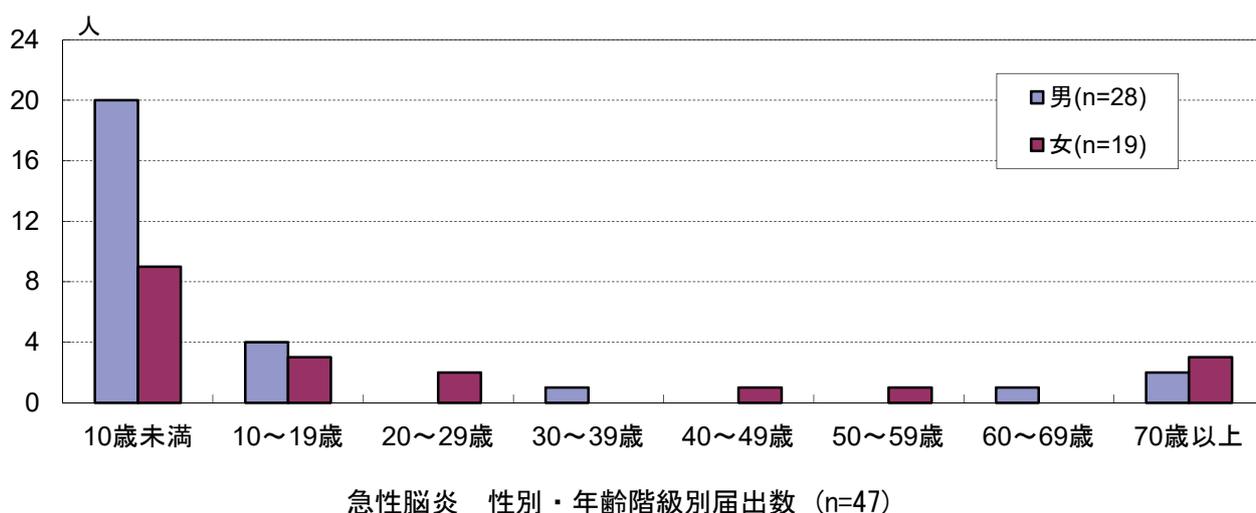
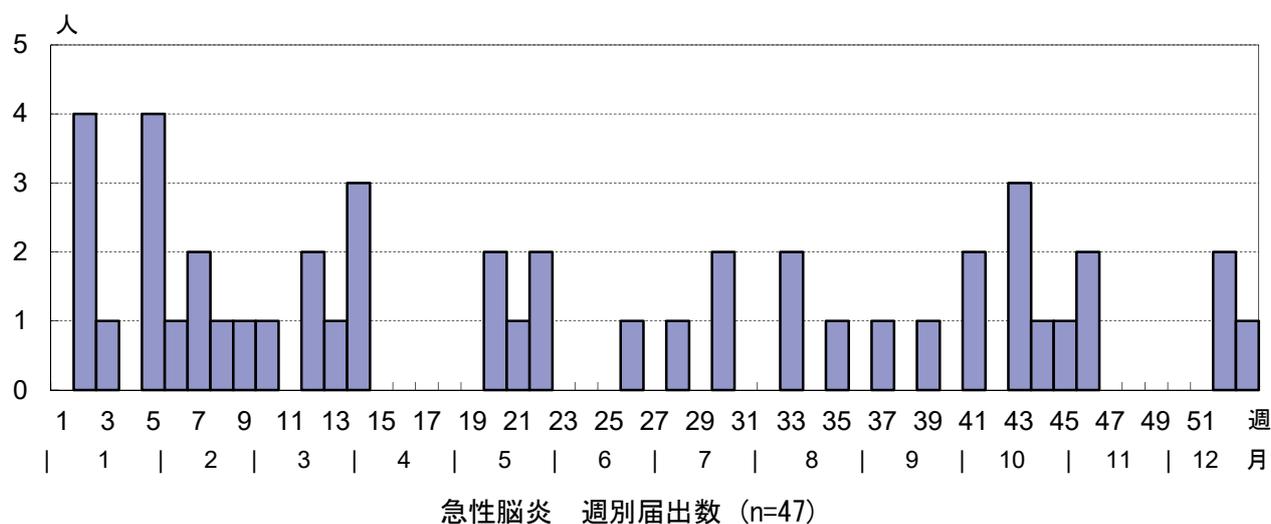


### ④ 急性脳炎（ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。）

2015年は47人の届出があった。性別は男性28人、女性19人で、年齢階級別では10歳未満29人（うち5歳未満21人）、10～19歳7人、20～29歳2人、30～39歳1人、40～49歳1人、50～59歳1人、60～69歳1人、70歳以上5人、推定感染地は国内46人、国内または国外（米国）1人であった。

病原体はインフルエンザウイルス11件、アデノウイルス2件、エンテロウイルス2件、ヒトヘルペ

スウィルス 2 件、単純ヘルペスウィルス 2 件、サルモネラ菌 2 件、ロタウィルス 1 件、マイコプラズマ 1 件、不明 24 件であった。



### ⑤ クリプトスポリジウム症

2015 年は 3 人の届出があった。性別はすべて男性で、年齢は 20～29 歳 1 人、30～39 歳 2 人であった。推定感染地は国内 2 人、国外（ネパール）1 人であった。推定感染経路は経口感染 1 人、性的接触 1 人、経口感染又は性的接触 1 人であった。

### ⑥ クロイツフェルト・ヤコブ病 (CJD)

2015 年は 24 人の届出があった。孤発性プリオン病が 23 人（ほぼ確実 12 人、疑い 11 人）であり、うち古典型 CJD が 21 人を占めた。また感染性プリオン病（疑い）が 1 人あり、医原性 CJD であった。性別は男性が 12 人、女性が 12 人で、年齢は 50～59 歳 4 人、60～69 歳 6 人、70 歳以上 14 人であった。

孤発性プリオン病 23 人の症状のうち、進行性認知症が 23 人すべてに認められたほか、錐体外路症状 18 人、記憶障害 16 人、精神・知能障害 16 人、ミオクローヌス 15 人、錐体路症状 14 人、小脳症状 12 人、筋強剛 12 人、無動性無言状態 11 人、視覚異常 9 人、臨床的に頑固な不眠 4 人、異常感覚 2 人、

瘳性対麻痺 2 人が認められた。

感染性プリオン病の 1 人の症状は、進行性認知症、ミオクローヌス、錐体外路症状、小脳症状、記憶障害、精神・知能障害、臨床的に頑固な不眠が認められた。

クロイツフェルト・ヤコブ病届出例 (n=24)

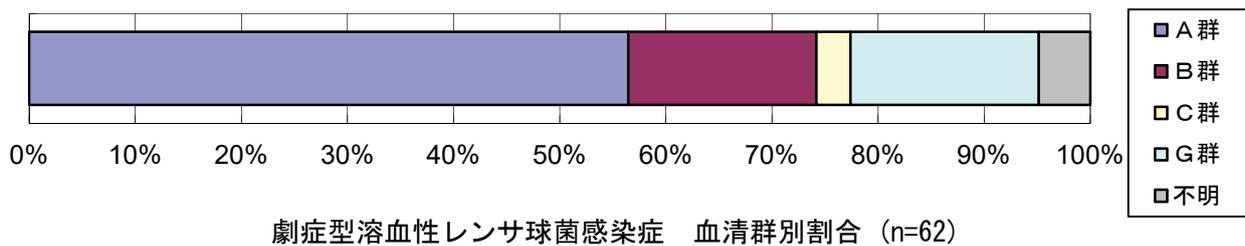
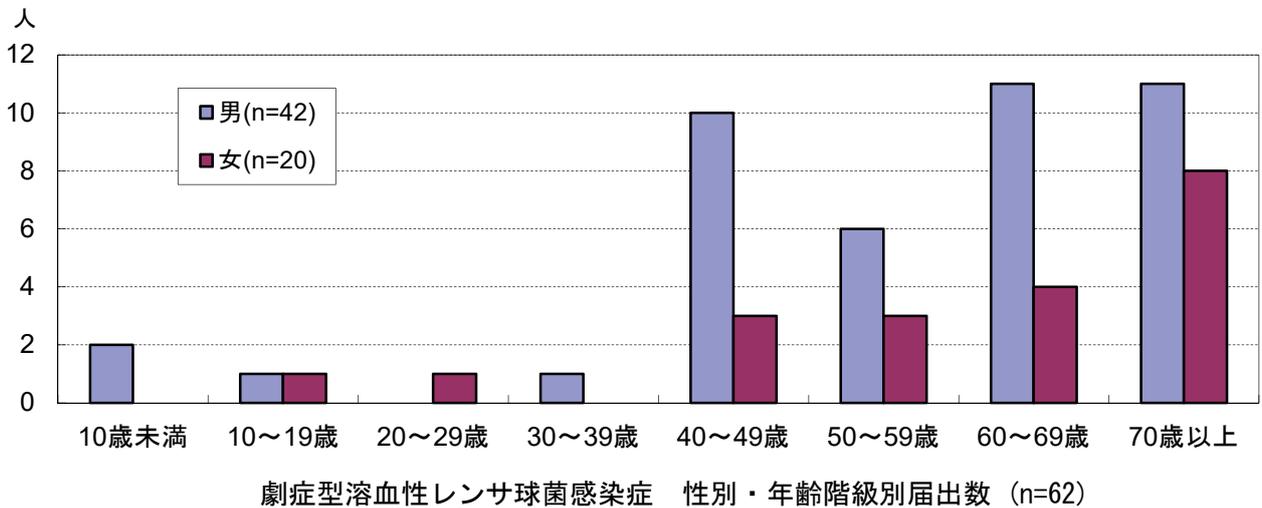
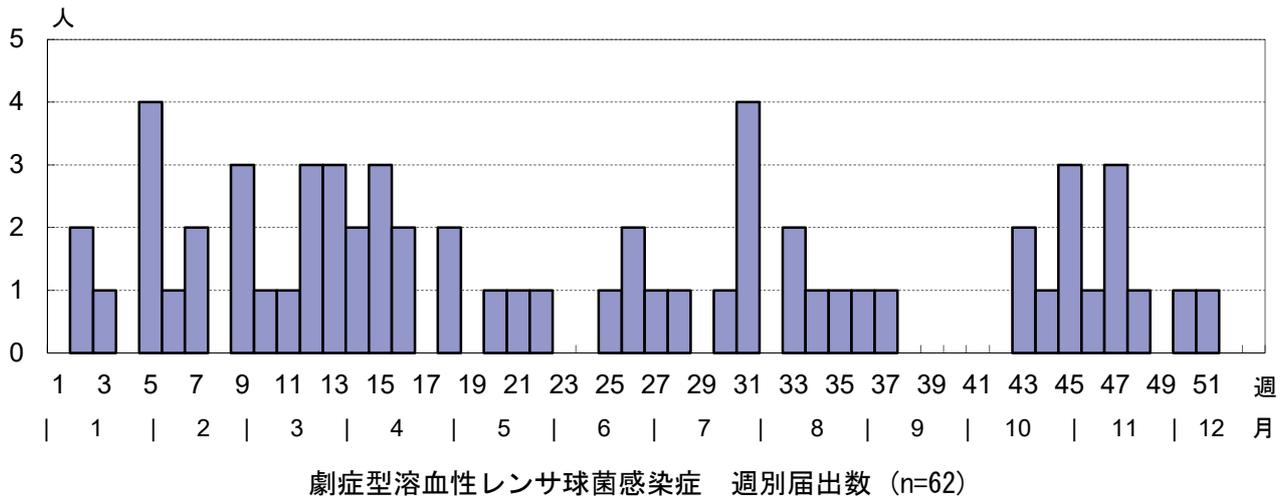
受理日	性別	年齢	病型	確実度
1/5	女	71	孤発性－古典型 CJD	疑い
1/7	男	76	孤発性－古典型 CJD	ほぼ確実
1/21	男	56	孤発性－古典型 CJD	ほぼ確実
2/26	女	71	孤発性－古典型 CJD	疑い
3/11	女	75	孤発性－古典型 CJD	ほぼ確実
3/19	女	65	孤発性－古典型 CJD	疑い
3/31	女	75	孤発性－古典型 CJD	ほぼ確実
4/21	女	66	孤発性－古典型 CJD	疑い
4/30	女	54	孤発性－古典型 CJD	ほぼ確実
5/26	女	80	孤発性－古典型 CJD	ほぼ確実
6/25	男	66	孤発性－古典型 CJD	ほぼ確実
6/29	男	73	孤発性－古典型 CJD	ほぼ確実
7/1	男	69	感染性－医原性 CJD	疑い
7/7	男	73	孤発性－古典型 CJD	ほぼ確実
7/14	女	77	孤発性－古典型 CJD	ほぼ確実
7/17	男	87	孤発性－古典型 CJD	疑い
8/3	男	57	孤発性－古典型 CJD	疑い
8/12	男	65	孤発性－古典型 CJD	疑い
9/9	女	58	孤発性－その他	疑い
9/14	女	86	孤発性－古典型 CJD	ほぼ確実
9/30	男	60	孤発性－その他	疑い
10/13	男	70	孤発性－古典型 CJD	ほぼ確実
11/20	女	83	孤発性－古典型 CJD	疑い
12/4	男	76	孤発性－古典型 CJD	疑い

#### ⑦ 劇症型溶血性レンサ球菌感染症

2015 年は 62 人の届出があり、過去 10 年で最も多い届出数となった。性別は男性 42 人、女性 20 人、年齢階級別では 10 歳未満 2 人（すべて 5 歳未満）、10～19 歳 2 人、20～29 歳 1 人、30～39 歳 1 人、40～49 歳 13 人、50～59 歳 9 人、60～69 歳 15 人、70 歳以上 19 人であった。死亡例は 13 人（5 歳未満 1 人、40～49 歳 2 人、60～69 歳 4 人、70 歳以上 6 人）報告された。

血清型は A 群 35 件、B 群 11 件、G 群 11 件、C 群 2 件、不明 3 件であった。

また、推定感染地はすべて国内で、推定感染経路は創傷感染 17 人、飛沫・飛沫核感染 5 人、接触感染 2 人、不明 38 人であった。



⑧ 後天性免疫不全症候群

2015年は435人の届出があり、AIDS患者71人、HIV感染者364人（うち指標疾患以外の有症者51人、無症候性キャリア313人）であった。

AIDS患者71人の内訳は男性70人、女性1人で、年齢階級別では20~29歳11人、30~39歳17人、40~49歳26人、50~59歳11人、60~69歳6人であった。

HIV感染者のうち指標疾患以外の有症者の51人は男性50人、女性1人で、20~29歳19人、30~39歳14人、40~49歳14人、50~59歳2人、60~69歳2人であった。

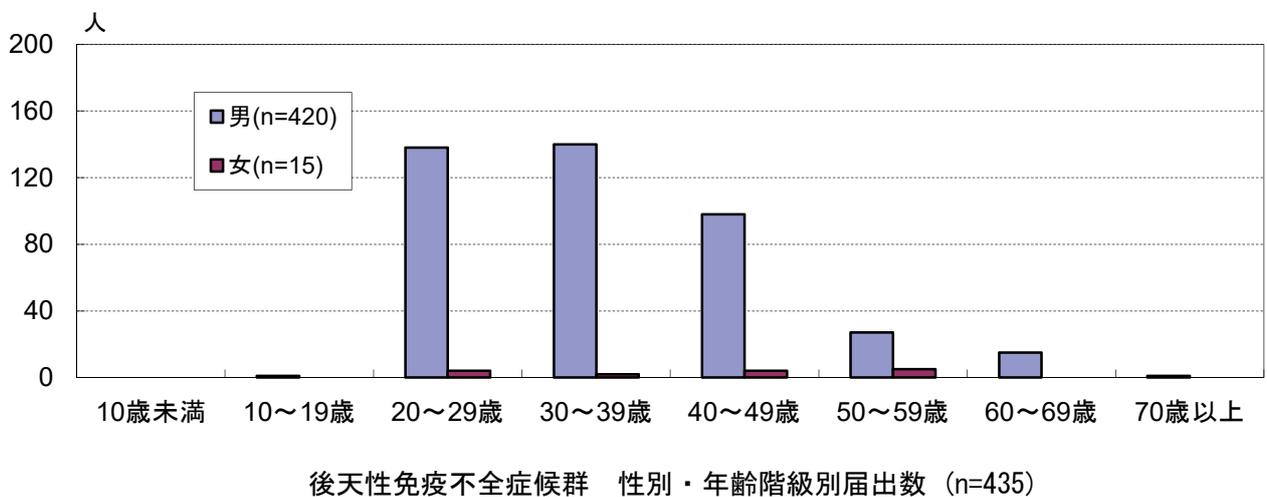
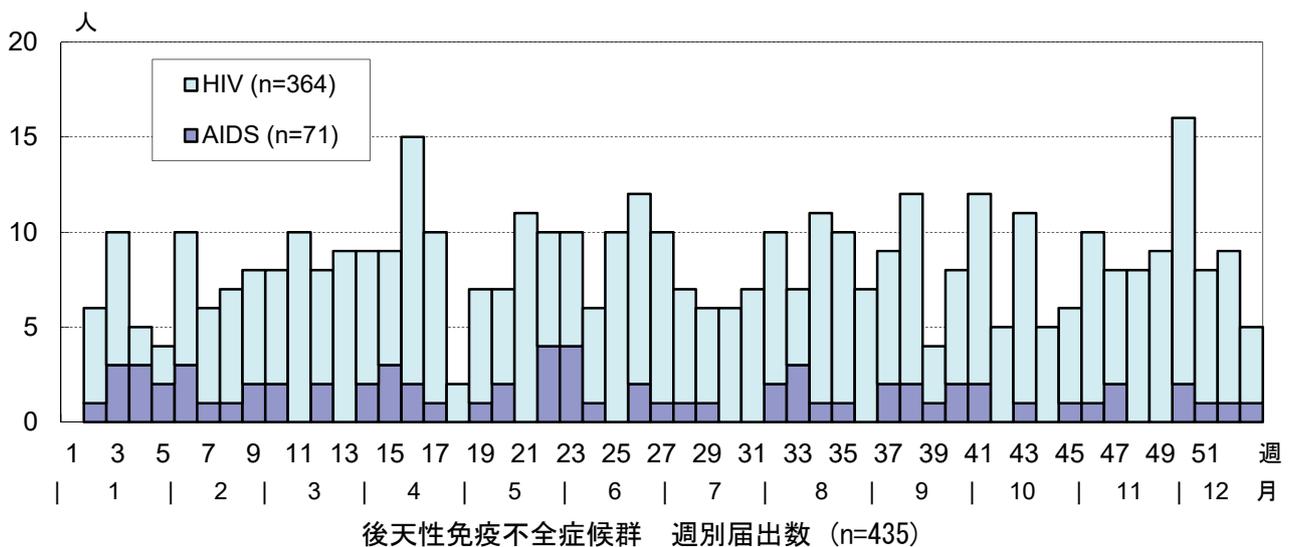
HIV感染者のうち無症候性キャリアの313人は男性300人、女性13人で、年齢は10~19歳1人、

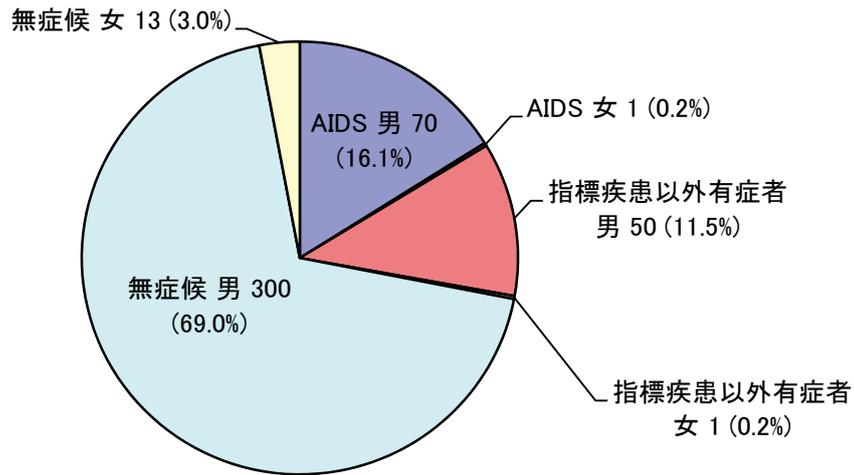
20～29 歳 112 人、30～39 歳 111 人、40～49 歳 62 人、50～59 歳 19 人、60～69 歳 7 人、70 歳以上 1 人であった。

推定感染地は国内 358 人、国外 31 人、国内又は国外 3 人、不明 43 人であった。国外感染例 31 人の推定感染地域は、東南アジア 9 人、東アジア 9 人、アメリカ 4 人、アフリカ 3 人、南アジア 2 人、西アジア 1 人、東ヨーロッパ 1 人、オセアニア 1 人、不明 1 人であった。推定感染国別に見ると、タイ 4 人、中国 4 人、米国 3 人、インドネシア 2 人、韓国 2 人、台湾 2 人、インド 2 人、フィリピン、ベトナム、ミャンマー、アラブ首長国連邦、ペルー、カメルーン、ジブチ、モザンビーク、ベラルーシ、オーストラリア各 1 人、中国又は韓国 1 人、渡航先不明 1 人であった。

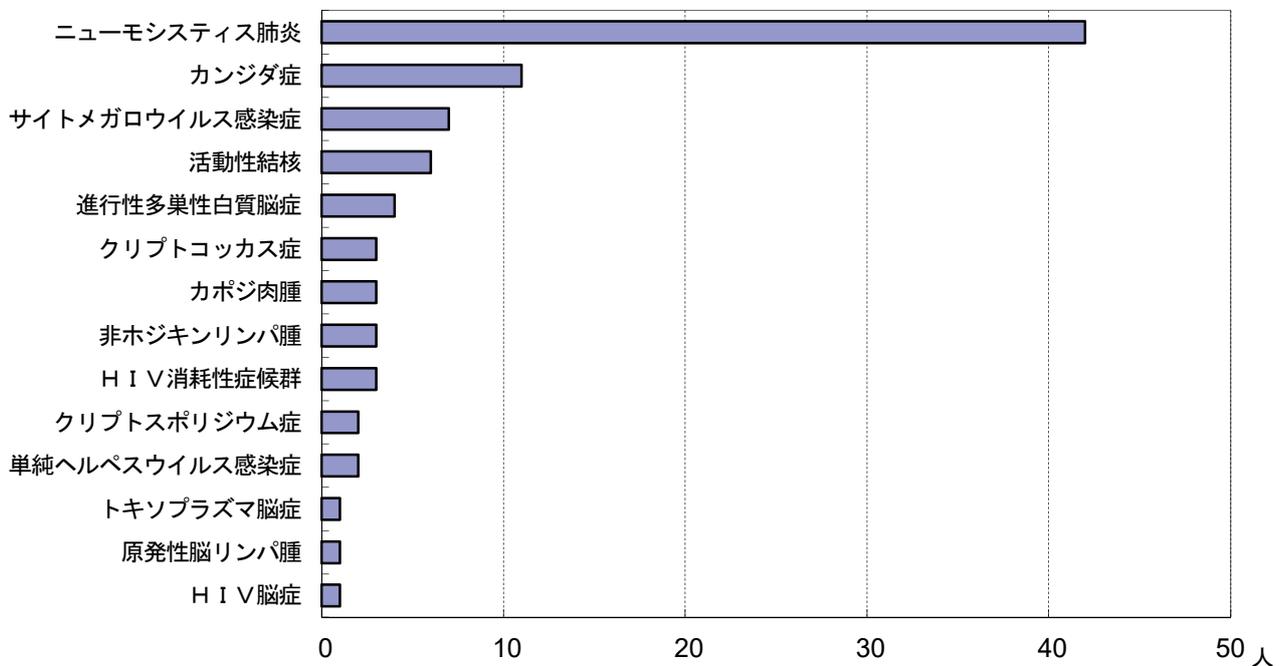
推定感染経路は性的接触 394 人（同性間 318 人、異性間 55 人、両性間 18 人、不明 3 人）、輸血 1 人、静注薬物使用 1 人、針刺し事故 1 人、2 経路以上 4 人（同性間性的接触又は静注薬物使用 3 人、性別不明性的接触又は入れ墨 1 人）、不明 34 人であった。

AIDS と診断した指標疾患のうちニューモシスティス肺炎が 42 人、カンジダ症が 11 人、サイトメガロウイルス感染症が 7 人、活動性結核が 6 人、進行性多巣性白質脳症が 4 人、クリプトコッカス症、カポジ肉腫、非ホジキンリンパ腫、HIV 消耗性症候群がそれぞれ 3 人であった。なお、これらの中には複数疾患発症者の報告 15 人（2 疾患 12 人、3 疾患 3 人）が含まれている。





後天性免疫不全症候群 性別届出割合 (n=435)



AIDSと診断した指標疾患 (n=71、重複あり)

### ⑨ ジアルジア症

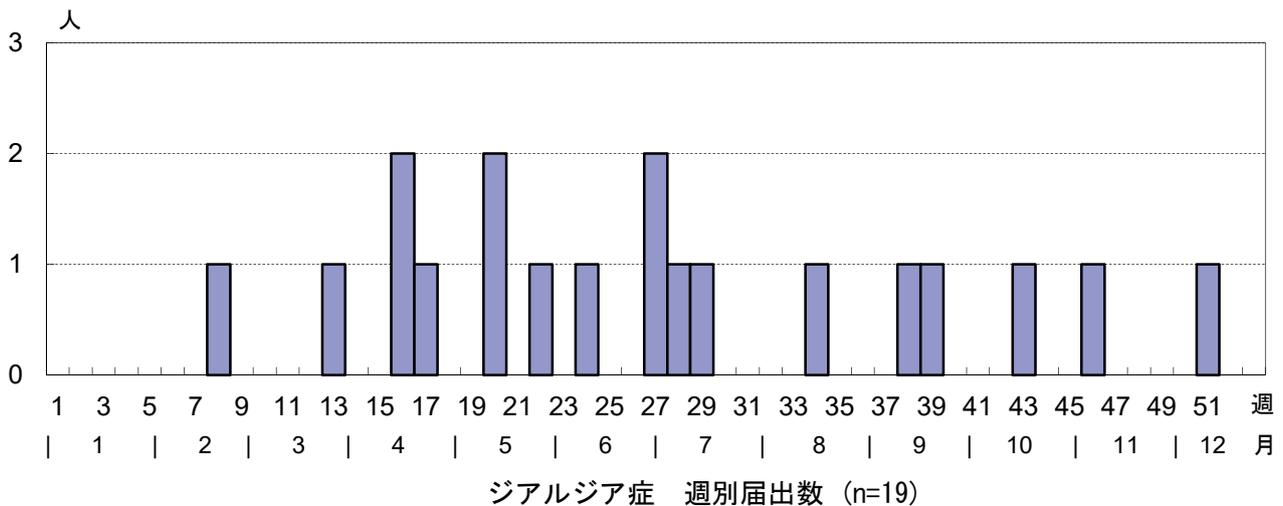
2015年は19人の届出があった。性別は男性15人、女性4人で、年齢は20～29歳1人、30～39歳7人、40～49歳4人、50～59歳5人、60～69歳1人、70歳以上1人であった。

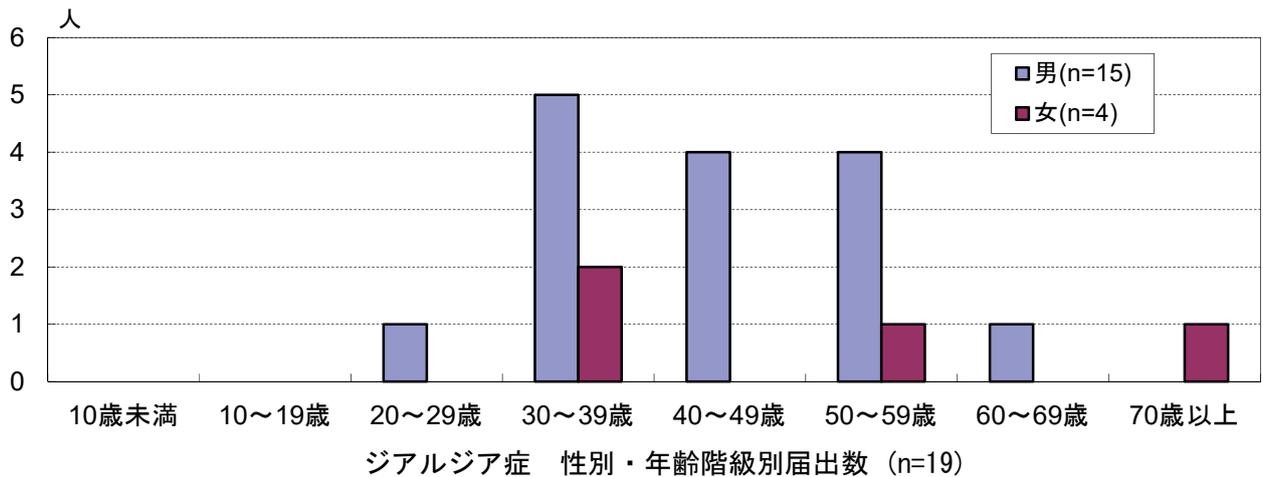
推定感染地は国内10人、国外9人であった。国外感染例9人を推定感染地域別に見ると、東南アジア4人（ミャンマー2人、タイ1人、カンボジア又はタイ又はベトナム1人）、南アジア4人（インド3人、インド又はネパール1人）、韓国1人であった。

推定感染経路は、経口感染8人、性的接触（同性間）3人、経口感染又は水系感染1人、経口感染又は代用膀胱直腸瘻由来疑い1人、不明6人であった。

ジアルジア症届出例 (n=19)

受理日	性別	年齢	推定感染地	推定感染経路
2/16	男	42	国内	不明
3/26	男	56	国内	不明
4/14	男	39	インド	経口感染
4/16	女	56	タイ	経口感染
4/24	男	57	インド	経口感染
5/11	女	85	国内	不明
5/12	男	62	カンボジア又はタイ又は ベトナム	経口感染又は水系感染
5/25	女	35	インド又はネパール	経口感染
6/11	女	35	インド	経口感染
6/29	男	34	国内	同性間性的接触
7/2	男	40	ミャンマー	経口感染
7/6	男	26	国内	不明
7/15	男	34	国内	同性間性的接触
8/18	男	51	国内	不明
9/15	男	57	国内	経口感染又は代用膀胱直腸瘻由来疑い
9/24	男	42	ミャンマー	経口感染
10/20	男	31	国内	同性間性的接触
11/11	男	32	大韓民国	経口感染
12/14	男	40	国内	不明



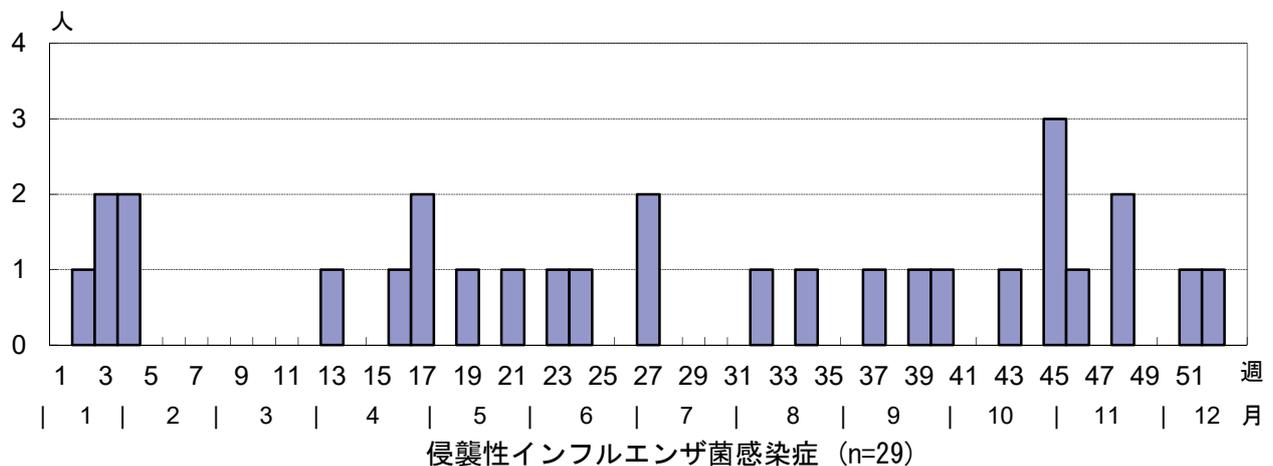


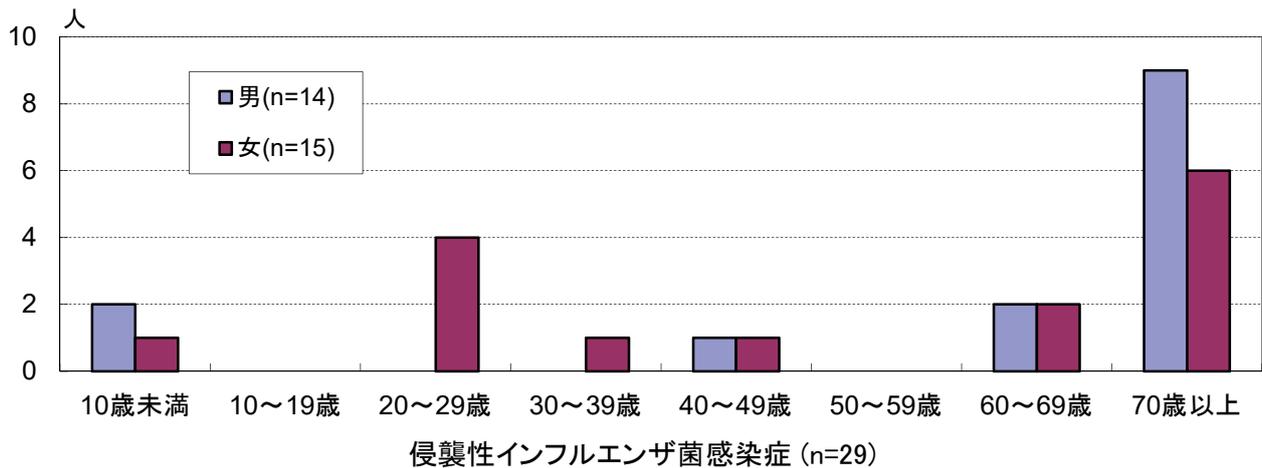
#### ⑩ 侵襲性インフルエンザ菌感染症

2015年は29人の届出があった。性別は男性14人、女性15人、年齢は10歳未満3人（すべて5歳未満）、20～29歳4人、30～39歳1人、40～49歳2人、60～69歳4人、70歳以上15人で、死亡例は2人報告された。

血清型はb群3人、f型1人、判定不能7人、不明18人であった。

推定感染地はすべて国内で、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染11人、接触感染（性的接触の疑い）1人、不明17人であった。Hibワクチン接種歴は4回接種が2人、1回接種が1人（いずれも5歳未満）のほか、接種なし7人、不明19人であった。





### ⑪ 侵襲性髄膜炎菌感染症

2015年は8人の届出があった。性別は男性7人、女性1人であった。年齢階級別では5歳未満1人、20～29歳1人、40～49歳3人、50～59歳2人、60～69歳1人で、死亡例は1人報告された。血清群はY群3人、W-135群2人、B群1人、C群1人、Y群及びW-135群1人であった。推定感染地はすべて国内で、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染2人、不明6人であった。ワクチン接種歴は、なし4人、不明4人であった。

侵襲性髄膜炎菌感染症届出例 (n=8)

受理日	性別	年齢	血清群	推定感染地	推定感染経路	ワクチン接種歴
1/13	男	42	W-135群	国内	不明	なし
1/14	男	59	C群	国内	飛沫・飛沫核感染	不明
3/5	男	45	W-135群	国内	不明	不明
4/7	男	26	Y群	国内	不明	不明
5/18	男	55	Y群	国内	不明	なし
5/29	女	61	Y群	国内	飛沫・飛沫核感染	不明
7/22	男	3	B群	国内	不明	なし
11/24	男	40	Y群及び W-135群	国内	不明	なし

### ⑫ 侵襲性肺炎球菌感染症

2015年は323人の届出があった。性別は男性197人、女性126人であった。年齢階級別では10歳未満58人（うち5歳未満55人）、10～19歳5人、20～29歳3人、30～39歳14人、40～49歳32人、50～59歳22人、60～69歳56人、70歳以上133人で、死亡例は12人報告された。

血清型は24F型12人、15A型9人、12F型8人、19A型8人、35B型5人、3型4人、10A型4人、1型2人、4型2人、7F型2人、24B型2人、34型2人、8型1人、9V型1人、11A型1人、15B型1人、15C型1人、18C型1人、20型1人、22型1人、23A型1人、24A型1人、38型1人、24(24A)

又は 24B 又は 24F) 型 2 人、不明 250 人であった。

推定感染地は国内 319 人、国外 (シンガポール) 1 人、国内又は国外 3 人 (フィリピン 1 人、渡航先不明 2 人) であり、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 94 人、接触感染 8 人、飛沫・飛沫核感染又は接触感染 3 人、飛沫・飛沫核感染又は中耳炎 1 人、不明 217 人であった。ワクチン接種歴は 4 回接種 38 人、3 回接種 15 人、2 回接種 2 人、1 回接種 14 人、なし 143 人、不明 111 人であった。

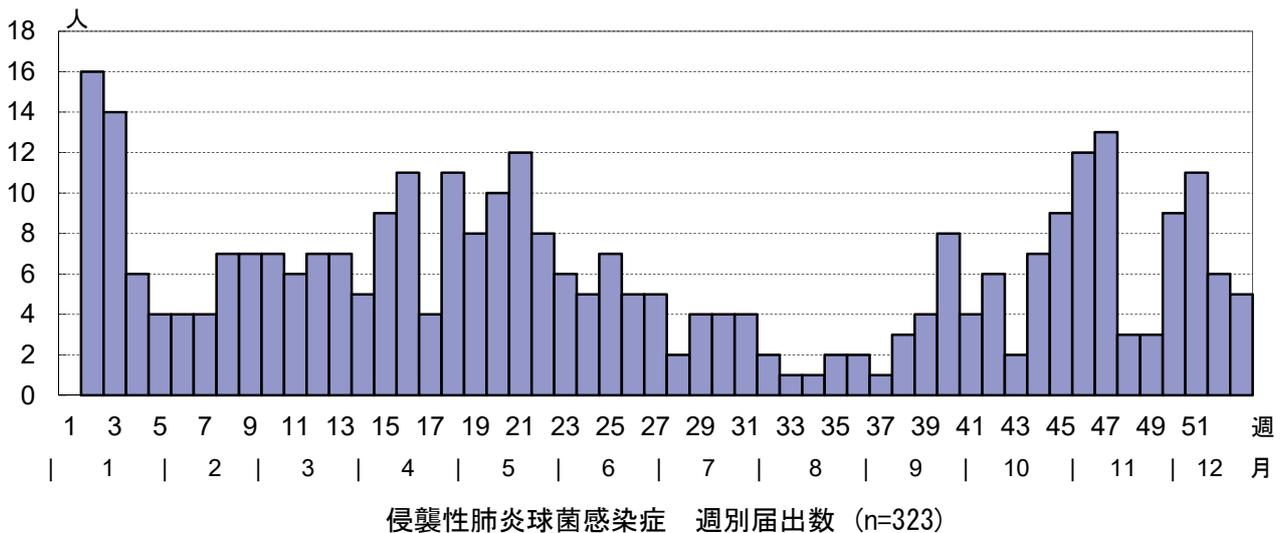
年齢階級別・種類別ワクチン接種歴 (n=323)

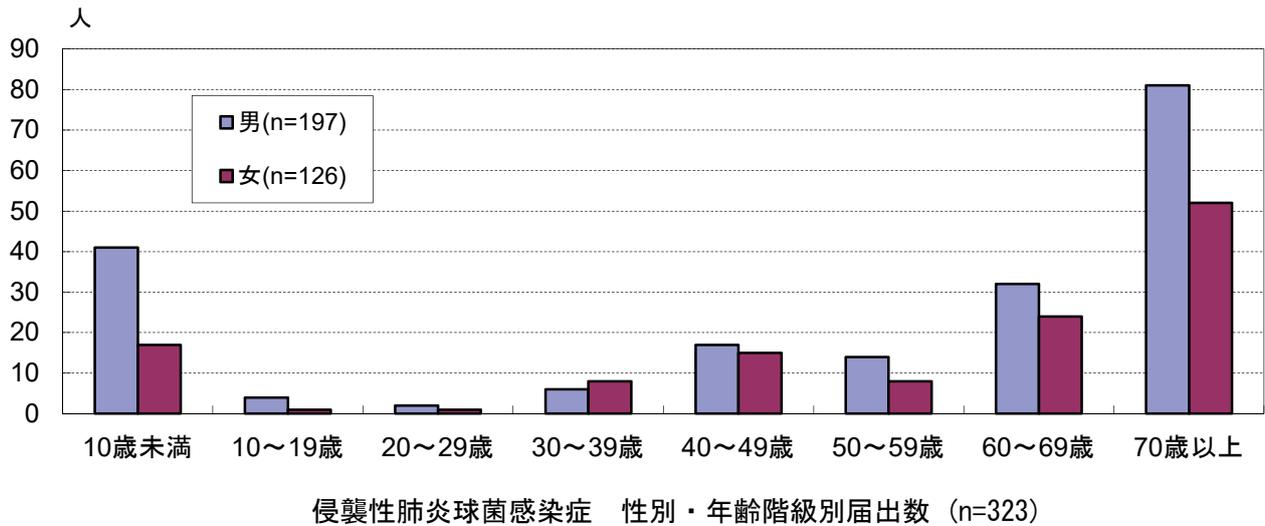
	7価4回	7価3回	13価4回	13価3回	23価3回	23価1回	7価3回と 13価1回	7価2回と 13価2回	7価2回と 13価1回
5歳未満	18	1	11	9			3	1	1
5～9歳							1		
10～64歳									
65歳以上					1	3			
合計	18	1	11	9	1	3	4	1	1

(表の続き)

年齢階級別・種類別ワクチン接種歴 (n=323)

	7価1回と 13価2回	13価2回と 不明1回	不明4回	不明3回	不明2回	不明1回	なし	不明	合計
5歳未満	1	1	4	1		1	1	2	55
5～9歳							2		3
10～64歳					1	1	71	29	102
65歳以上					1	9	69	80	163
合計	1	1	4	1	2	11	143	111	323

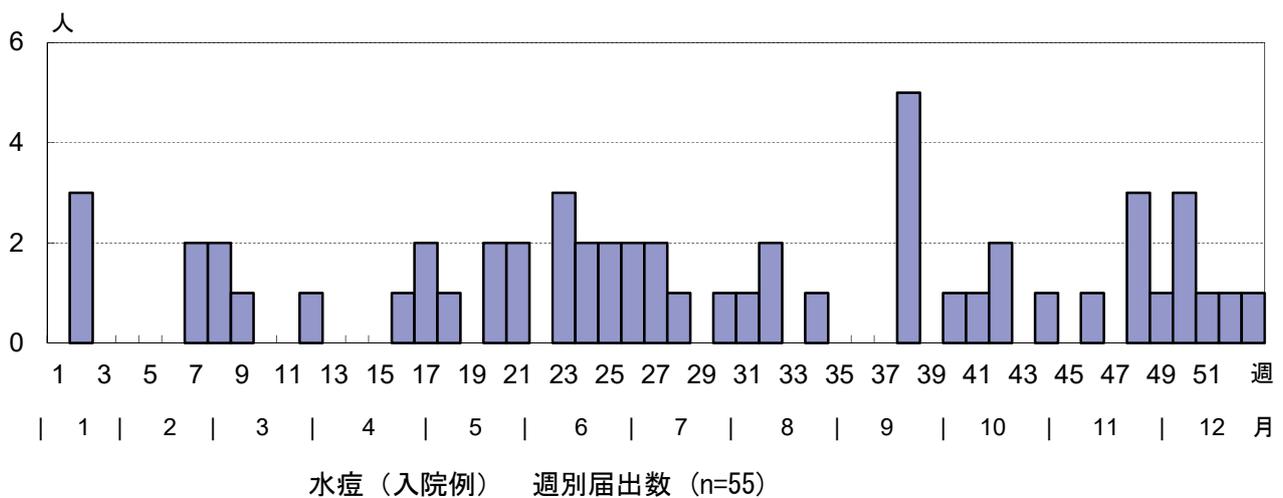


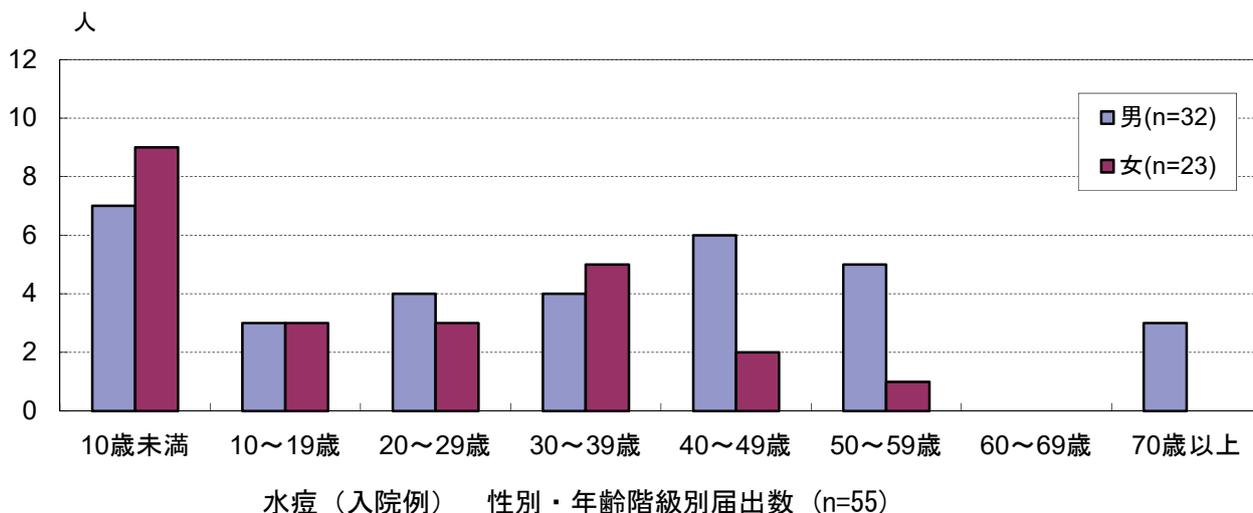


### ⑬ 水痘（入院例）

2015年は55人の届出があった。性別は男性32人、女性23人で、年齢階級別では10歳未満16人、10～19歳6人、20～29歳7人、30～39歳9人、40～49歳8人、50～59歳6人、70歳以上3人であった。死亡例は1人報告された。

推定感染地はすべて国内で、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染16人、接触感染9人、院内感染1人、接種ワクチン由来1人、不明28人であった。ワクチン接種歴は1回接種7人、なし20人、不明28人であった。



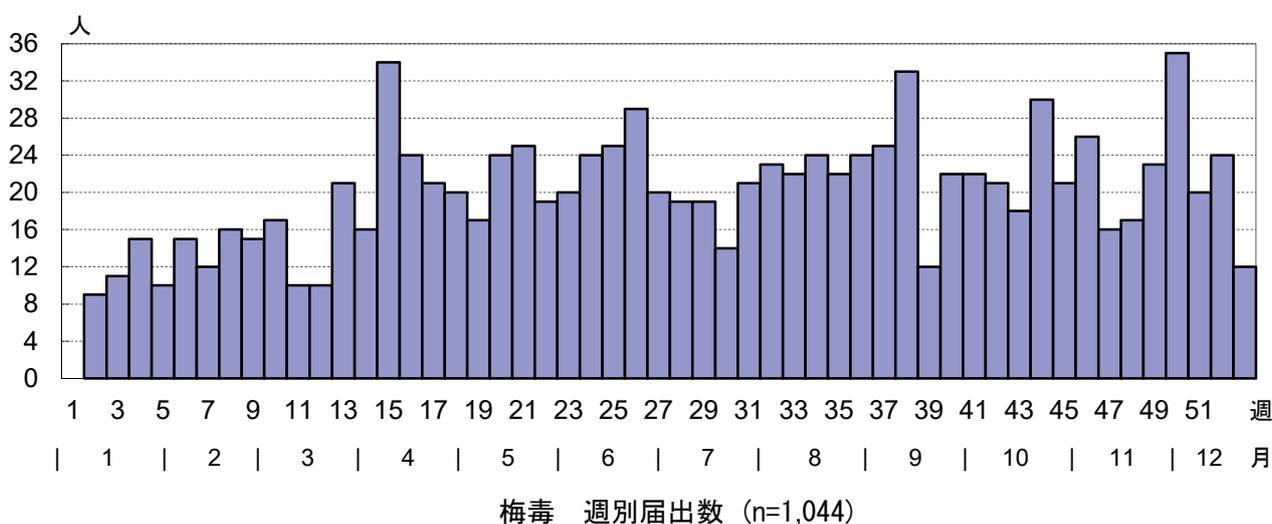


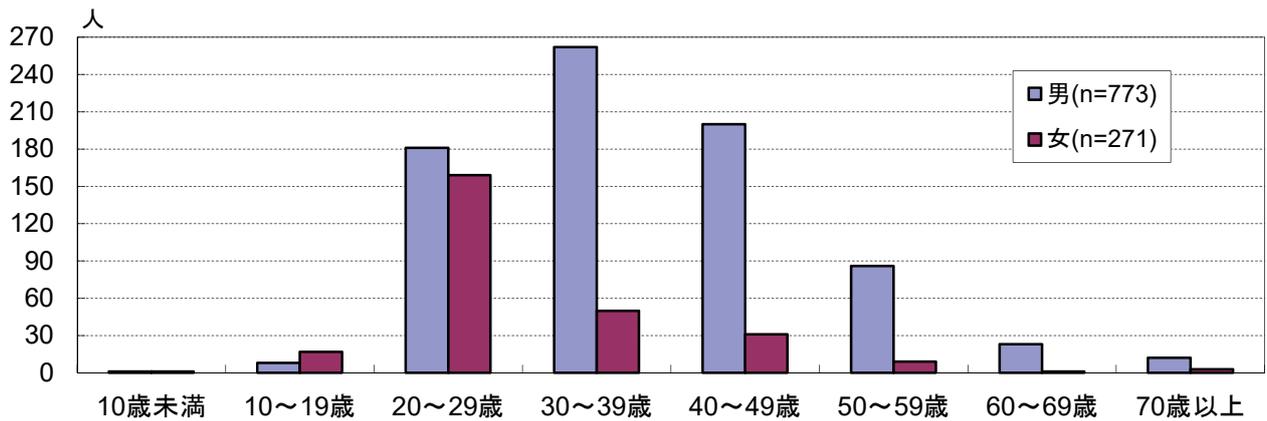
#### ⑭ 梅毒

2015年は1,044人届出があり、過去10年間で最も多い届出数となった。早期顕症梅毒Ⅰ期304人、早期顕症梅毒Ⅱ期443人、晩期顕症梅毒22人、無症候273人、先天梅毒2人であった。性別は男性773人、女性271人で女性は昨年の3倍以上の届出数となった。年齢階級別では10歳未満2人、10～19歳25人、20～29歳340人、30～39歳312人、40～49歳231人、50～51歳95人、60～69歳24人、70歳以上15人で、20～49歳の男性が全体の61.6%を占めた。一方、20～29歳では女性が46.8%を占めた。

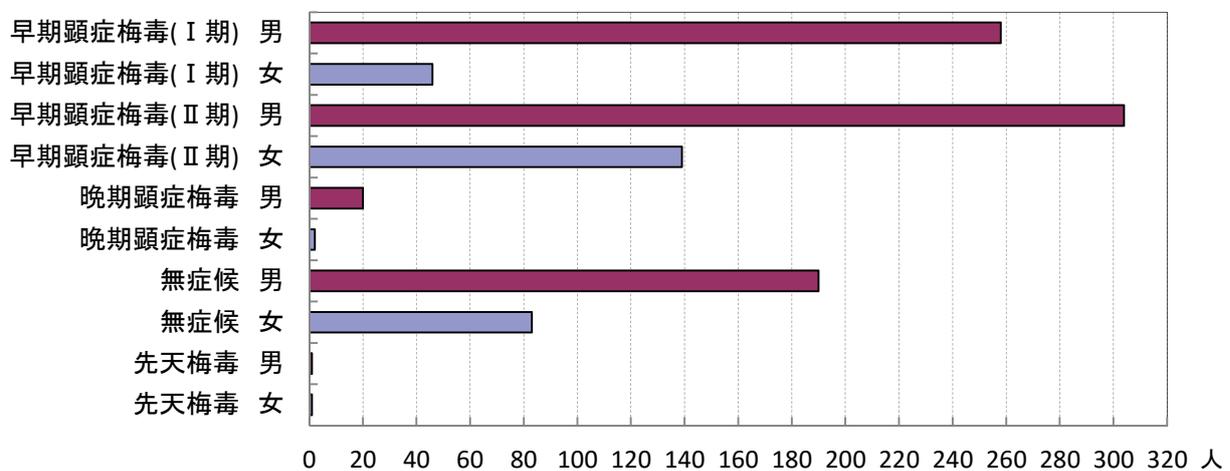
推定感染地は国内1,024人、国外10人、国内又は国外10人であり、国外感染例10人の推定感染国は、中国5人、台湾2人、タイ1人、インドネシア1人、アメリカ1人であった。

推定感染経路は性的接触992人（同性間288人、異性間549人、両性間6人、性別不明149人）、母子感染3人、静注薬物常用1人、性的接触（同性間）又は静注薬物常用1人、不明47人となり、男性の異性間性的接触の割合が増加した。

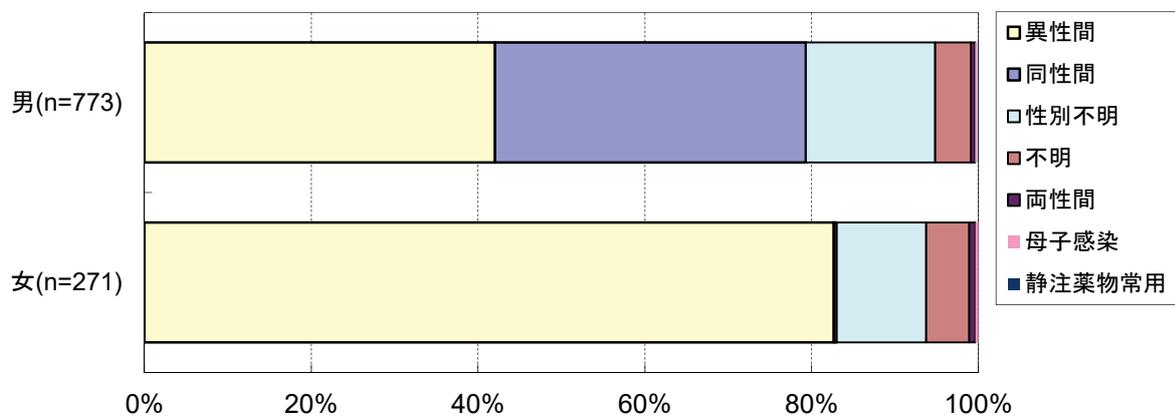




梅毒 性別・年齡階級別届出数 (n=1,044)



梅毒 性別病型届出数 (n=1,044)



梅毒 推定感染経路 (n=1,044)

⑮ 播種性クリプトコックス症

2015年は11人の届出があった。性別は男性7人、女性4人で、年齢階級別は30～39歳1人、40～49歳3人、70歳以上7人であった。推定感染国はすべて国内で、推定感染原因はすべて免疫不全(HIV3人、関節リウマチ治療中2人、胆管癌治療中1人、白血病リンパ腫治療中1人、ステロイド加療中1人、不明3人)であった。

⑯ 破傷風

2015年は2人の届出があった。性別はすべて男性で、年齢は40～49歳1人、70歳以上1人であった。推定感染地はすべて国内で、推定感染経路は全て創傷感染であった。破傷風含有ワクチン接種歴はいずれも不明であった。

⑰ バンコマイシン耐性腸球菌（VRE）感染症

2015年は2人の届出があった。性別は男性1人、女性1人、年齢は60～69歳1人、70歳以上1人であった。菌種はすべて *Enterococcus faecium*、耐性遺伝子はすべて *vanB* であった。

推定感染地はすべて国内であった。推定感染経路は膀胱直腸瘻由来が1人、術後の創部感染1人であった。

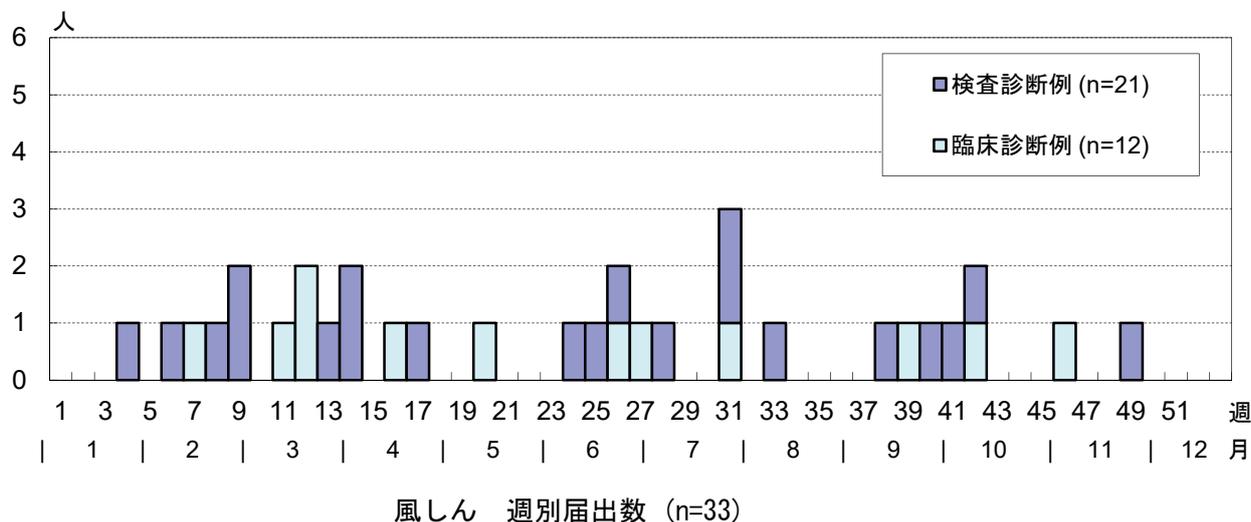
⑱ 風しん

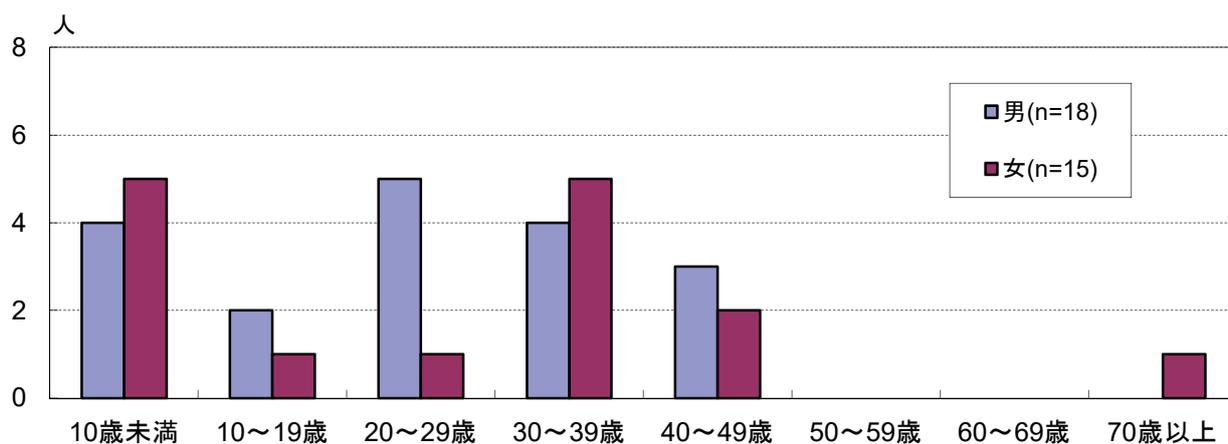
2015年の届出は33人であった。検査診断例21人（うちPCR陽性例は2例）、臨床診断例12人であった。

性別は男性18人、女性15人で、年齢階級別では10歳未満9人（うち5歳未満7人）、10～19歳3人、20～29歳6人、30～39歳9人、40～49歳5人、70歳以上1人であった。

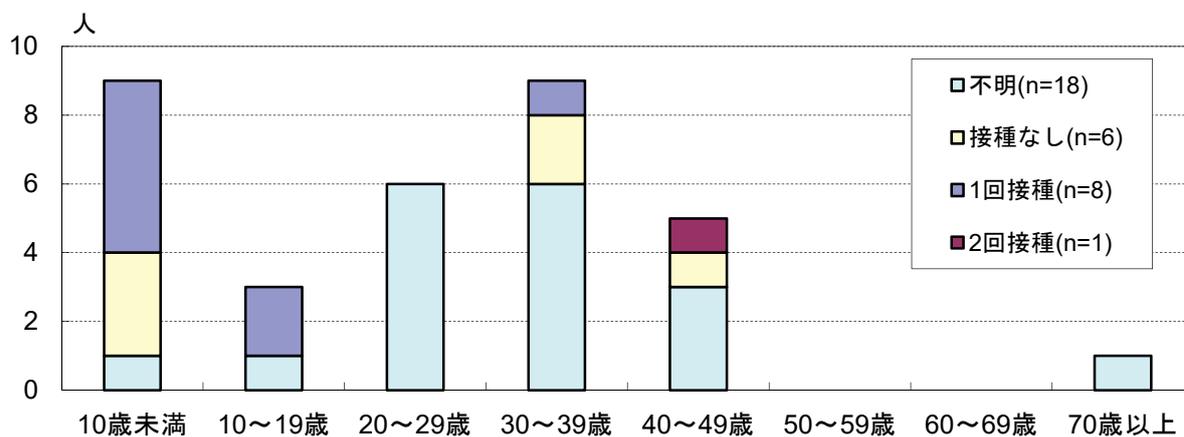
推定感染地は国内29人、国外3人、国内又は国外（渡航先不明）1人で、国外感染例3人の推定感染国は、中国1人、フィリピン又はブルネイ又はシンガポール1人、米国又はメキシコ1人であった。

風しん含有ワクチン接種歴は、2回接種1人(3.0%)、1回接種8人(24.2%)、接種歴なし6人(18.2%)、不明18人(54.5%)であった。





風しん 性別・年齢階級別届出数 (n=33)



風しん 年齢別・接種歴別届出数 (n=33)

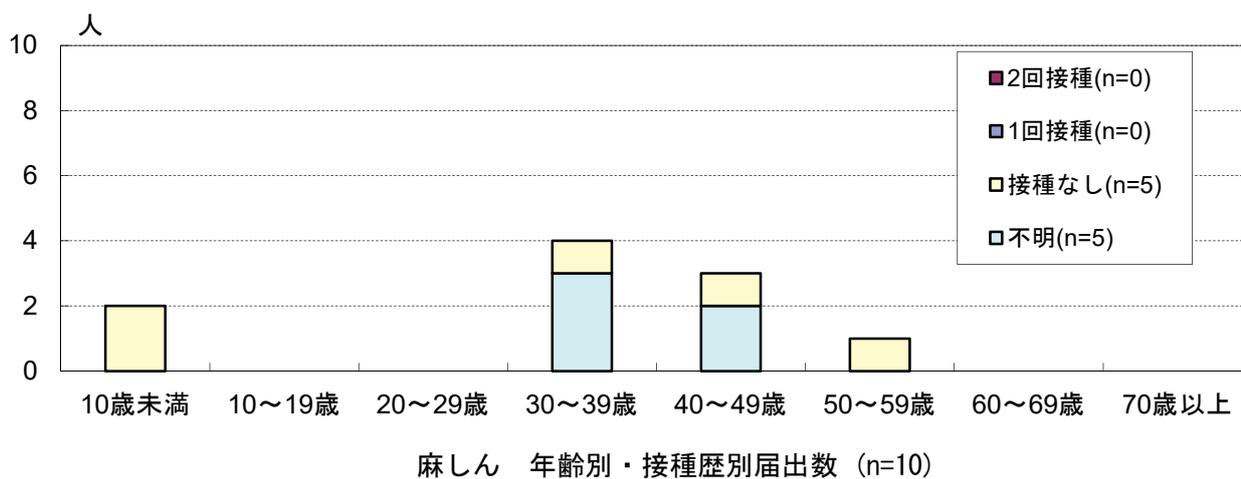
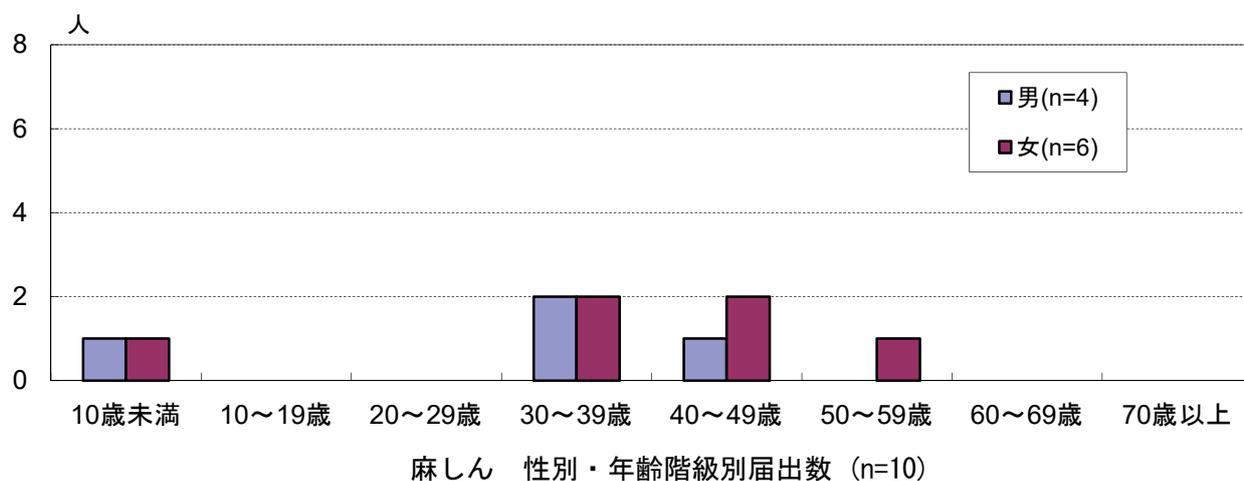
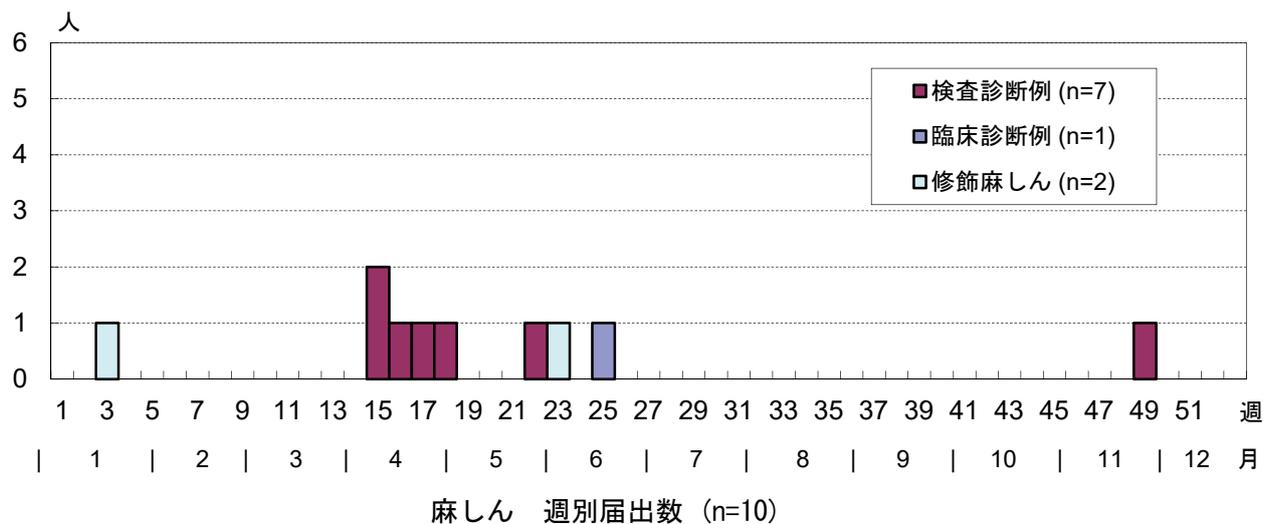
### ⑱ 麻しん

2015年は10人の届出があり、2008年に五類全数把握対象となってから最も少ない届出数となった。検査診断例7人、臨床診断例1人、修飾麻しん2人であり、肺炎、脳炎の合併は報告されなかった。2015年には同一施設での集積事例はなかった。

性別は男性4人、女性6人で、年齢階級別では10歳未満2人（すべて5歳未満）、30～39歳4人、40～49歳3人、50～59歳1人であった。推定感染地は国内6人、国外4人であった。国外感染例4人の推定感染国は、マレーシア、インドネシア、インド、モンゴル各1人であった。

麻しん含有ワクチン接種歴は、接種なし5人、不明5人であった。

2015年にPCR検査で麻しんウイルス陽性が確認された例は9件あり、それらの遺伝子型別の内訳はD9型3件、D8型2件、H1型1人、A型（ワクチン株のため届出対象外）3件であった。



⑳ 薬剤耐性アシネトバクター感染症

2015年は13人の届出があった。性別は男性7人、女性6人で、年齢階級別は50～59歳1人、70歳以上12人であった。推定感染国はすべて国内で、推定感染原因は以前からの保菌7人、院内感染3人、医療機器感染2人、不明1人であった。

⑳ その他の五類感染症

以下の疾患は届出がなかった。

先天性風しん症候群（CRS）、バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症

表3-1(1) 一、二、三類感染症 週別患者報告数

2015年第1週～2015年第53週

週	期間	一類							二類						三類					
		エボラ出血熱	クリミア・コンゴ出血熱	痘そう	南米出血熱	ペスト	マールブルグ病	ラッサ熱	急性灰白髄炎	結核*	ジフテリア	重症急性呼吸器症候群	中東呼吸器症候群	鳥インフルエンザ (H5N1)	鳥インフルエンザ (H7N9)	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス
1	12.29～1.4																			
2	1.5～1.11																			1
3	1.12～1.18															1	2	1		
4	1.19～1.25															2	2	1		
5	1.26～2.1															2	1		1	
6	2.2～2.8																1			
7	2.9～2.15															1	1			
8	2.16～2.22															2				
9	2.23～3.1															2	1			
10	3.2～3.8																1			
11	3.9～3.15																4			
12	3.16～3.22																2			
13	3.23～3.29															3		1		
14	3.30～4.5																1	1		
15	4.6～4.12																	1		
16	4.13～4.19															1	2	1		
17	4.20～4.26															3				1
18	4.27～5.3															1	1			
19	5.4～5.10															2				
20	5.11～5.17															3				
21	5.18～5.24																5	1		
22	5.25～5.31																5			1
23	6.1～6.7															4	5			
24	6.8～6.14															3	11			
25	6.15～6.21															1	16			1
26	6.22～6.28															1	16			
27	6.29～7.5															1	24			
28	7.6～7.12															3	27			
29	7.13～7.19															2	27			
30	7.20～7.26																13			
31	7.27～8.2															2	19	1		
32	8.3～8.9															2	14			
33	8.10～8.16																19			
34	8.17～8.23															2	15			
35	8.24～8.30															1	20			
36	8.31～9.6																11			1
37	9.7～9.13															2	7			
38	9.14～9.20																12	1		
39	9.21～9.27															1	7			1
40	9.28～10.4															1	2	2		
41	10.5～10.11																5	1		
42	10.12～10.18																6			
43	10.19～10.25															2	5			1
44	10.26～11.1																4			
45	11.2～11.8														1		2			
46	11.9～11.15															2	3			
47	11.16～11.22															1	4			
48	11.23～11.29															1	1	1		
49	11.30～12.6																5			1
50	12.7～12.13																2			
51	12.14～12.20																3			
52	12.21～12.27																1	1		
53	12.28～1.3																			
合計															1	53	335	14		9

\* 結核については、別途「東京都における結核の概況」として報告する。

表3-1(2) 四類感染症 週別患者報告数

2015年第1週～2015年第53週

週	期 間	四 類													
		E型 肝炎	A型 肝炎	エキ ノコ ックス 症	コク シジ オイ デス 症	チク ング ニア 熱	つ つが 虫 病	デ ン グ 熱	日 本 紅 斑 熱	ブル セラ 症	マ ラ リ ア	ライ ム 病	類 鼻 疽	レ ジ オ ネ ラ 症	レ プ ト ス ピ ラ 症
1	12.29～1.4														
2	1.5～1.11		1					1						6	
3	1.12～1.18		1	1		1		3						2	
4	1.19～1.25							1						3	
5	1.26～2.1	1	2												
6	2.2～2.8	2						2							
7	2.9～2.15							2						1	
8	2.16～2.22		2											1	
9	2.23～3.1					1		1							
10	3.2～3.8	3						1						4	1
11	3.9～3.15	1						1			1				
12	3.16～3.22							1			1				
13	3.23～3.29		2					1						3	
14	3.30～4.5	3						4							1
15	4.6～4.12		1											3	
16	4.13～4.19	1	3					4			1			2	
17	4.20～4.26	1	1											3	1
18	4.27～5.3		1											3	1
19	5.4～5.10		2					1						1	
20	5.11～5.17		1			1		1			1			1	1
21	5.18～5.24	1	2			1		2		1				2	
22	5.25～5.31		1											2	
23	6.1～6.7	2	3					2			2			1	
24	6.8～6.14		2					1						4	
25	6.15～6.21	1	2			1		2			1			2	
26	6.22～6.28							1						2	
27	6.29～7.5	1			1			2			1			4	
28	7.6～7.12					1		1		1		1		6	
29	7.13～7.19							3						6	
30	7.20～7.26	1	2											5	
31	7.27～8.2	1									2			3	
32	8.3～8.9							1			1			1	
33	8.10～8.16							3						3	
34	8.17～8.23		1					5			1			5	
35	8.24～8.30							6					1	4	
36	8.31～9.6							4	1		1			7	
37	9.7～9.13		1					4						3	1
38	9.14～9.20		2					5						3	
39	9.21～9.27		2					2			1			7	
40	9.28～10.4		1					1						10	2
41	10.5～10.11	1	1					3			1			7	
42	10.12～10.18										1			2	
43	10.19～10.25	2						1						3	1
44	10.26～11.1				1			2						4	
45	11.2～11.8	1	1					2	1					3	1
46	11.9～11.15	5						5						3	
47	11.16～11.22	1						3	2			1		2	
48	11.23～11.29					1		1						4	
49	11.30～12.6	1	2					2						2	
50	12.7～12.13	3						2	1					3	
51	12.14～12.20	1						5						3	
52	12.21～12.27	5						1	1					3	
53	12.28～1.3							1						1	
合 計		39	40	1	2	7	14	92	1	2	16	2	1	153	10

表3-1(3) 五類(全数把握)感染症 週別患者報告数

2015年第1週~2015年第53週

週	期 間	五 類																			
		アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症
1	12.29~1.4			1																	
2	1.5~1.11	5	1		4		2	2	6	1		16	3	9							
3	1.12~1.18	2			1			1	10	2	2	14		11	1					1	
4	1.19~1.25	4	2	3			1		5	2		6		15					1		
5	1.26~2.1	7		1	4	1		4	4			4		10							
6	2.2~2.8	5	1	4	1	1		1	10			4		15					1		
7	2.9~2.15	4	1	4	2			2	6			4	2	12					1		
8	2.16~2.22	1	1	1	1				7	1		7	2	16					1		
9	2.23~3.1	7	1	3	1		1	3	8			7	1	15					2		
10	3.2~3.8	2		5	1			1	8			1	7	17							
11	3.9~3.15	2		4			1	1	10			6		10	1				1		
12	3.16~3.22	2	1	2	2			1	3	8		7	1	10					2		
13	3.23~3.29	5		1	1			3	9	1	1	7		21		1			1		
14	3.30~4.5	4	1	4	3		1	2	9			5		16	1				2		
15	4.6~4.12	3		2				3	9			1	9	34						2	
16	4.13~4.19	3	4	4				2	15	2	1	11	1	24					1	1	1
17	4.20~4.26	3	2	6			1		10	1	2	4	2	21					1	1	
18	4.27~5.3	3		4			1	2	2			11	1	20						1	
19	5.4~5.10	1		2				7	7		1	8		17							
20	5.11~5.17	4	2	3	2			1	7	2		10	2	24					1		1
21	5.18~5.24	2	1	6	1			1	11		1	12	2	25							1
22	5.25~5.31	5	3	2	2		1	1	10	1		1	8	19				1		1	1
23	6.1~6.7	6	3	2					10		1	6	3	20	1					1	
24	6.8~6.14	6	2	3		1			6	1	1	5	2	24	2				1		
25	6.15~6.21	5	2	3				1	10			7	2	25					1	1	
26	6.22~6.28	6	1	4	1		1	2	12			5	2	29					2		
27	6.29~7.5	7	1	6			2	1	10	2	2	5	2	20					1		1
28	7.6~7.12	5		5	1		1	1	7	1		2	1	19					1		
29	7.13~7.19	6		11			2		6	1		4		19	1						
30	7.20~7.26	3	1	7	2			1	6			1	4	14	1						
31	7.27~8.2			5				4	7			4	1	21					3		
32	8.3~8.9	4		4			1		10		1	2	2	23							
33	8.10~8.16	5	1	12	2		1	2	7			1		22					1		1
34	8.17~8.23	3	1	12				1	11	1	1	1	1	24							
35	8.24~8.30	3	2	8	1			1	10			2		22							
36	8.31~9.6	3		12				1	7			2		24							
37	9.7~9.13	2	1	10	1		1	1	9		1	1		25				1			
38	9.14~9.20	4	1	5			1		12	1		3	5	33					1		
39	9.21~9.27	3		1	1				4	1	1	4		12					1		
40	9.28~10.4	2		2			1		8		1	8	1	22					1		
41	10.5~10.11	2	2	14	2				12			4	1	22	1				1		
42	10.12~10.18	4		4			1		5			6	2	21					2		
43	10.19~10.25	3	2	2	3			2	11	1	1	2		18							
44	10.26~11.1	5		2	1			1	5			7	1	30							1
45	11.2~11.8	3	2	2	1			3	6		3	9		21	1						
46	11.9~11.15	5	3	5	2			1	10	1	1	12	1	26		1			1		1
47	11.16~11.22	8	1	5			1	3	8			13		16							
48	11.23~11.29	4	1	6				1	8		2	3	3	17							2
49	11.30~12.6	5		6			1		9			3	1	23	1				1	1	
50	12.7~12.13	6	2	4				1	16			9	3	35							
51	12.14~12.20	4	1	5				1	8	1	1	11	1	20							2
52	12.21~12.27	6	1	6	2				9		1	6	1	24							1
53	12.28~1.3	3	1	1	1				5			5	1	12							
合 計		205	53	236	47	3	24	62	435	19	29	8	323	55	1,044	11	2	2	33	10	13

表3-2(1) 一、二、三類感染症 保健所別患者報告数

2015年第1週～2015年第53週

	一 類							二 類						三 類				
	エボラ出血熱	クリミア・コンゴ出血熱	痘そう	南米出血熱	ペスト	マールブルグ病	ラッサ熱	急性灰白髄炎	結核 *	ジフテリア	重症急性呼吸器症候群	中東呼吸器症候群	鳥インフルエンザ (H5N1)	鳥インフルエンザ (H7N9)	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス
千代田															1	4		
中央区															2	2	2	
みなと															5	9	1	
新宿区															8	11	4	7
文京															2		1	1
台東															1	4		
墨田区															1	11	1	
江東区															1	16		
品川区																4		1
目黒区																6		
大田区															1	23		
世田谷															2	27		
渋谷区															3	8		
中野区															4	14		
杉並																23		
池袋															1	6	1	
北区															1	2		
荒川区															1	3	1	
板橋区															3	10		
練馬区															6	11		
足立															1	6		
葛飾区																9		
江戸川														1		21	2	
八王子市																19		
町田市																4		
西多摩																11		
南多摩																9		
多摩立川															3	22		
多摩府中															6	22		
多摩小平																18	1	
島しょ																		
合 計														1	53	335	14	9

\* 結核については、別途「東京都における結核の概況」として報告する。

表3-2(2) 四類感染症 保健所別患者報告数

2015年第1週～2015年第53週

	四 類													
	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	コクシジオイデス症	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ブルセラ症	マラリア	ライム病	類鼻疽	レジオネラ症	レプトスピラ症
千代田	1	1		1			1						2	
中央区							1				1		3	1
みなと		1			1	1	3			3			8	
新宿区	5	5		1	3		34	1	2	6	1	1	6	3
文京	2	4				1	5			2			5	
台東		1					2						3	
墨田区	1	1					9			1			6	2
江東区													2	
品川区	3	3					3						7	
目黒区	4		1		1		2						3	
大田区	7	5			1	1	5						9	1
世田谷						1							6	
渋谷区	4	5					2			1			4	
中野区	2	1					1						1	
杉並	1	1					4			1			1	
池袋													2	
北区	2	1				1							2	1
荒川区													3	
板橋区		3					3			2			22	1
練馬区	1						3						6	
足立	1	1				1							5	
葛飾区		1					2						4	
江戸川													4	
八王子市						1	1						2	
町田市	1	1											1	
西多摩	1					4	2						7	
南多摩	1						2						7	
多摩立川		2											8	
多摩府中	2	3			1	1	6						9	1
多摩小平							1						5	
島しょ						2								
合 計	39	40	1	2	7	14	92	1	2	16	2	1	153	10

表3-2(3) 五類(全数把握)感染症 保健所別患者報告数

2015年第1週~2015年第53週

	五 類																			
	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症
千代田	13	1	7				4				6	2	14					1		
中央区	14		3	2			2	1			2		12	1			1			
みなと	13	3	10		1		5	31	2	1	9		97	2			2	1		
新宿区	18	17	18	3	2	4	7	151	7	1	12	2	431	2			2	2		
文京	15	3	15	2		4	7	26	1		1	22	5	31	1		2			
台東	2		5					2			4		92							
墨田区	8		4	5			1	6			1	16	2	14				1		
江東区	8	5	7				1	1		2	1		4				1			
品川区	4	3	17			2	6	7		2		17	2	10			1		2	
目黒区	5	1	10	5		2		3	1	2		21	2	7	1	1	2			
大田区	5	8	11	3		2	6	11		2		14	1	12	1		1			
世田谷	8		1	10				4		1	1	10	5	14			2			
渋谷区	11	1	14			1		89	2	3	1	8		22				2		
中野区	5		3					16			1	2		12				1		
杉並	5	1	4				1	4		1		9	1	12		1	3			
池袋	3		2	2				5				1		101			1			
北区	2			1			1	5				4	1	2						
荒川区	2		1	6				1				8	2	12			1			
板橋区	10	3	43	1		2	9	6	3	2	1	24	16	20	1		2	1	6	
練馬区	11					1	1	2		5		14	1	12			2			
足立	3		13					2		1		4		4			1		1	
葛飾区	1	1	3				1	7				3	1	13					1	
江戸川	1		1				1	8				3		25			1		2	
八王子市	8		6			1		7				11		7						
町田市	5		3					2				5	1						1	
西多摩	1	1	2				1		1	1		9	1	7			1			
南多摩	5	2	3				2	4	1		1	8		5	1		3			
多摩立川	6	2	10				3	4		2		24		18			1			
多摩府中	9		11	7		4	4	22		3	1	33	10	25	2	1	2			
多摩小平	4	1	9			1	3	5				19		9			1	1		
島しょ																				
合 計	205	53	236	47	3	24	62	435	19	29	8	323	55	1,044	11	2	2	33	10	13

表3-3(1) 一、二、三類感染症 年齢階級別患者報告数

2015年第1週～2015年第53週

	一 類							二 類							三 類				
	エボラ出血熱	クリミア・コンゴ出血熱	痘そう	南米出血熱	ペスト	マールブルグ病	ラッサ熱	急性灰白髄炎	結核*	ジフテリア	重症急性呼吸器症候群	中東呼吸器症候群	鳥インフルエンザ (H5N1)	鳥インフルエンザ (H7N9)	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス
0歳																	2		
1～4歳															1	24	1		
5～9歳															5	23	1		
10～14歳																34			
15～19歳															2	33	2		
20～24歳															5	39			
25～29歳															5	31	6	1	
30～34歳															13	28	2	1	
35～39歳														1	4	15	1	2	
40～44歳															5	18	1	2	
45～49歳															5	15			
50～54歳															4	8		1	
55～59歳															1	12			
60～64歳															1	8		1	
65～69歳															1	14			
70歳以上															1	31			1
合 計														1	53	335	14	9	

\* 結核については、別途「東京都における結核の概況」として報告する。

表3-3(2) 四類感染症 年齢階級別患者報告数

2015年第1週～2015年第53週

	四 類													
	E型 肝炎	A型 肝炎	エキ ノコ ツク ス症	コク シジ オイ デス 症	チク ング ニア 熱	つ つが 虫 病	デ ン グ 熱	日 本 紅 斑 熱	ブル セラ 症	マ ラ リ ア	ライ ム 病	類 鼻 疽	レ ジ オ ネ ラ 症	レ プ ト ス ピ ラ 症
0歳														
1～4歳							1							
5～9歳		1					2							
10～14歳		1				1	3							
15～19歳		1			1		5		1				2	
20～24歳		1					16		2					
25～29歳	3	1		1			15						1	
30～34歳	1	2		1	1	2	4		1				3	1
35～39歳	2	9			1	1	10		1				1	2
40～44歳	4	5			2	1	18		3			1	3	
45～49歳	5	2					7		4				10	1
50～54歳	4	6	1		1	1	1	2	1	1			6	
55～59歳	3	5				1	1			1			17	
60～64歳	5	1				1	3		2				22	1
65～69歳	5	2				3	4		1				20	3
70歳以上	7	3			1	3	2	1					68	2
合 計	39	40	1	2	7	14	92	1	2	16	2	1	153	10

表3-3(3) 五類(全数把握)感染症 年齢階級別患者報告数

2015年第1週~2015年第53週

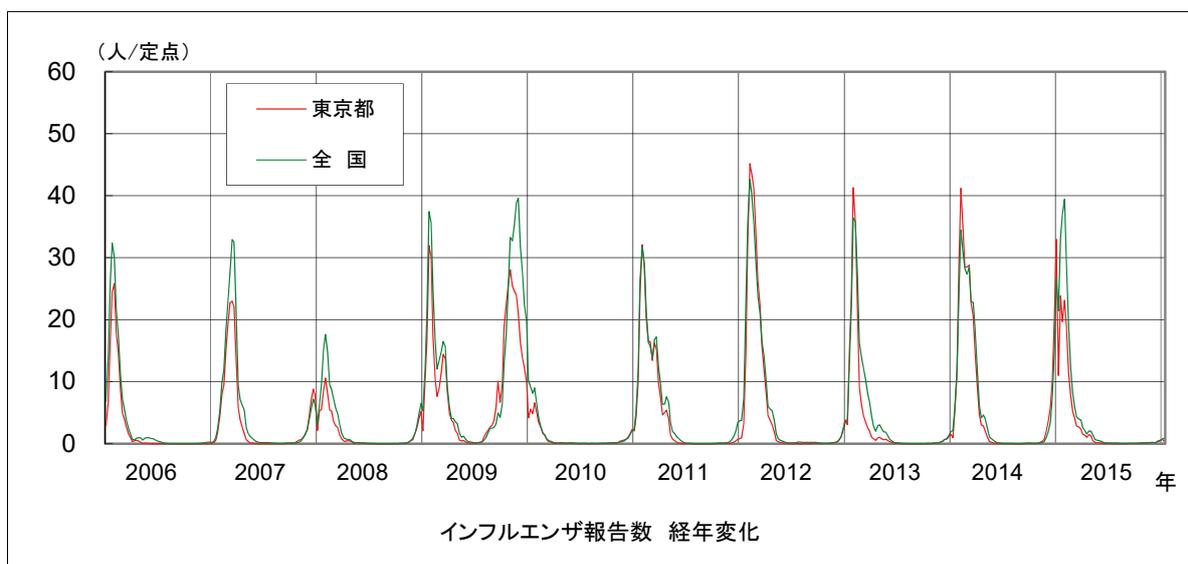
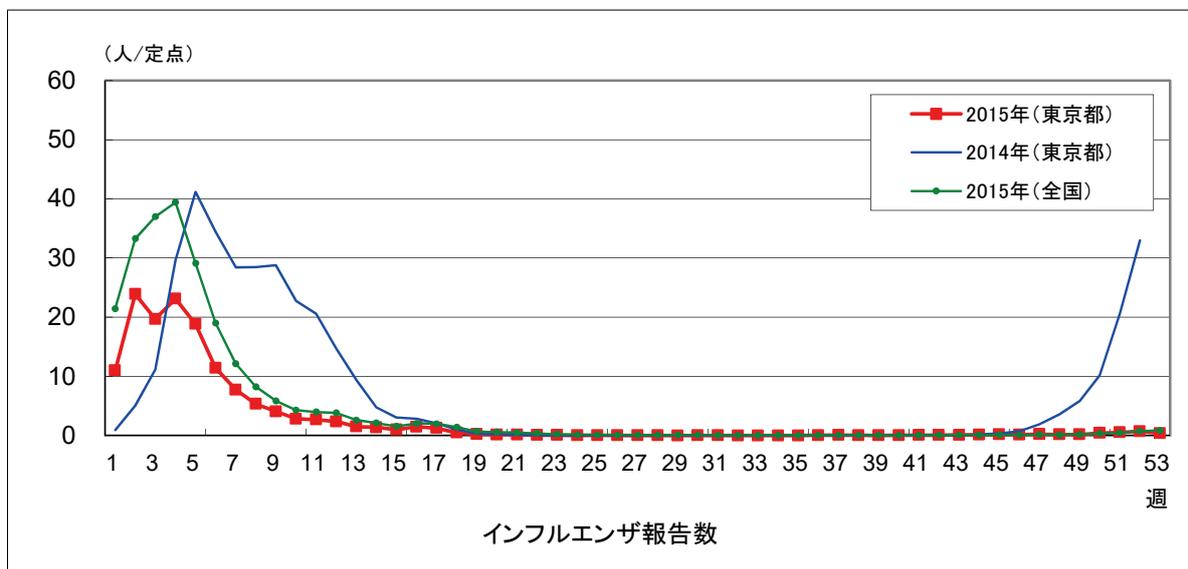
	五 類																			
	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症
0歳			3	3			2			1		7	2	2				2	2	
1~4歳			4	18						2	1	48	7					5		
5~9歳			2	8								3	7					2		
10~14歳			1	6			1					4	4	1				1		
15~19歳			3	1			1	1				1	2	24				2		
20~24歳		6	1	2	1			41					4	163				2		
25~29歳	9	10	2				1	101	1	4	1	3	3	177				4		
30~34歳	10	6	3	1	2			76	4			5	1	162	1			6	1	
35~39歳	23	11	4				1	66	3	1		9	8	150				3	3	
40~44歳	24	4	3				7	61	4	1	2	17	5	144	3			4	2	
45~49歳	27	6	6	1			6	41		1	1	15	3	87		1		1	1	
50~54歳	30	3	3	1		1	5	17	1			10	2	61					1	
55~59歳	25	3	11			3	4	15	4		2	12	4	34						1
60~64歳	26	2	18			1	3	10	1	1	1	26		16						
65~69歳	13	1	25	1		5	12	5		3		30		8			1			
70歳以上	18	1	147	5		14	19	1	1	15		133	3	15	7	1	1	1		12
合 計	205	53	236	47	3	24	62	435	19	29	8	323	55	1,044	11	2	2	33	10	13

## (2) 小児科・内科疾患

### ア インフルエンザ

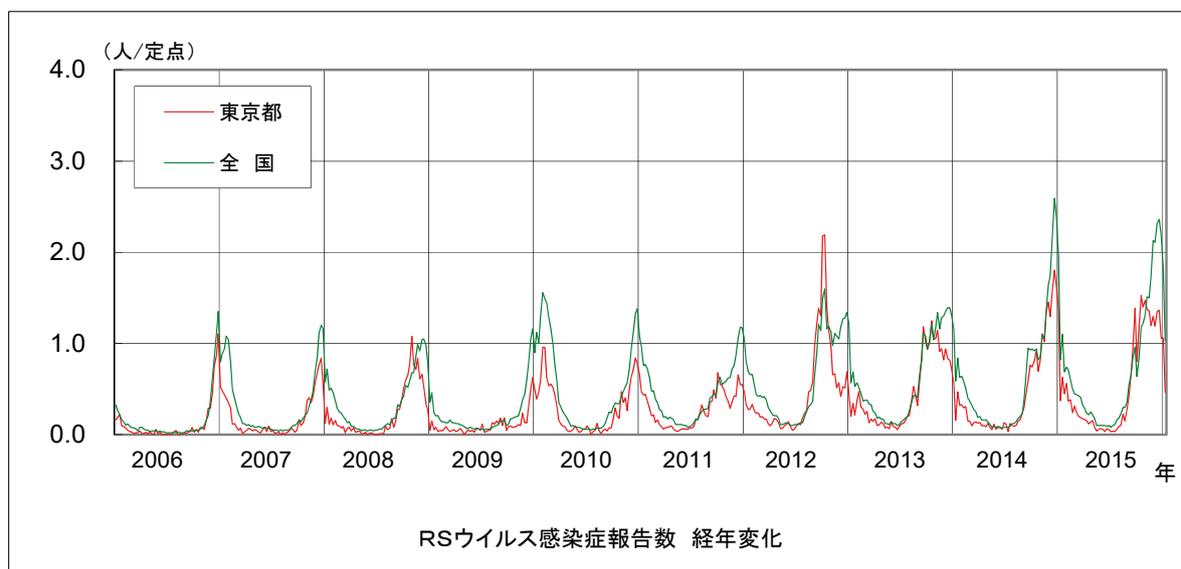
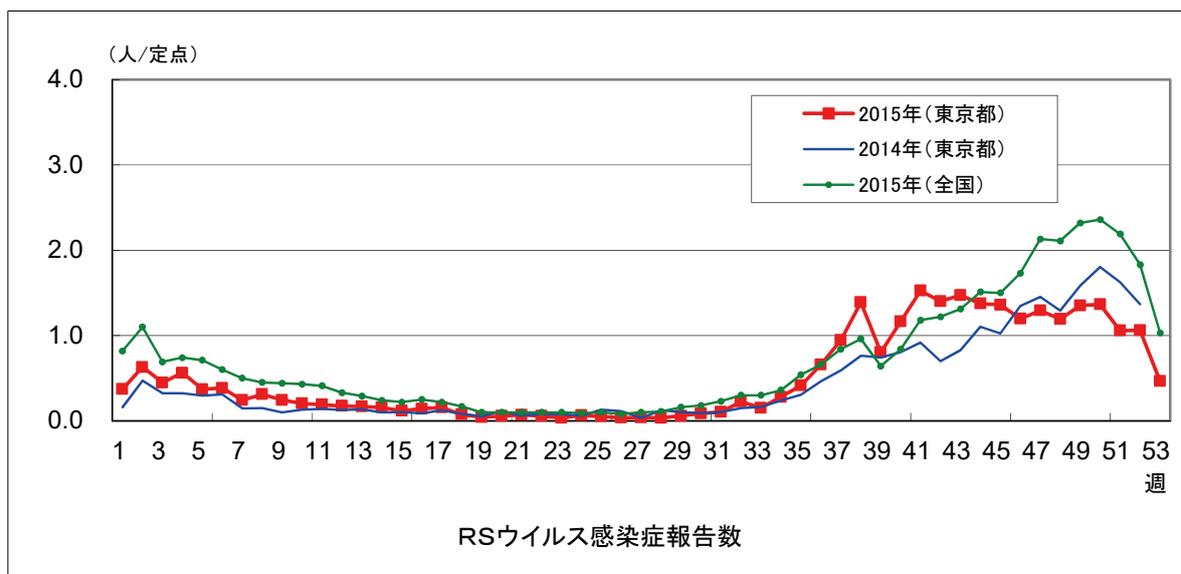
2015年の報告数は59,435件、定点当たり145.11件であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は220.30件であり、例年に比べて報告数は少なかった。2014/15シーズンの流行は2014年47週(11.17～11.23)に報告数が1.92件と1.00件を超え流行が始まり、50週(12.8～12.14)には10.15件と10.00件をこえ、52週(12.22～12.28)には32.96件と30.00件を超えてピークとなった。その後漸減して2015年7週(2.9～2.15)に7.74件と10.00件を下まわり、18週(4.27～5.3)には0.50件と1.00件を割り、流行は終息した。

2015/16シーズンの流行は2015年の最終週である53週(12.28～1.3)になっても0.43件の報告数であり、流行開始の目安である1.00件に達していない。2015年の報告数が少ない原因の一つは2015/16シーズンの流行開始が遅れて2016年にずれ込んでいることによるものである。2015年1年間の保健所別定点当たりの報告数では、最多は町田市の221.59件で、最小は目黒区の79.09件であった。



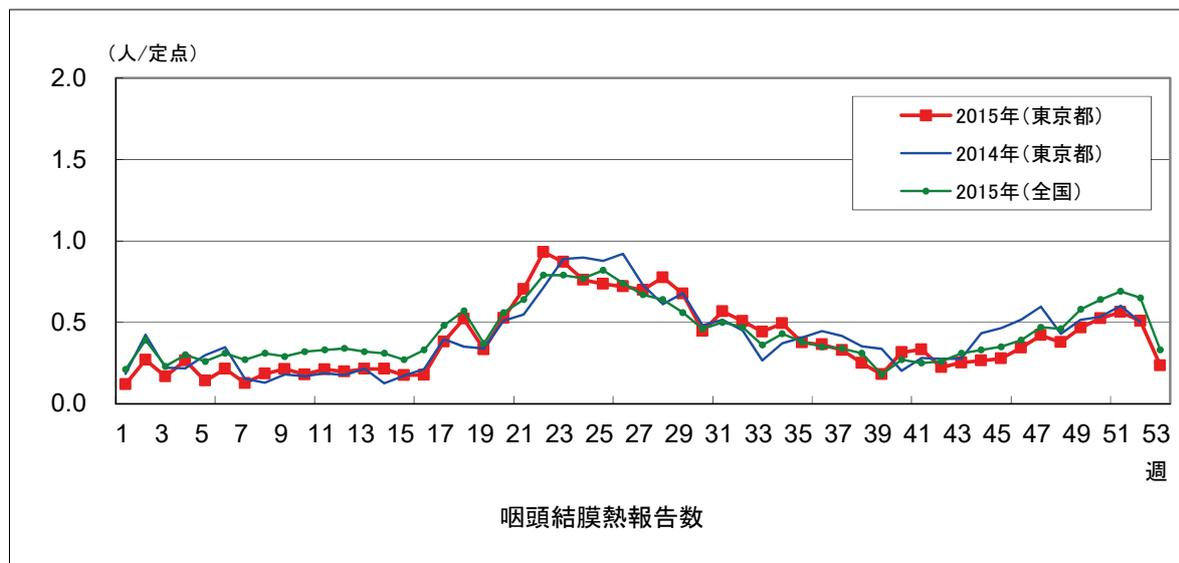
## イ RSウイルス感染症

2015年の報告数は7,197件、定点当たりの報告数は27.82件であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は16.07件であり、2015年はここ10年で最大の報告数であった。週別定点当たりの報告数では38週(9.14~9.20)から52週(12.21~12.27)にかけて1.00件を超える山があり、ピークは41週(10.5~10.11)の1.52件であった。保健所別定点当たりの報告数では、最多は荒川区の98.67件であった。年齢階級別患者報告数では、6か月未満が960件(13.3%)、12か月未満が1,643件(22.8%)、1歳代が2,825件(39.3%)、2歳代が1,111件(15.4%)と2歳代以下で90.9%を占めている。



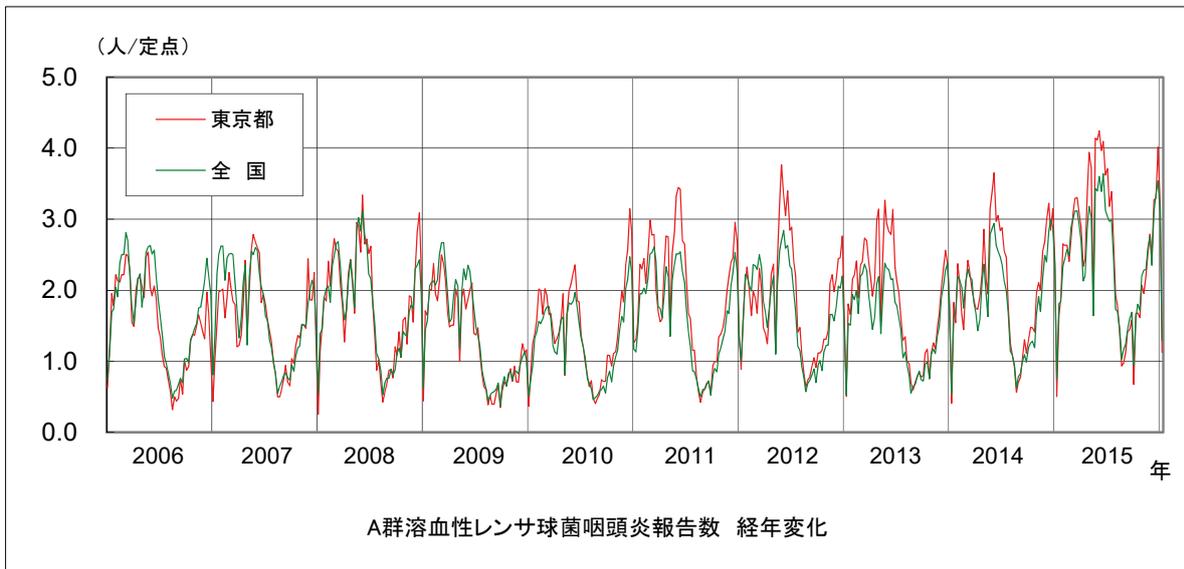
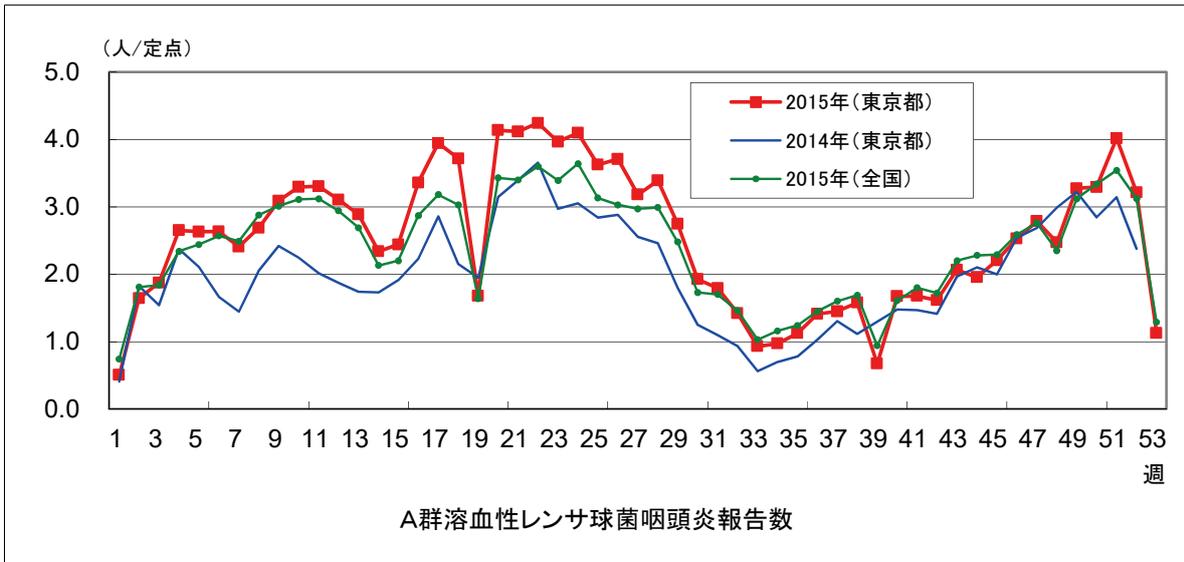
## ウ 咽頭結膜熱

2015年の報告数は5,385件定点当たりの報告数は20.77件であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は19.53件であり、2015年は例年並みの報告数であった。週別定点当たりの報告数では18週(4.27~5.3)から32週(8.3~8.9)にかけてと50週(12.7~12.13)から52週(12.21~12.27)にかけて0.50件を超える山があり、ピークは22週(5.25~5.31)の0.93件であった。保健所別定点当たりの報告数では、大田区が54.28件、みなとが51.74件と多かった。年齢階級別患者報告数では1歳代が1,249件(23.2%)と最も多く、5歳代以下で80.6%を占めている。



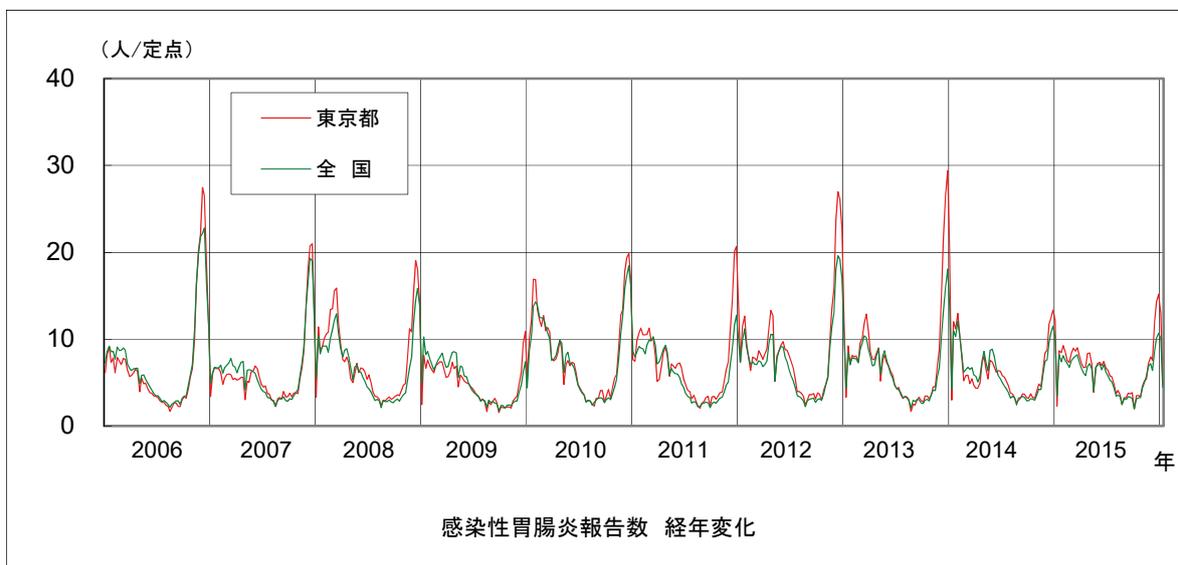
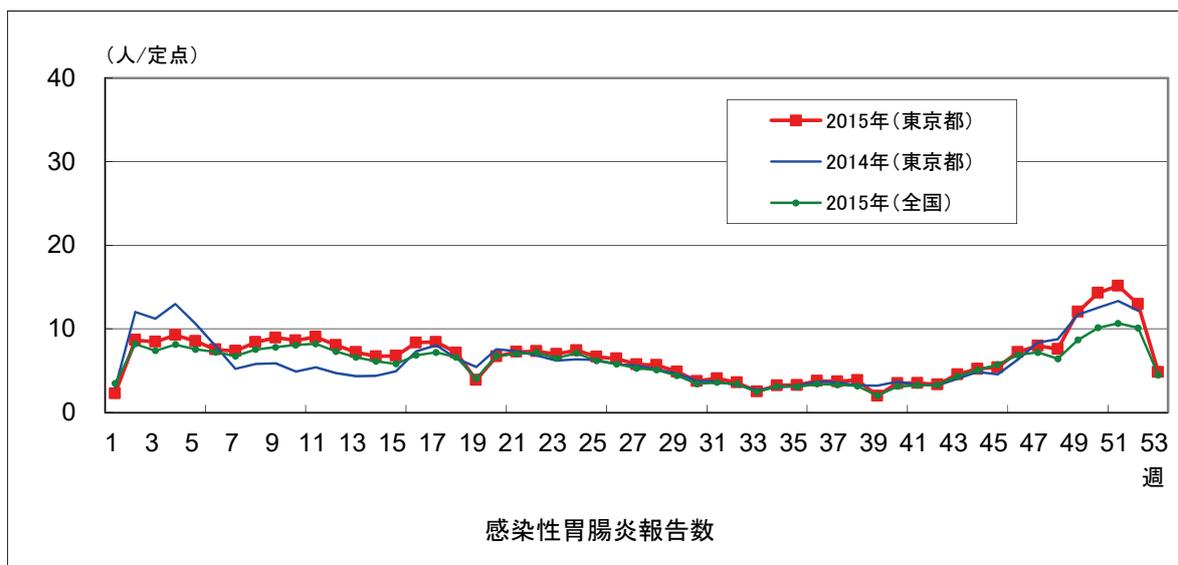
**エ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**

2015年の報告数は35,039件、定点当たりの報告数は134.57件であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は92.78件であり、2015年の報告数はここ10年で最多であった。週別定点当たりの報告数では17週(4.20~4.26)から26週(6.22~6.28)にかけてと51週(12.14~12.20)に3.5件を超える山がみられる。ピークは22週(5.25~5.31)の4.24件であった。保健所別定点当たりの報告数では、町田市が276.88件、多摩小平が271.70件と多かった。年齢階級別患者報告数では5歳代が4,822件(13.8%)と最も多く、4歳代から7歳代で50.9%を占めている。



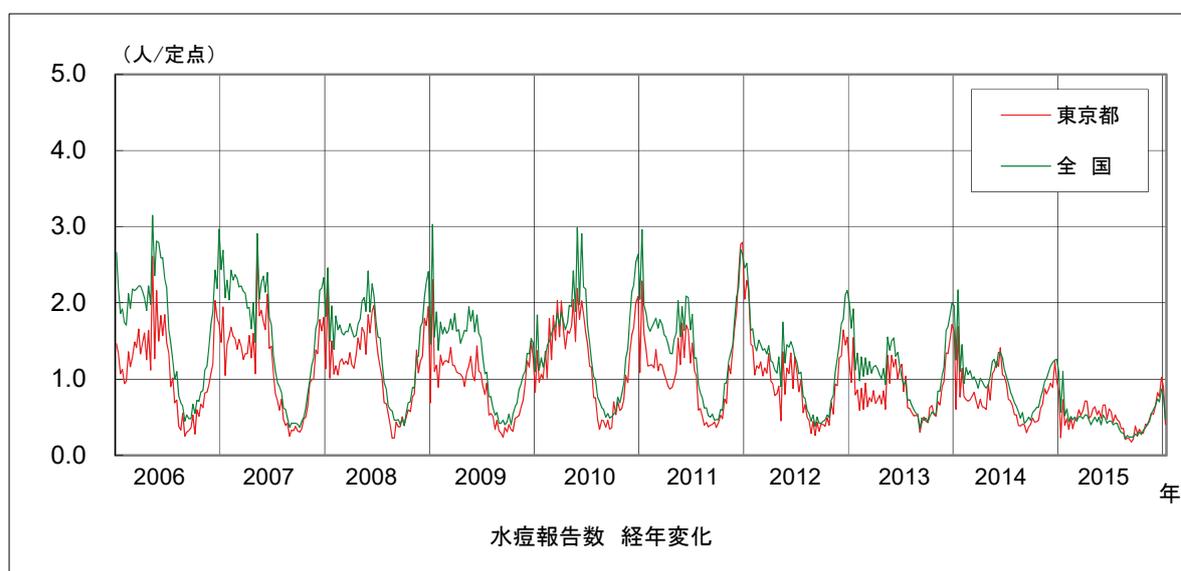
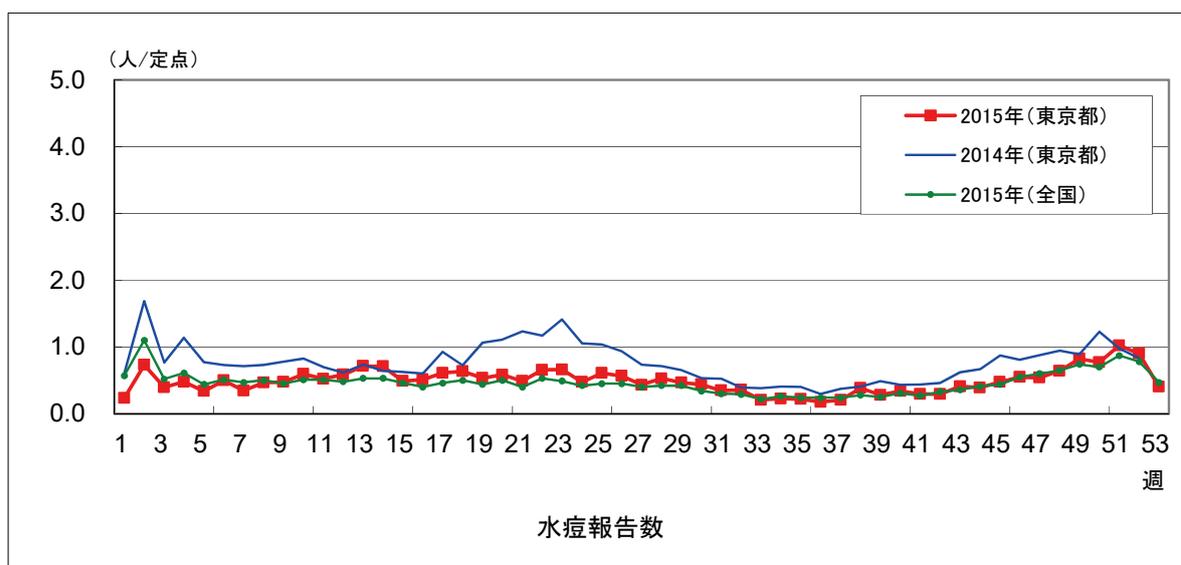
## オ 感染性胃腸炎

2015年の報告数は91,052件、定点当たりの報告数は350.13件であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は365.37件であり、2015年は平年並みの報告数であった。週別定点当たりの報告では49週(11.30～12.6)から52週(12.21～12.27)にかけて10.00件を超える大きな山があり、ピークは51週(12.14～12.20)の15.16件であった。保健所別定点当たりの報告数では、江東区が651.79件、八王子市が598.44件と多かった。年齢階級別患者報告数では1歳代が12,755件(14.0%)と最も多い。



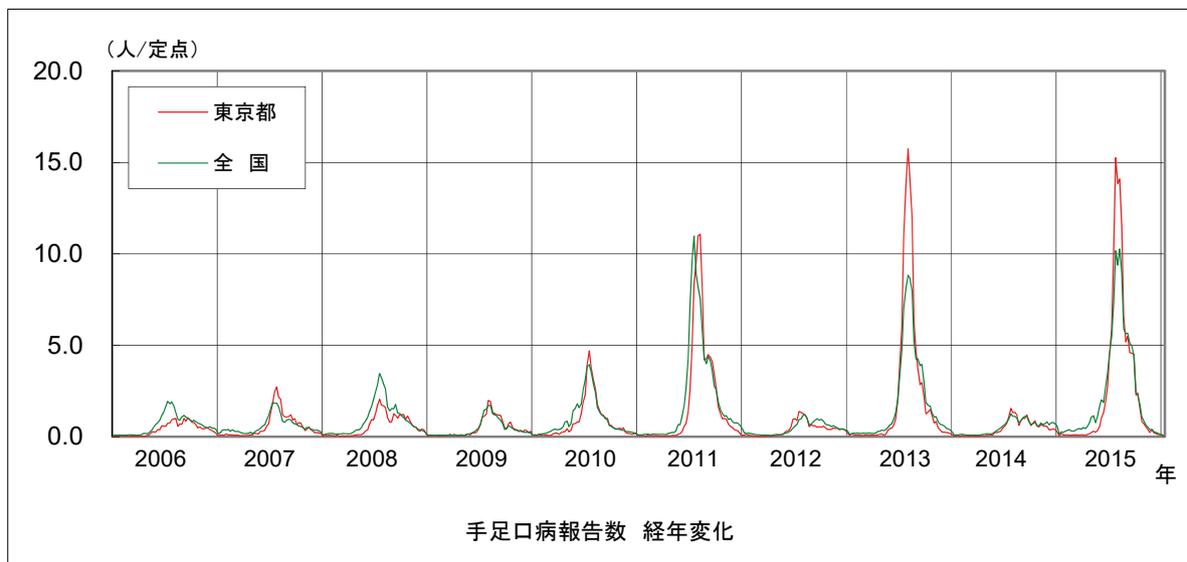
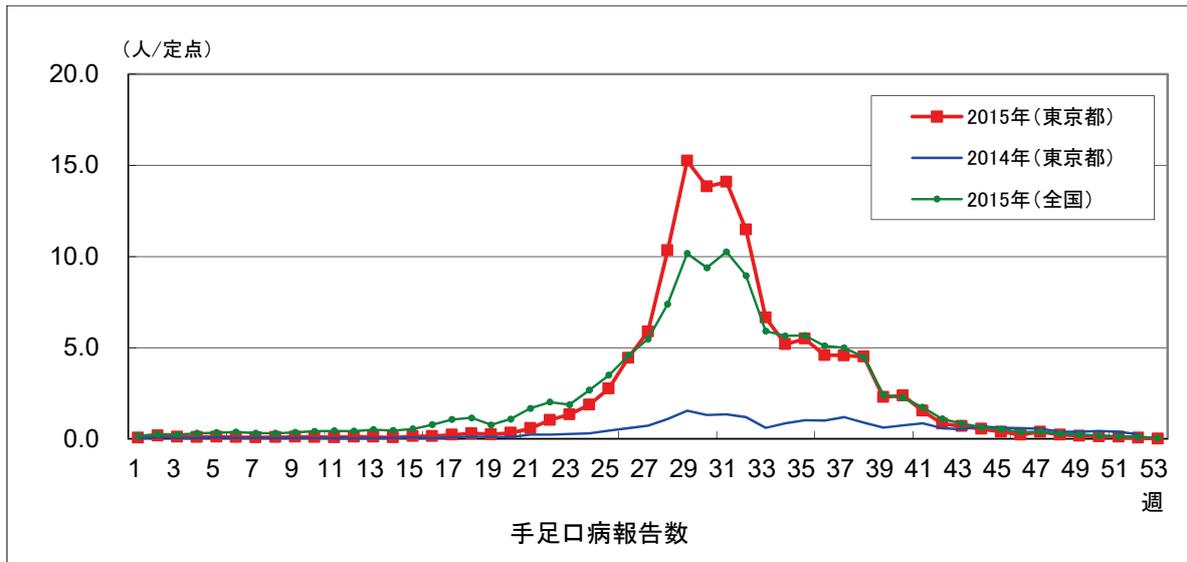
## カ 水痘

2015年の報告数は6,765件、定点当たりの報告数は26.04件であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は50.99件であり、2015年はここ10年で最も少ない報告数であった。週別定点当たりの報告数は51週(12.14~12.20)で1.02件と最多となったが明らかな季節変動はみられなかった。保健所別定点当たりの報告数では、文京が53.83件、八王子市が51.61件と多かった。年齢階級別患者報告数では4歳代が1,060件(15.7%)と最も多く1歳代から5歳代で55.4%を占めている。



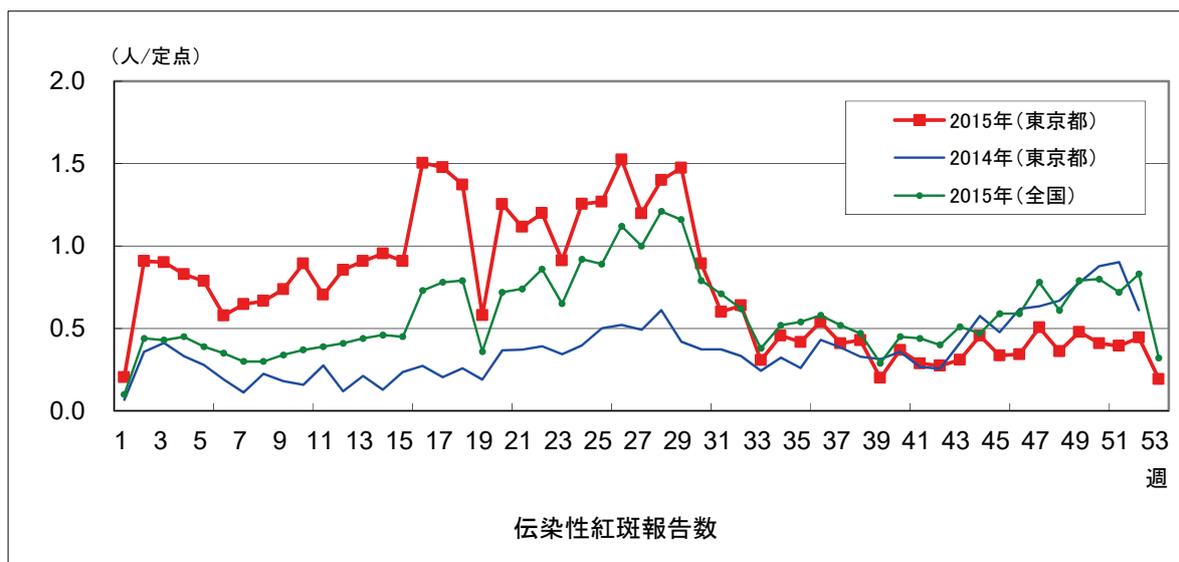
## キ 手足口病

2015年の報告数は32,599件、定点当たりの報告数は126.39件であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は52.78件であり、2015年はここ10年で最多の報告数であった。週別定点当たりの報告数は27週(6.29~7.5)から35週(8.24~8.30)にかけて5.00件を超える大きな山があり、ピークは29週(7.13~7.19)の15.24件であった。保健所別定点当たりの報告数では、中央区が219.17件、江東区が217.51件、八王子市が203.01件と多かった。年齢階級別患者報告数では1歳代が10,477件(32.1%)と最多であった。



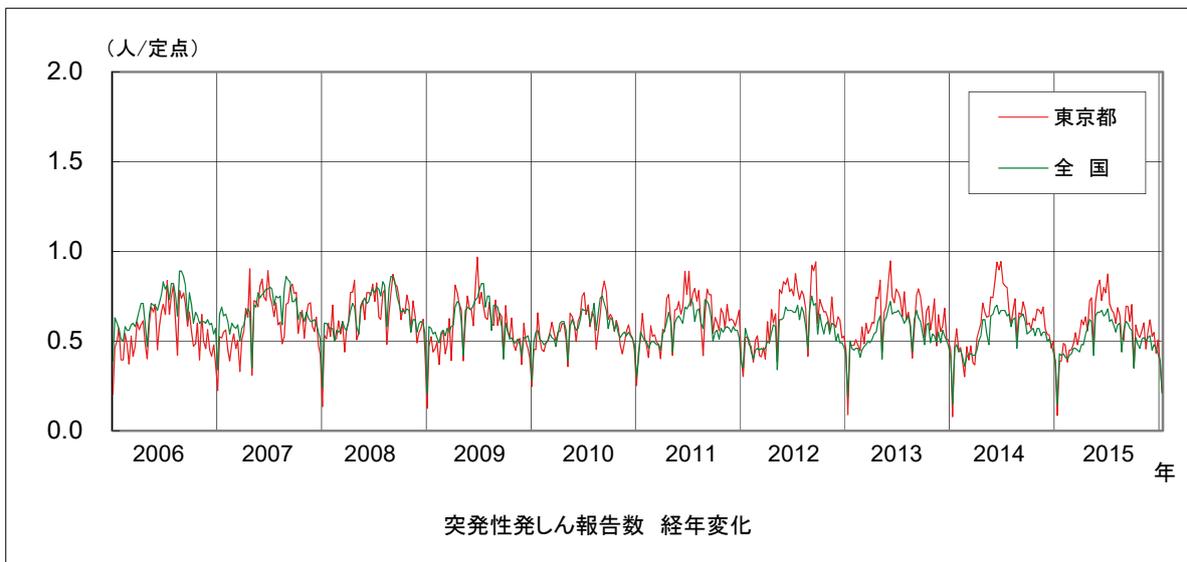
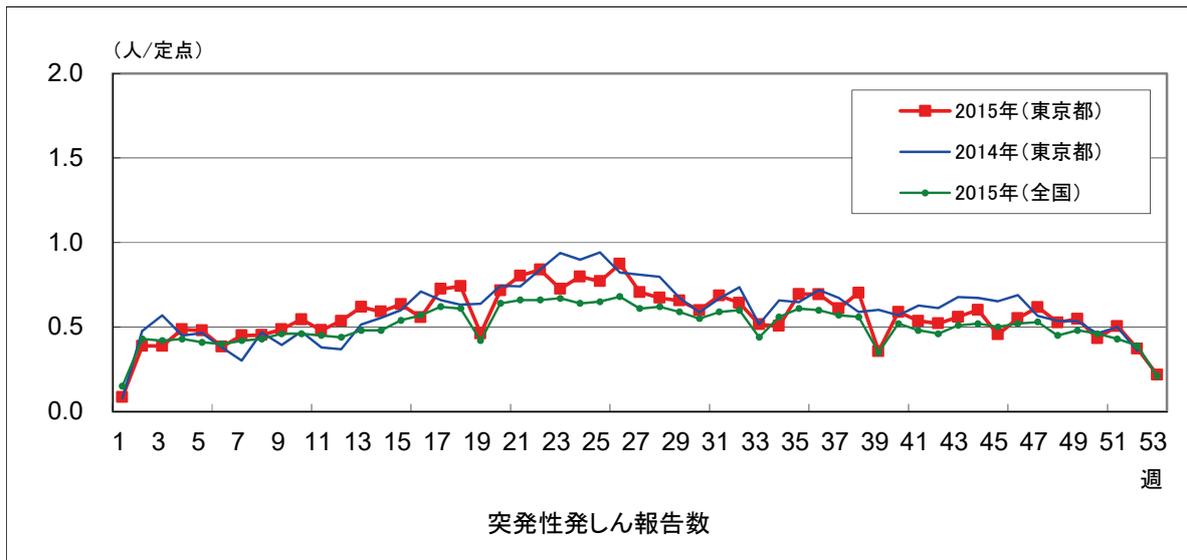
## ク 伝染性紅斑

2015年の報告数は10,174件、定点当たりの報告数は39.08件であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は17.50件であり、2015年はここ10年で最も多い報告数であった。週別定点当たりの報告数では16週(4.13~4.19)から29週(7.13~7.19)にかけておおむね1.00件を超える山があり、ピークは26週(6.22~6.28)の1.52件であった。保健所別定点当たりの報告数では、荒川区が86.58件、南多摩が74.06件と多かった。年齢階級別患者報告数では5歳代が1,721件(16.9%)で最も多く、3歳代から6歳代で59.0%を占めている。



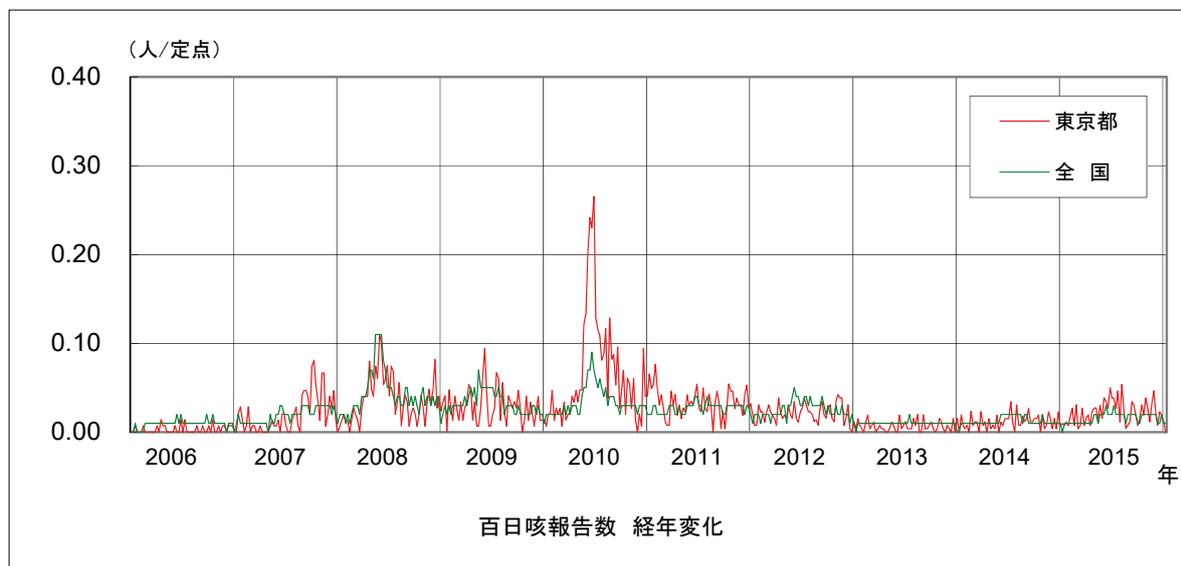
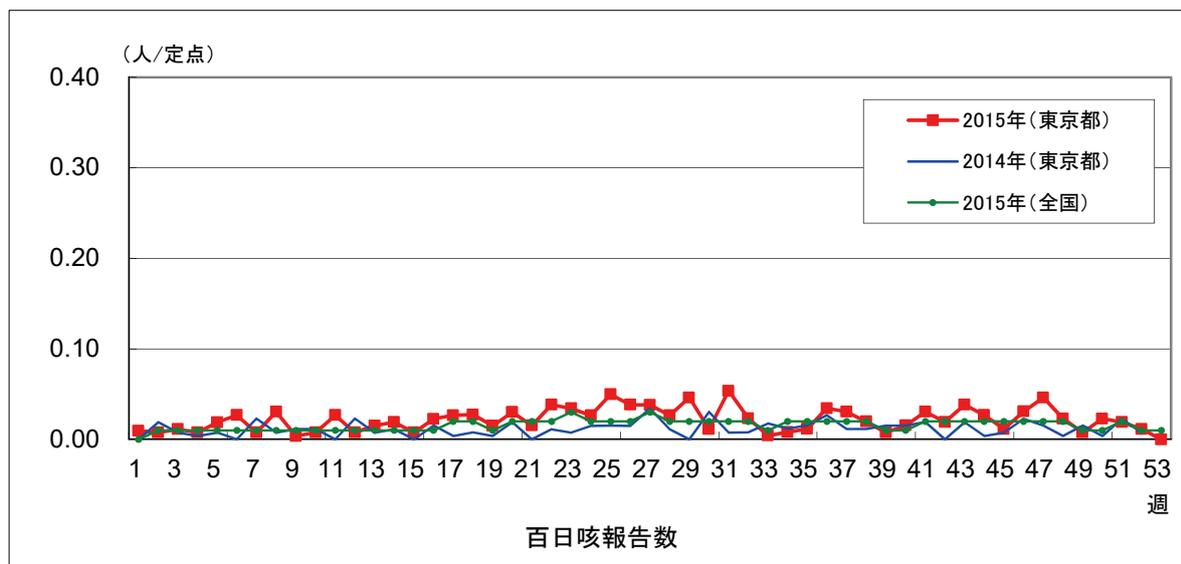
## ケ 突発性発しん

2015年の報告数は7,816件、定点当たりの報告数は30.10件であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は31.30件であり、2015年は平年並みの報告数であった。週別定点当たりの報告数は17週(4.20~4.26)から27週(6.29~7.5)にかけて報告数が0.70件を超える緩やかな山がみられ、ピークは26週(6.22~6.28)の0.87件であるが例年と同様季節変動は少ない。保健所別定点当たりの報告数では、荒川区が53.33件で最多、島しょが3.00件と最小であった。年齢階級別患者報告数では1歳代が3,983件(51.0%)、6か月~1歳未満が2,540件(32.5%)と両方で83.5%を占めている。



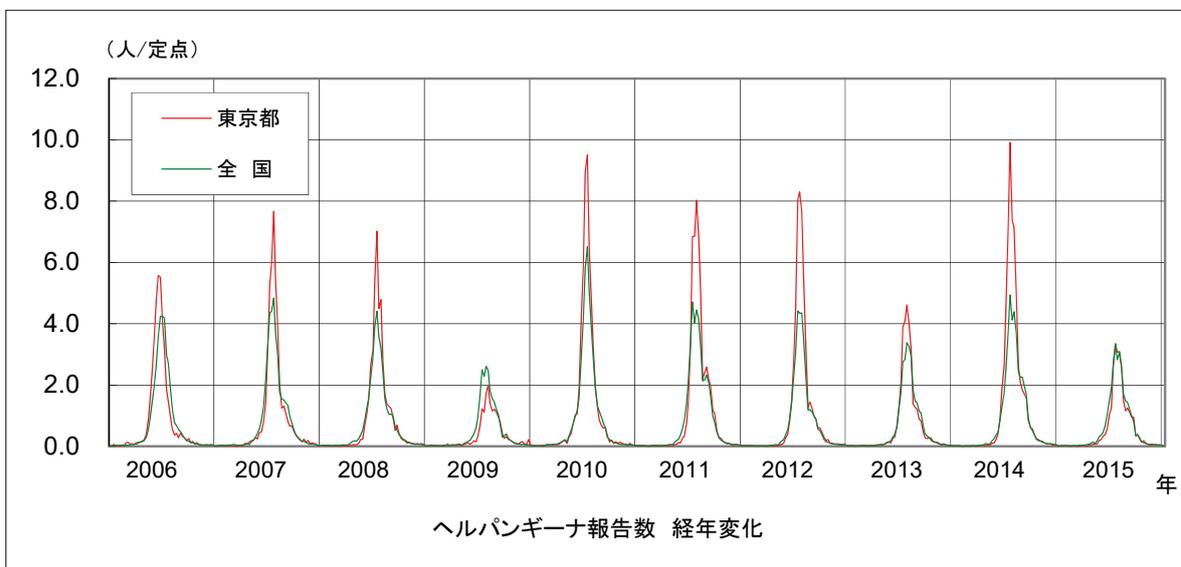
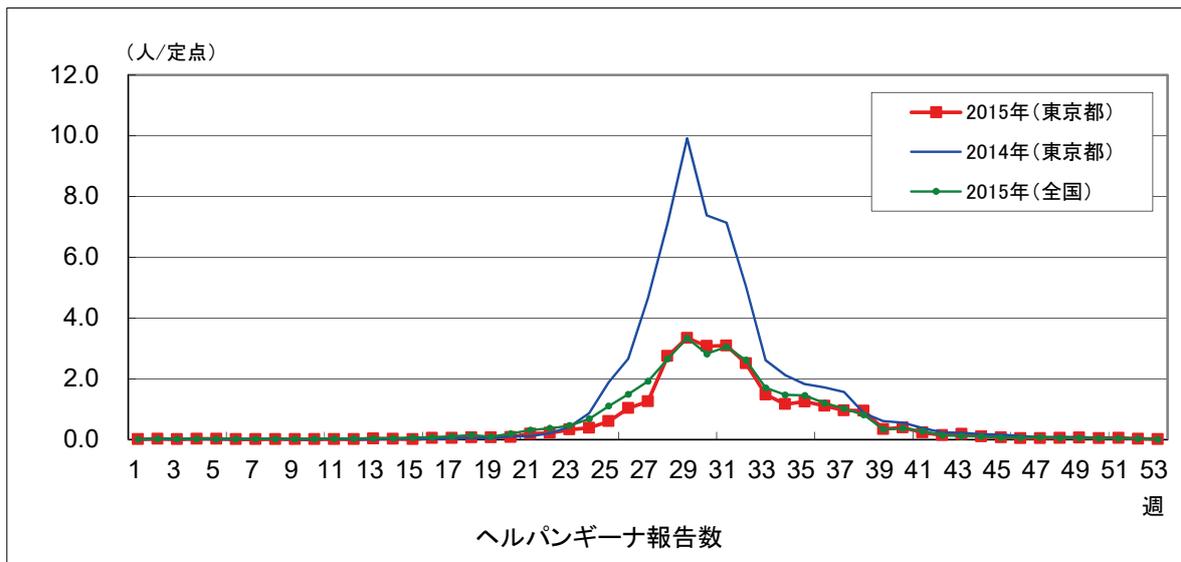
## コ 百日咳

2015年の報告数は300件、定点当たりの報告数は1.15件であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は1.30件であり、2015年は平年並みの報告数であった。週別定点当たりの報告では季節変動は明らかではない。保健所別定点当たりの報告数では、八王子市が6.17件、荒川区が5.5.0件と多かった。年齢階級別患者報告数では9歳以下が140件、10～19歳が64件、20～29歳が94件報告されている。



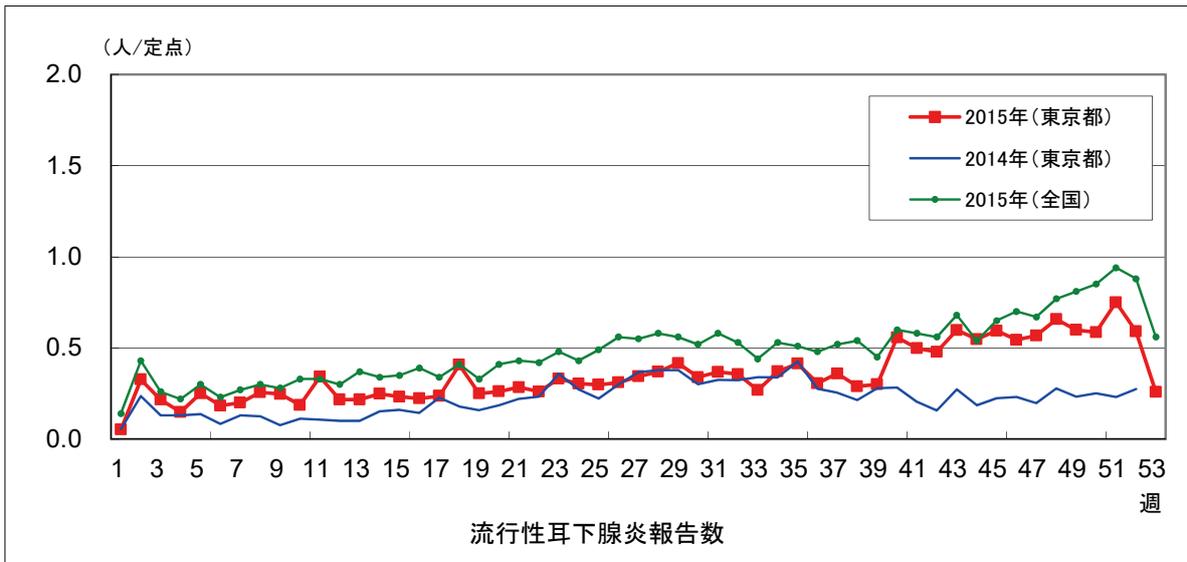
### サ ヘルパンギーナ

2015年の報告数は7,200件、定点当たりの報告数は27.91件であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は43.69件であり、2015年の報告数はここ10年では2009年に次いで少ない報告数であった。週別定点当たりの報告数では26週(6.22~6.28)から36週(8.31~9.6)にかけて1.00件を超える大きな山がみられ、ピークは29週(7.13~7.19)の3.34件であった。保健所別定点当たりの報告数では、中央区が43.83件、荒川区が43.58件、町田市が40.93件と多かった。年齢階級別患者報告数では1歳代が2,106件と最も多く5歳代以下で88.1%を占めている。



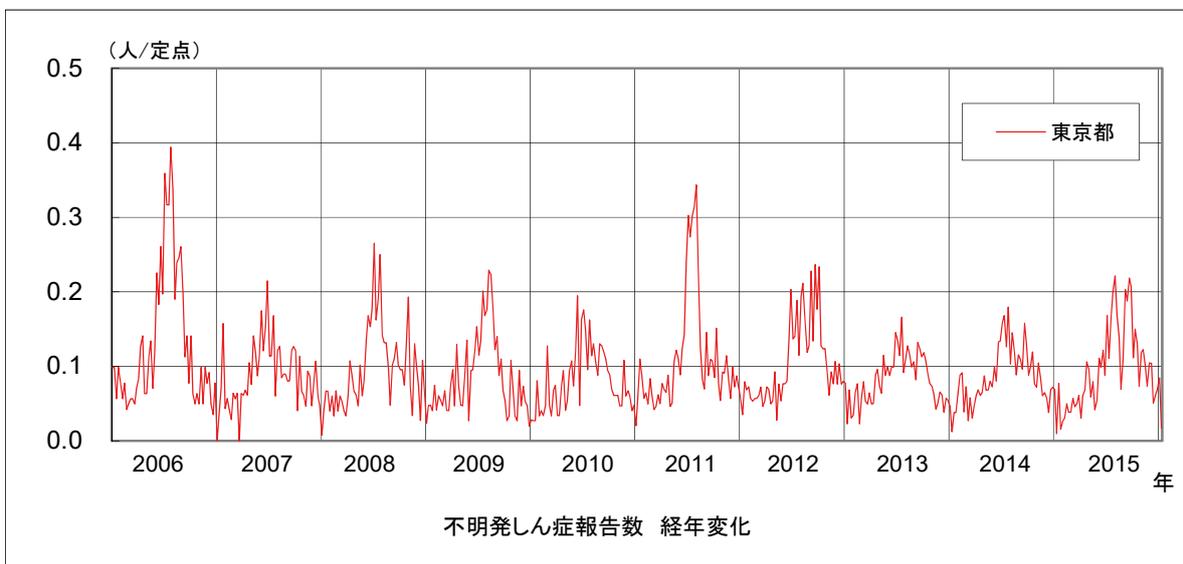
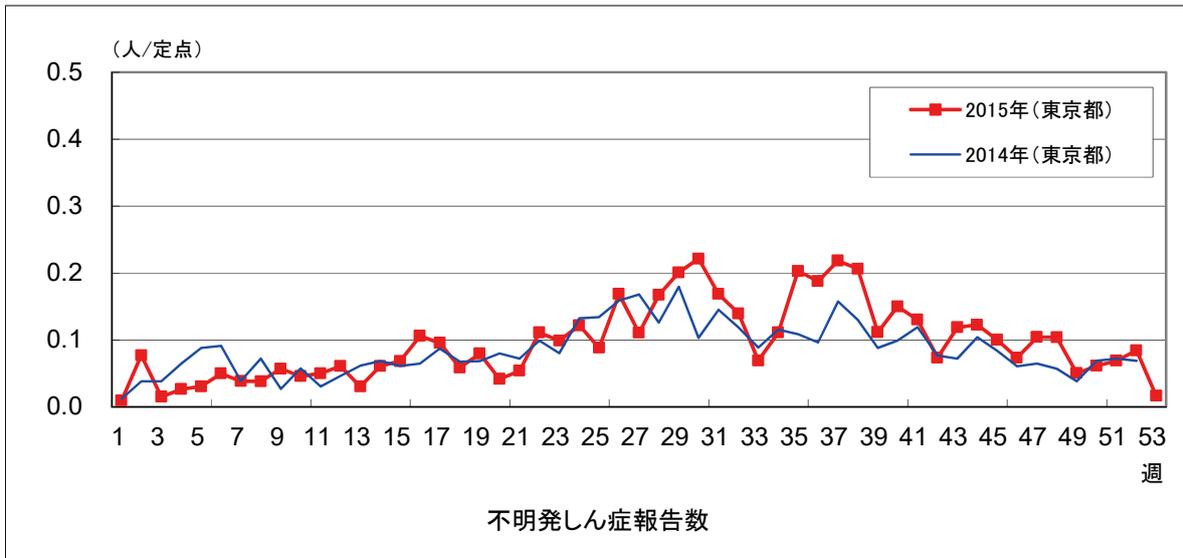
## シ 流行性耳下腺炎

2015年の報告数は4,883件、定点当たりの報告数は18.33件であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は20.89件で、2015年は平年並みの報告数であった。週別定点当たりの報告数は40週(9.28~10.4)から52週(12.21~12.27)にかけて0.50件を上回る山がみられ、ピークは51週(12.14~12.20)の0.75件であった。保健所別定点当たりの報告数では、江戸川区が50.22件、西多摩が44.75件と多かった。年齢階級別患者報告数では5歳代が769件(15.7%)と最も多く、6歳代以下で59.6%を占めている。



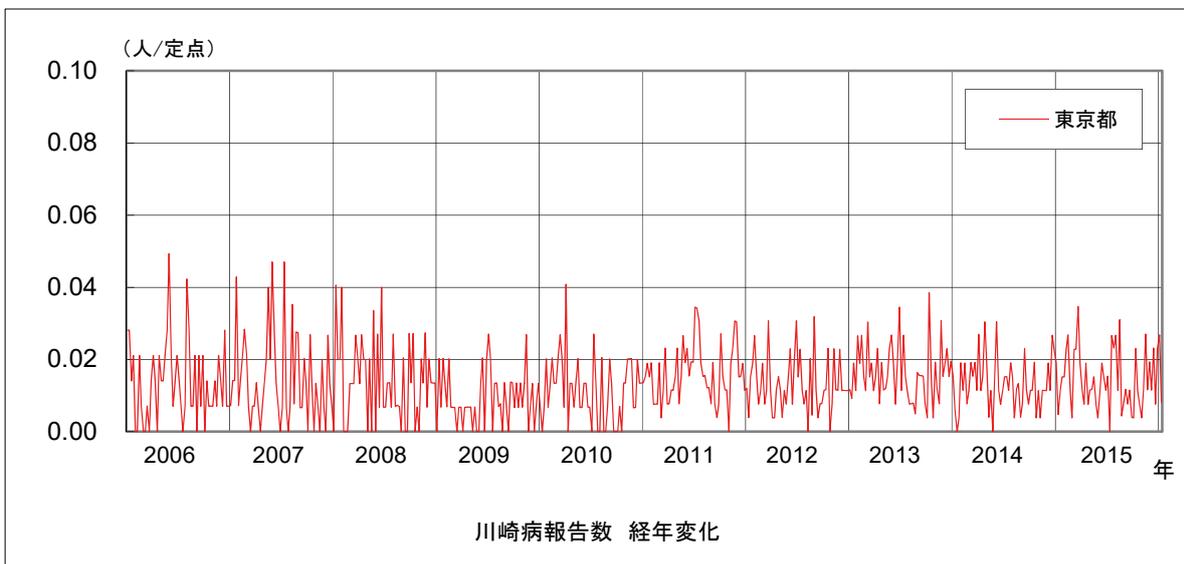
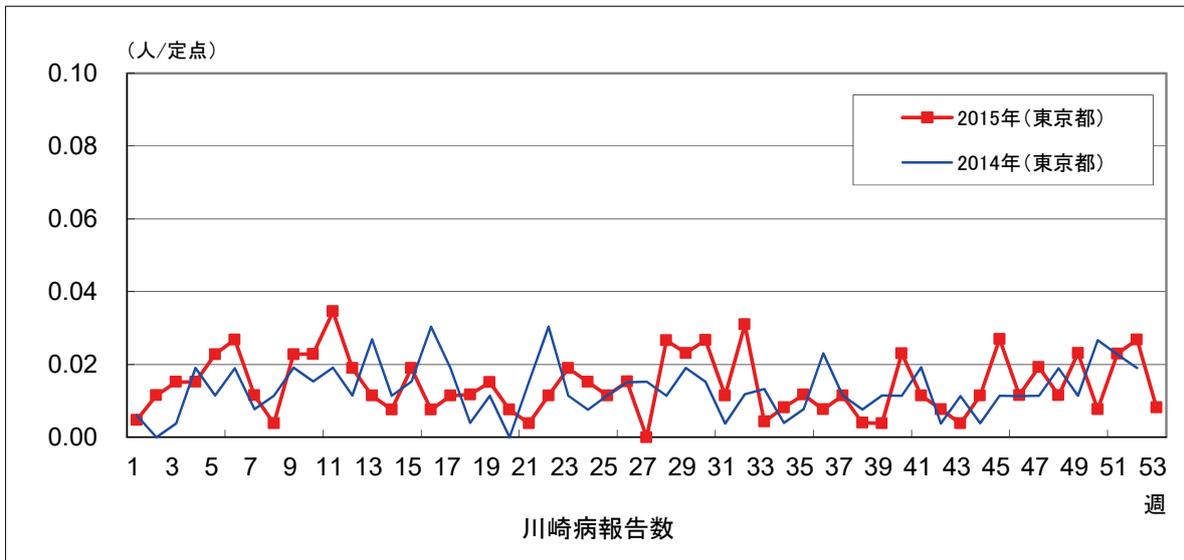
## ス 不明発しん症

2015年の報告数は1,312件、定点当たりの報告数は5.06件であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は4.99件であり、2015年は平年並みの報告数であった。週別定点当たりの報告数は26週(6.22～6.28)から38週(9.14～9.20)にかけて0.17件を超える二峰性の山がみられピークは30週(7.20～7.26)と37週(9.7～9.13)の0.22件であった。保健所別定点当たりの報告数では、町田市が22.98件と最多であった。年齢階級別患者報告数では1歳代が422件(32.2%)と最も多く、4歳代以下で79.3%を占めている。



## セ 川崎病

2015年の報告数は199件、定点当たりの報告数は0.77件であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は0.71件であり、例年と比べやや多い報告数であった。週別定点当たりの報告数は例数が少なく季節変動は不明である。保健所別定点当たりの報告数では、新宿区が3.13件、千代田が3.00件と多かった。年齢階級別患者報告数では1歳代が67件(33.7%)と最も多く、4歳代以下で88.4%を占めている。



### (3) 眼科疾患

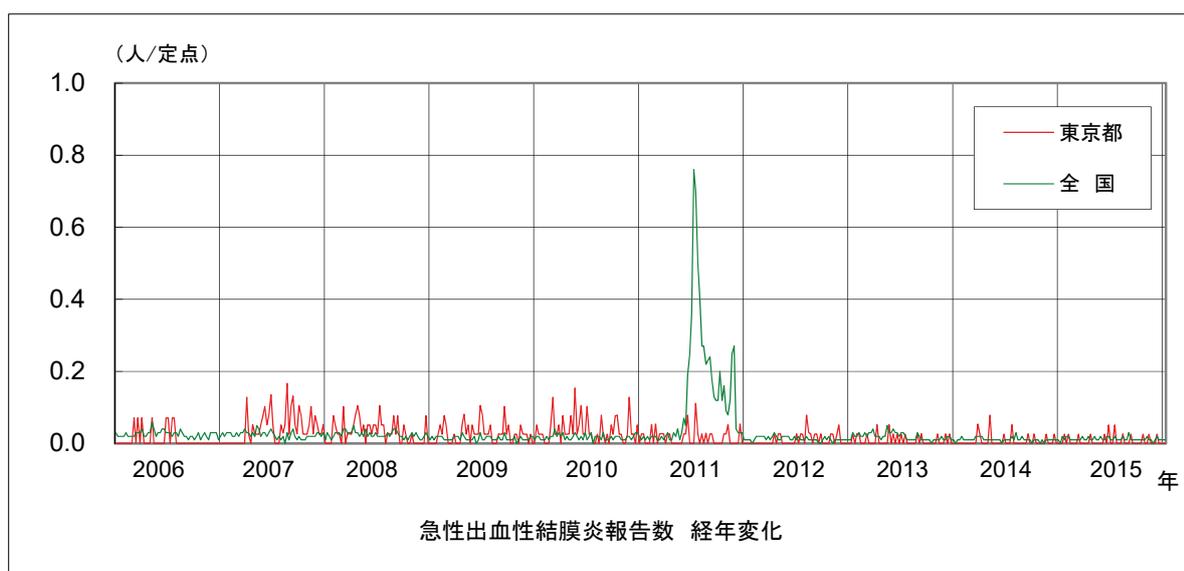
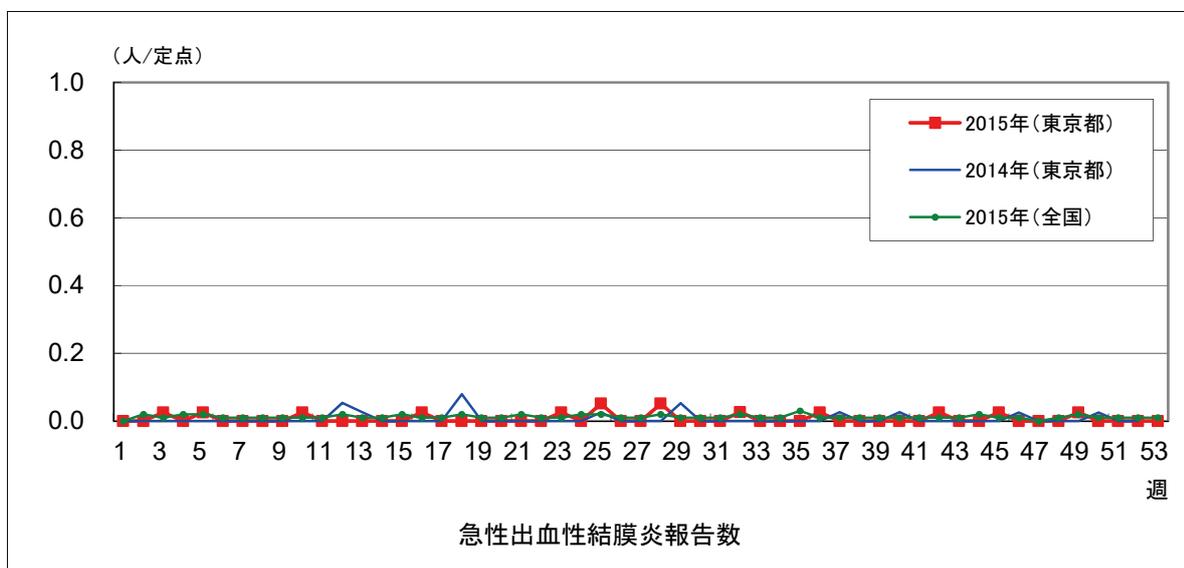
#### ア 急性出血性結膜炎

2015年の報告数は14人、定点当たり0.36人であった。眼科定点数が増加した2007年以降では最少だった2014年(0.34人)とほぼ同等の少ない報告だった。

患者発生数の推移には1年を通じてあまり特徴がなく、25週(6月15日～21日)と28週(7月6日～12日)に2人発生した以外は各週1人以下で、年間41週は発生がみられなかった。全国的にも低いレベルで分散した発生が続いており、東京も同様であった。

二次医療圏別では、眼科定点のある12医療圏のうち、報告のあったのは6医療圏で、区西北部圏、区西南部圏、区東北部圏、北多摩西部圏が多かった。

報告年齢は分散していたが、20歳以上の成人が10人と全体の71.4%を占めた。幼児では3歳児、7歳児に各1人(7.1%)みられた。



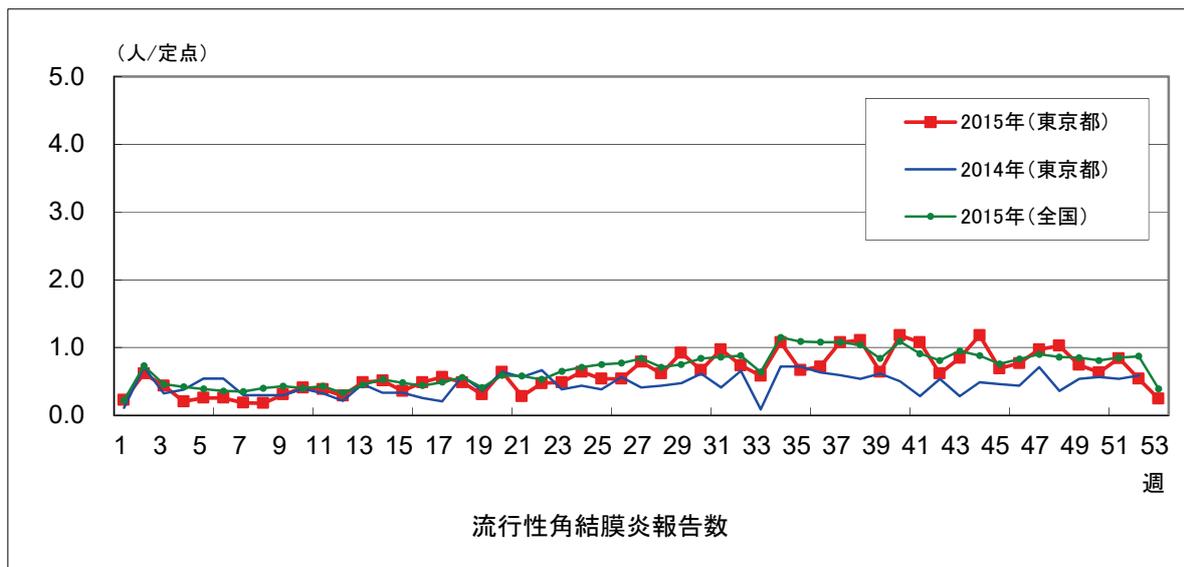
## イ 流行性角結膜炎

2015年の報告数は1,256人、定点当たり32.49人であった。眼科定点数が増加した2007年以降では2007年と2012年が多かったが、2015年は2007年や2012年と同じ位多い報告数だった。

患者発生数の推移は1～2月には少なく、8～11月には週別定点当たり報告数が1.00人を超えている週が多くみられた。全国と比較するとほぼ同等の水準であった。

二次医療圏別では、定点当たり報告数では、区中央部圏86.00人、北多摩北部圏67.50人、区東北部圏55.67人で多かった。

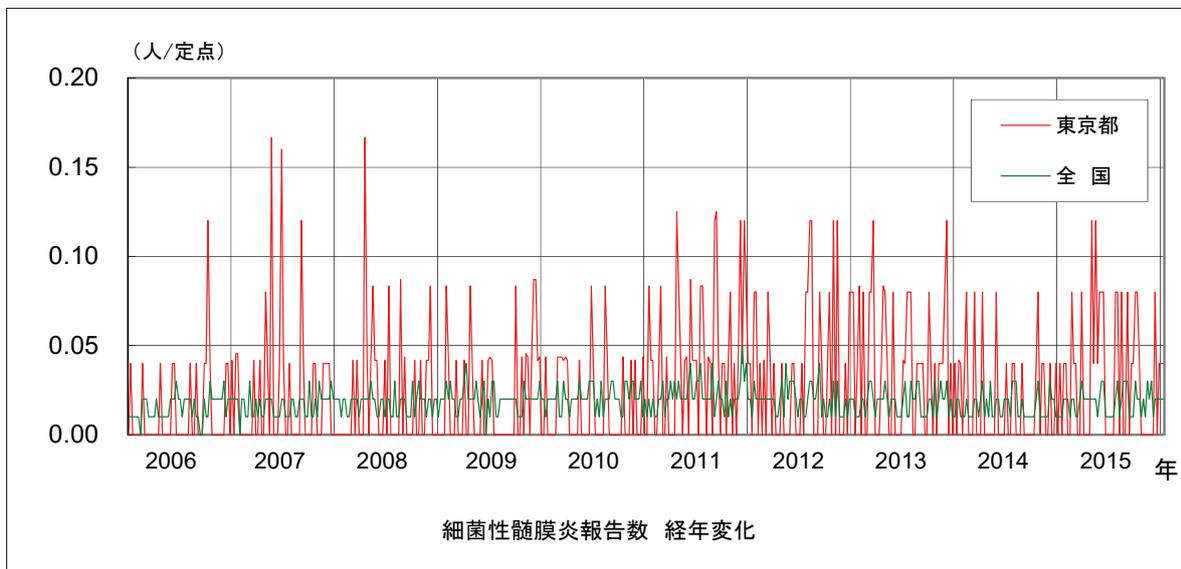
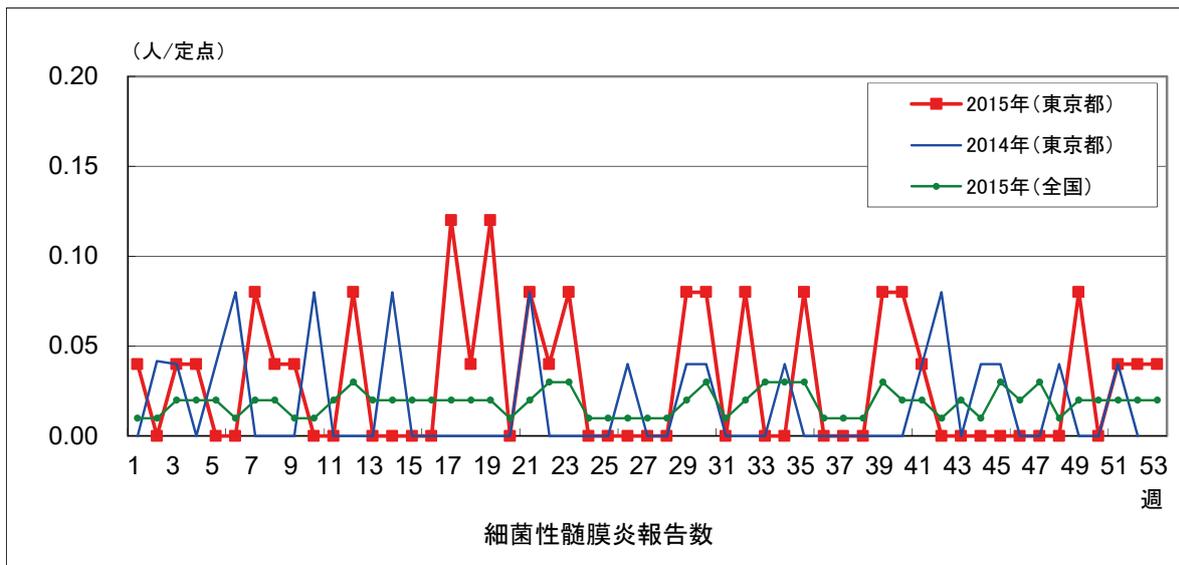
報告年齢は20歳から49歳が677人と53.9%を占め、20歳以上の成人が923人(73.5%)であった。10歳未満は264人(21.0%)で、各年齢層に分散してみられた。



(4) 基幹定点医療機関における週報告疾患

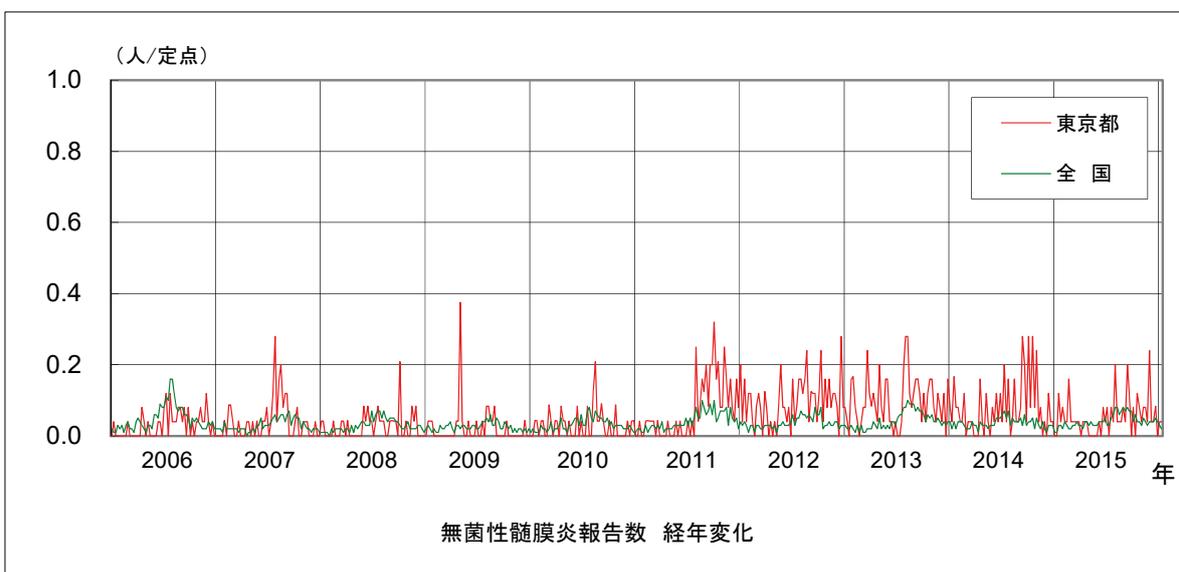
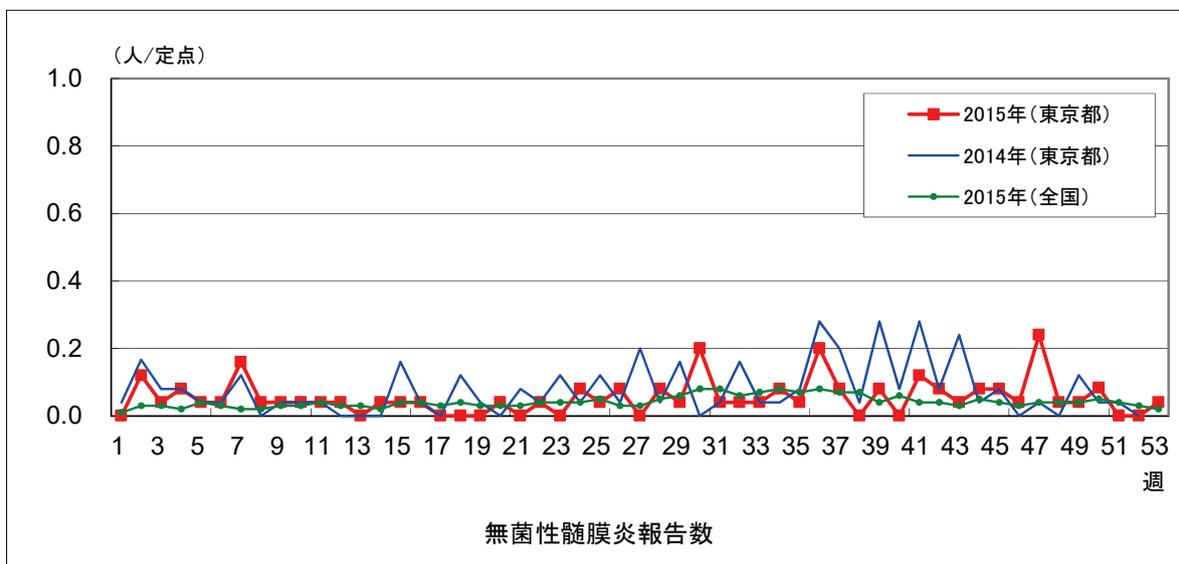
ア 細菌性髄膜炎

2015年の報告数は39件、定点当たりの報告数は1.56件であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は1.27件であった。2015年の報告数は例年と比べてやや多かった。週別定点当たりの報告数は17週(4.20~4.26)と19週(5.4~5.10)で0.12件とやや多いが季節変動ははっきりしていない。保健所別定点当たりの報告数では、墨田区が7.00件と最多であった。年齢階級別患者報告数では1歳未満が12件(30.8%)、60歳代以上が12件(30.8%)報告された。



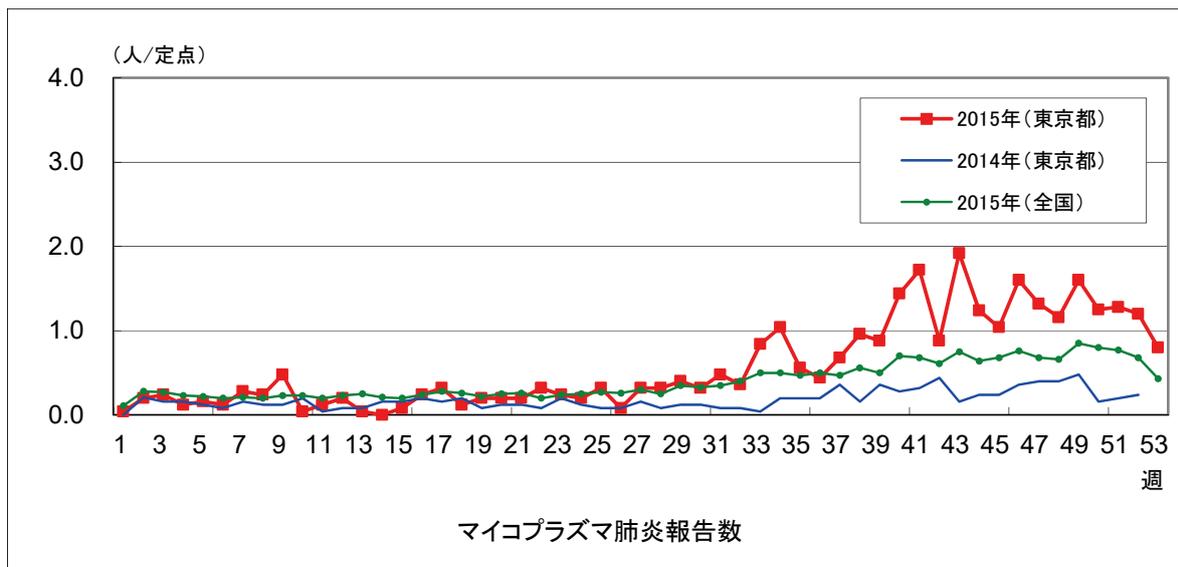
## イ 無菌性髄膜炎

2015年の報告数は72件、定点当たりの報告数は2.88件であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は2.86件であり、2015年は平年並みの報告数であった。週別定点当たりの報告数は例数が少なく季節変動は不明である。保健所別定点当たりの報告数では、世田谷が13.00件と最多であった。年齢階級別患者報告数では6か月未満が28件（38.9%）であった。



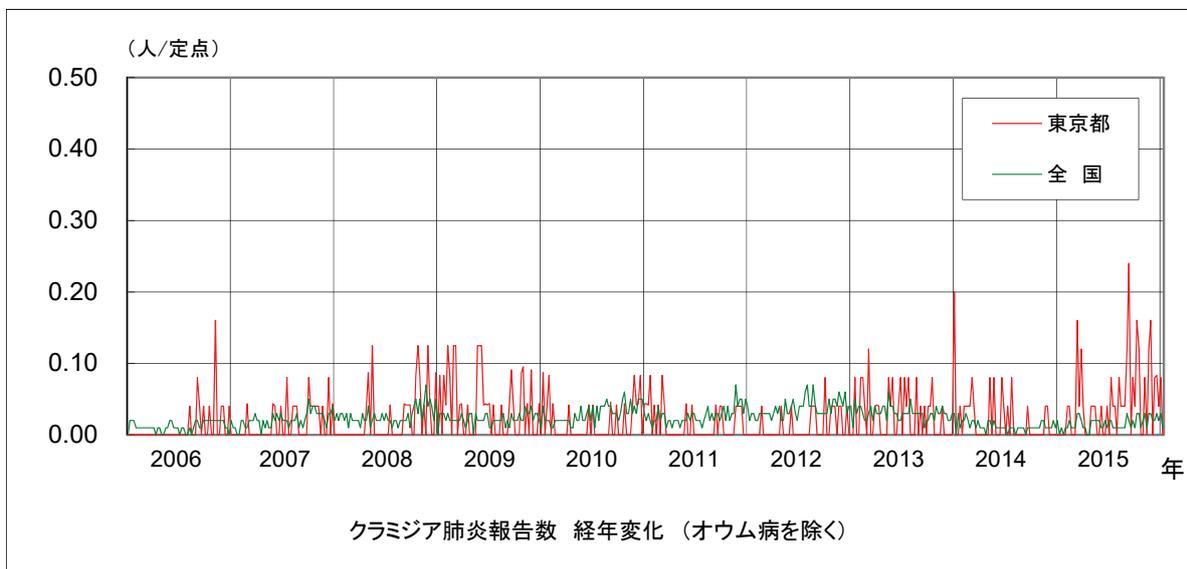
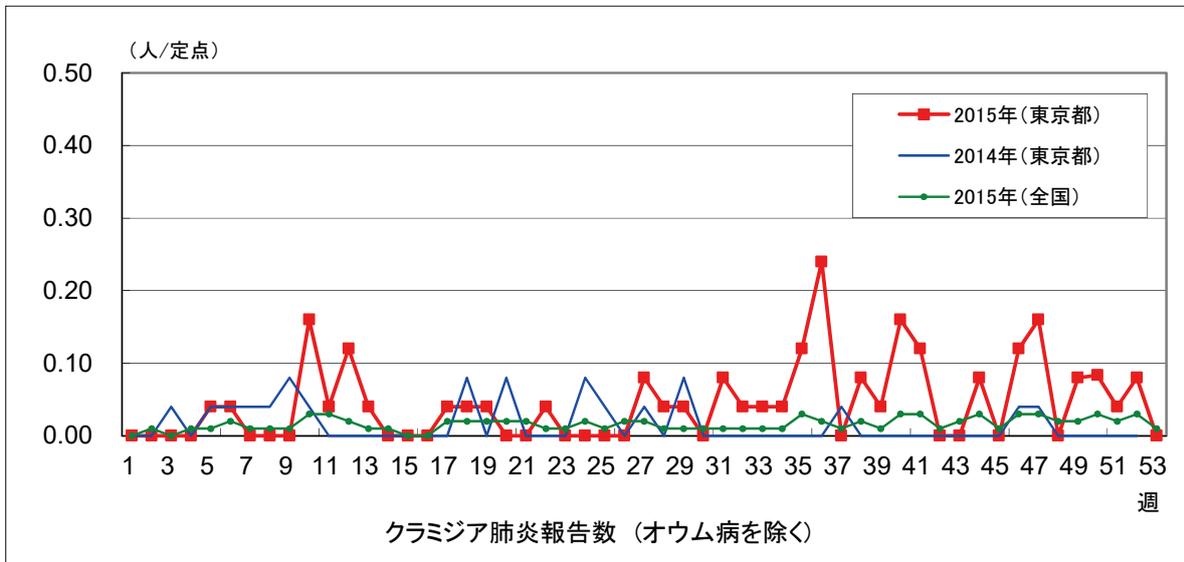
## ウ マイコプラズマ肺炎

2015年の報告数は770件、定点当たりの報告数は30.85件であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は21.26件であり、2015年はここ10年では2011年、2012年に次いで3番目に多い報告数であった。週別定点当たりの報告数では40週(9.25~10.4)から52週(12.21~12.27)にかけて1.00件を超える山があり、ピークは43週(10.19~10.25)の1.92件である。保健所別定点当たりの報告数では、葛飾区が124.00件、西多摩が60.00件と多かった。年齢階級別患者報告数では9歳以下が443件(57.5%)、10~19歳が200件(26.0%)、20~59歳が88件(11.4%)、60歳以上が39件(5.1%)であった。



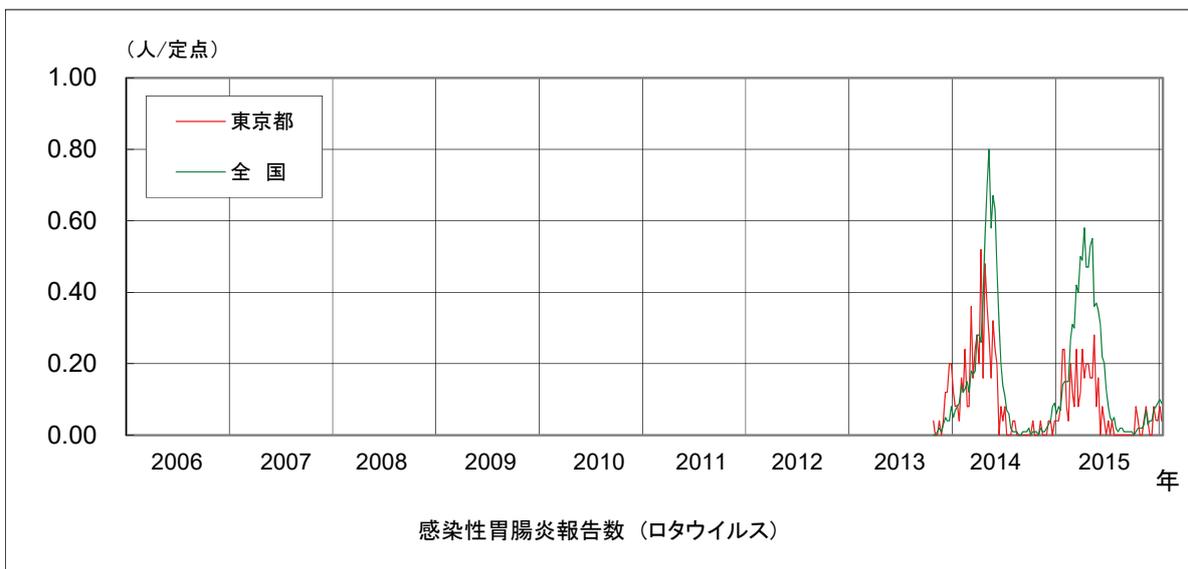
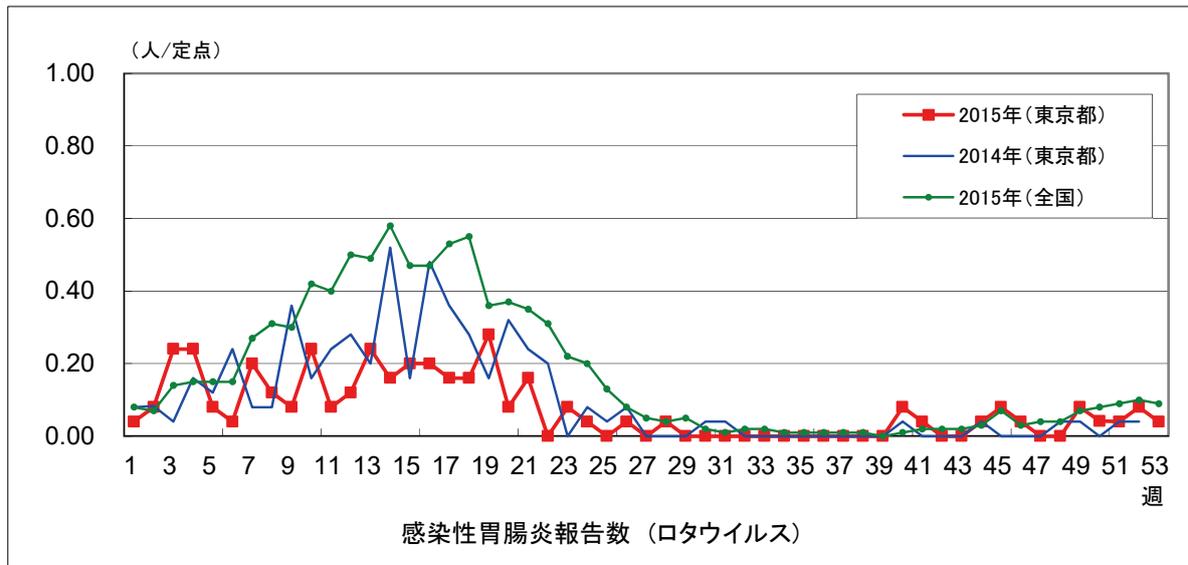
## エ クラミジア肺炎（オウム病を除く）

2015年の報告数は59件、定点当たりの報告数は2.36件であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は1.13件で、2015年はここ10年で最多の報告数であった。週別定点当たりの報告数は36週(8.31~9.6)で0.24件と最多となっているが季節変動は明らかではない。保健所別定点当たりの報告数では、みなとが31.00件、葛飾区が22.00件と多かった。年齢階級別患者報告数では60歳以上が41件(69.5%)であった。



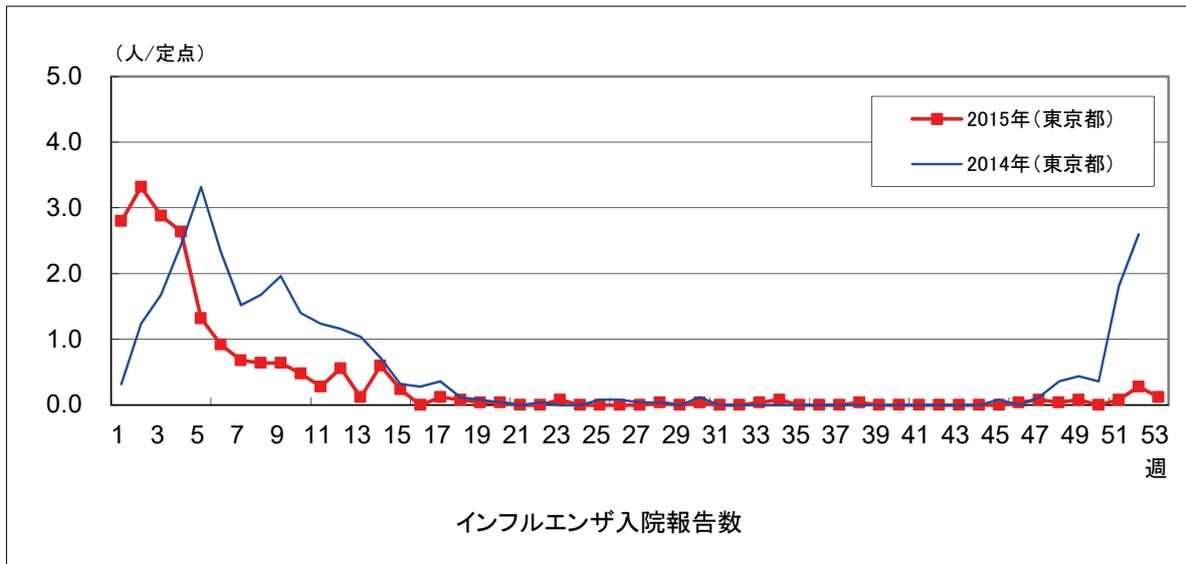
### オ 感染性胃腸炎（ロタウイルスによる）

2013年42週より報告対象疾患となった。2015年は99件が報告された。2014年は134件が報告されているので報告数は減少している。週別定点当たりの報告数では報告数が少ないためばらつきがあるが3週（1.12～1.18）から21週（5.18～5.24）にかけて0.16件を超える報告数がみられ、最多は19週（5.4～5.10）の0.28件であった。保健所別定点当たりの報告数では、渋谷区が25.00件、葛飾区が11.00件と多かった。年齢階級別患者報告数では1歳未満24件（24.2%）、1歳代22件（22.2%）であり4歳代以下で86.9%を占めている。



## カ インフルエンザ入院

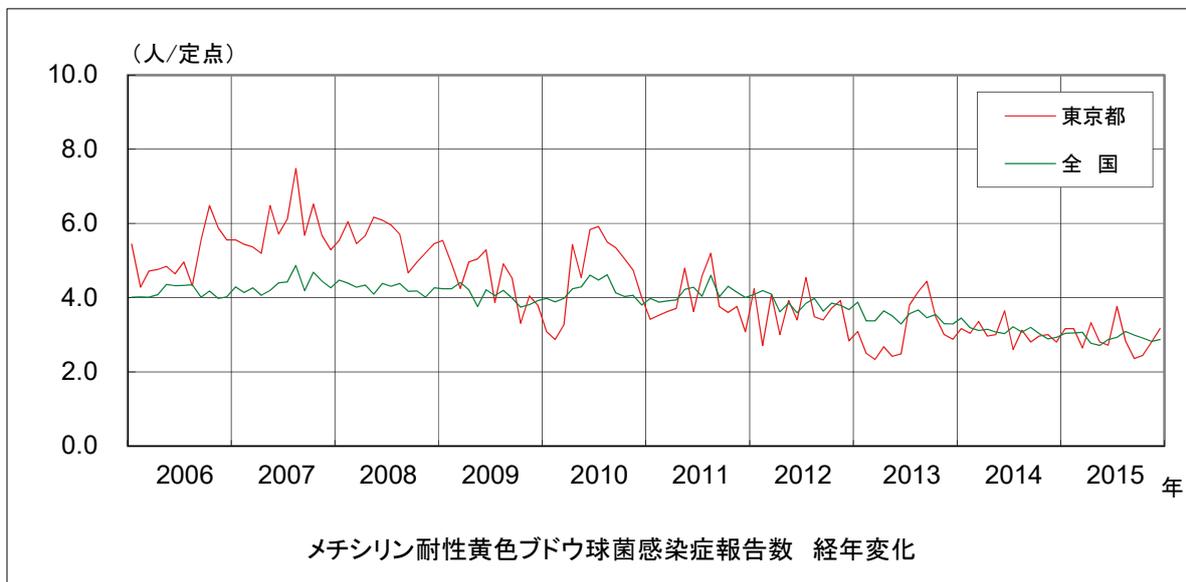
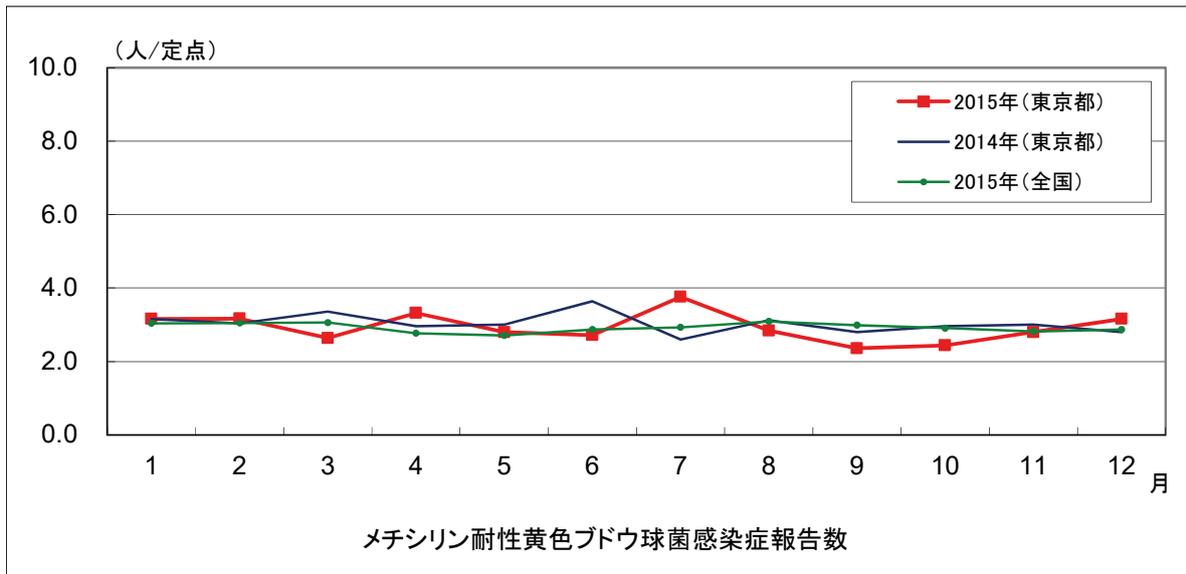
2011年36週より報告対象疾患となった。2015年の報告数は486件、定点当たりの報告数は19.44件であった。これは通年報告となった2012年以降最も少ない報告数であった。週別定点当たりの報告数は2週(1.5~1.11)がピークで3.32件であり、6週(2.2~2.8)には0.92件と1.00件を割った。保健所別定点当たりの報告数では、葛飾区が45.00件と最多であった。年齢階級別患者報告数では9歳以下97件(20.0%)、10~19歳31件(6.4%)、20~59歳44件(9.1%)、60~69歳51件(10.5%)、70~79歳98件(20.2%)、80歳以上165件(34.0%)であった。



(5) 基幹定点医療機関における月報告疾患

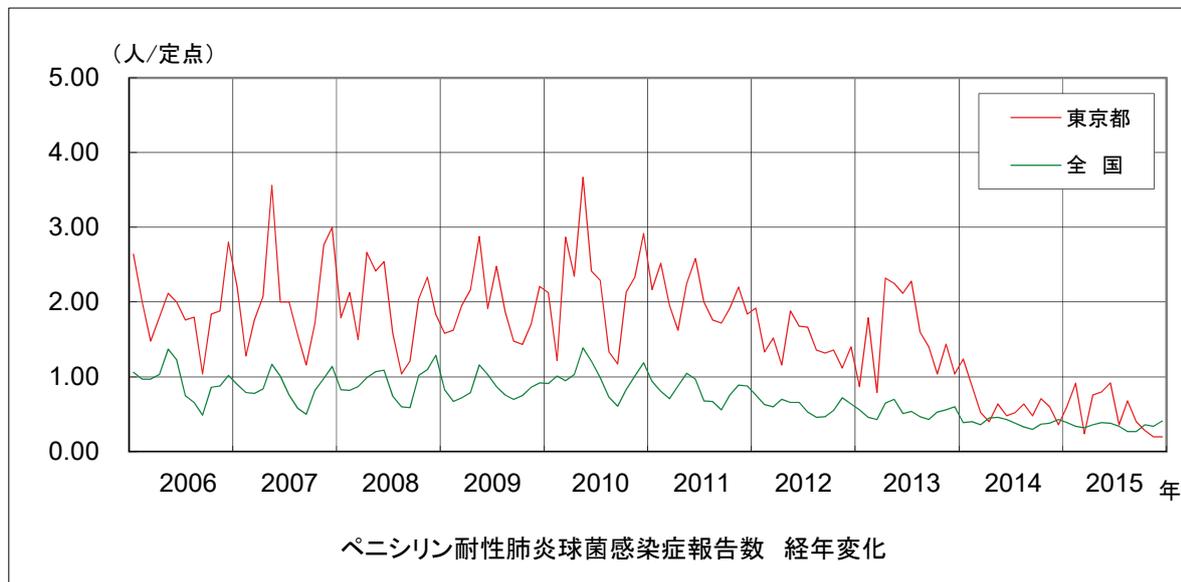
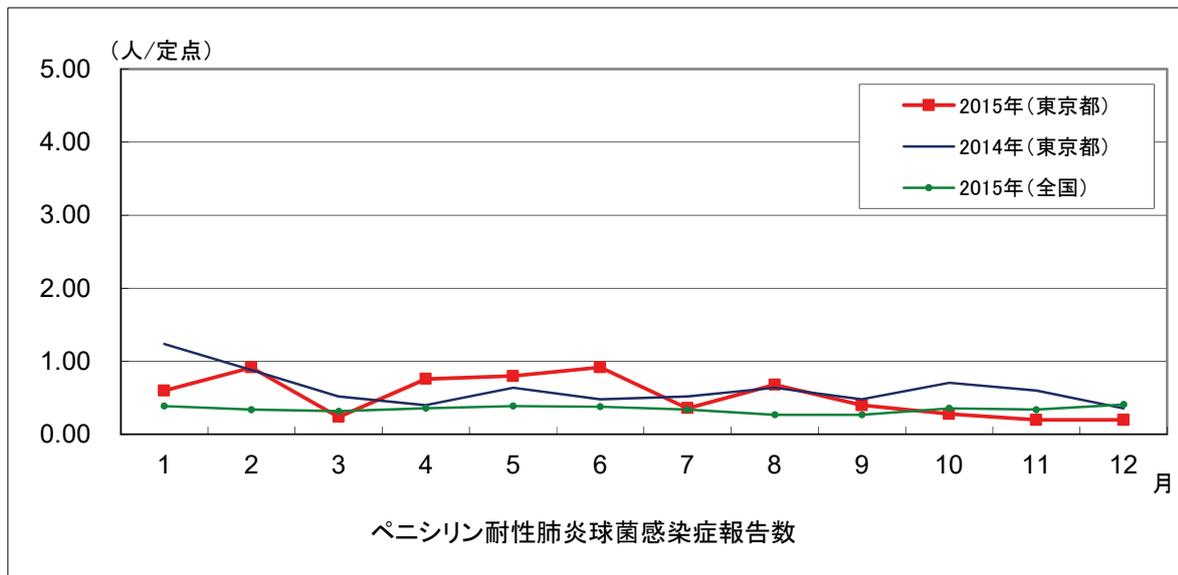
ア メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA) 感染症

2015年の報告数は877件、定点当たりの報告数は35.21件であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は50.75件であり、2010年以降毎年減少している。月別の報告数の変動は明らかではない。性別では男性575件(65.6%)、女性302件(34.4%)で例年と同様男性に多かった。年齢階級別報告数では9歳以下が322件(36.7%)、70歳以上が227件(38.7%)と若年者と高齢者に多くなっている。



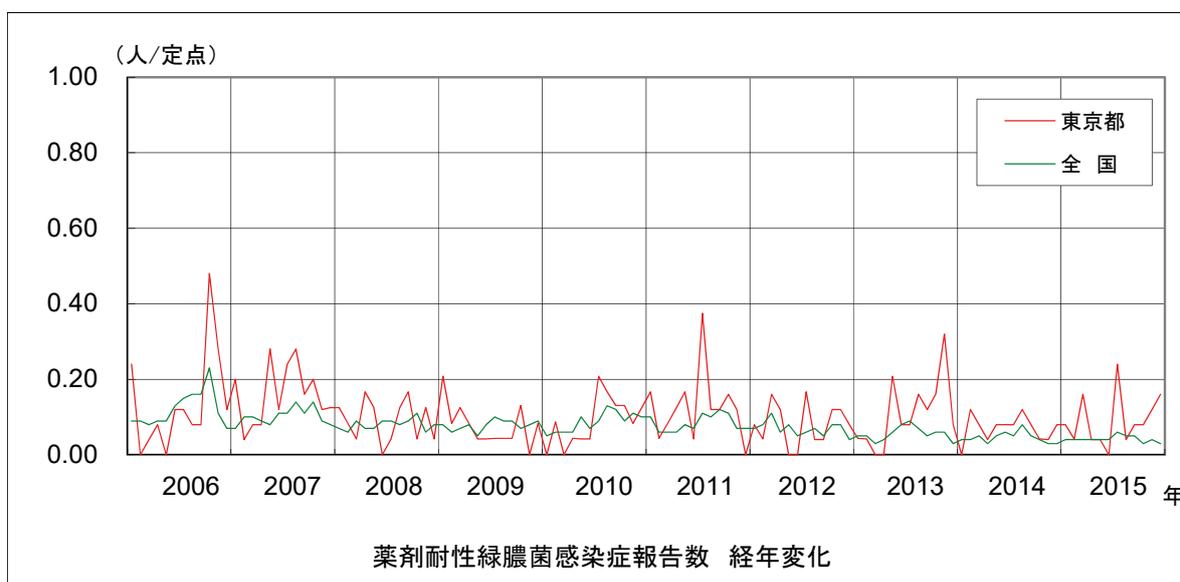
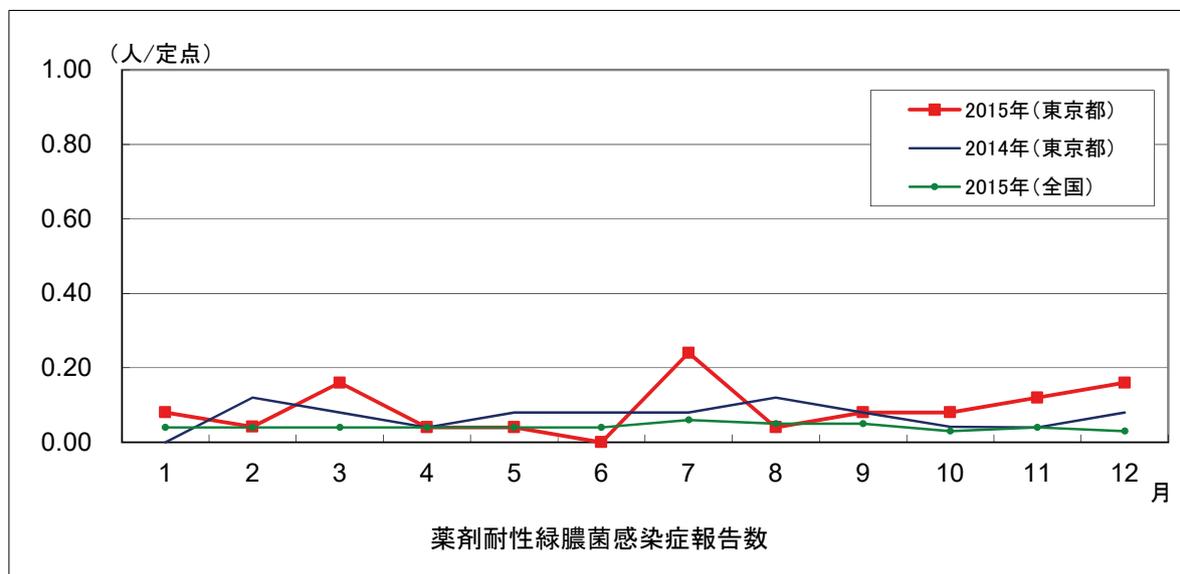
## イ ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

2015年の報告数は158件、定点当たりの報告数は6.36件であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は19.64件であった。ここ数年報告数は減少傾向にある。月別報告数では6月が23件と最多であった。性別では男性94件(59.5%)、女性64件(40.5%)と男性に多かった。年齢階級別報告数では9歳以下が158件(48.1%)、70歳以上が51件(32.3%)であった。



### ウ 薬剤耐性緑膿菌感染症

2015年の報告数は28件、定点当たりの報告数は1.12件であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は1.24件であった。月別の報告数の変動は明らかではない。性別では男性17件(60.7%)、女性11件(39.3%)と男性が多かった。年齢階級別報告数では70歳以上が18件(64.3%)であった。



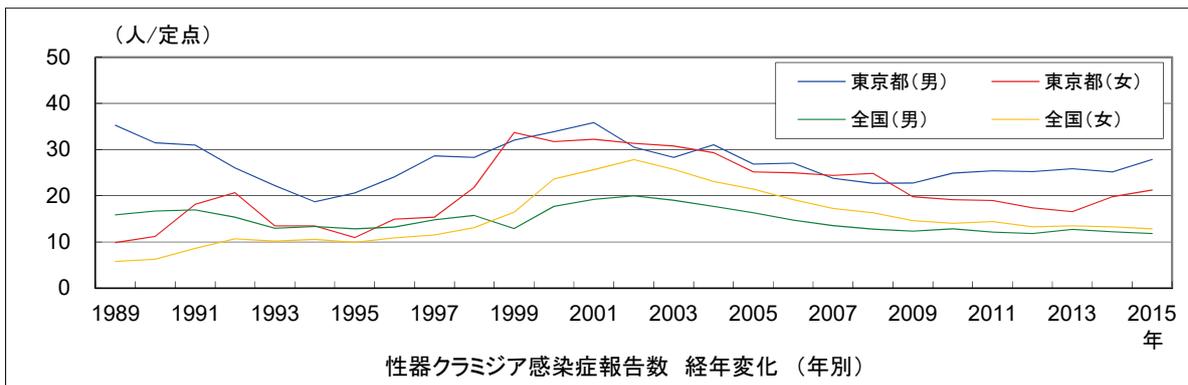
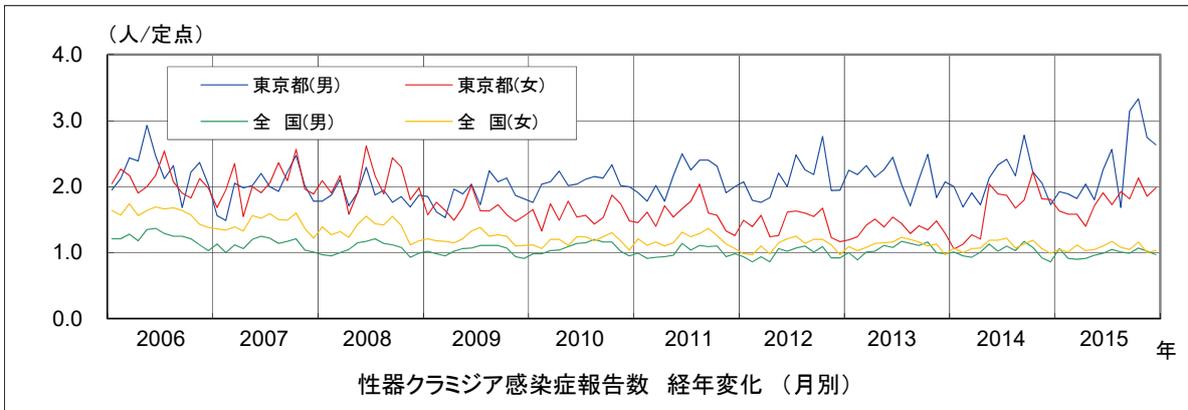
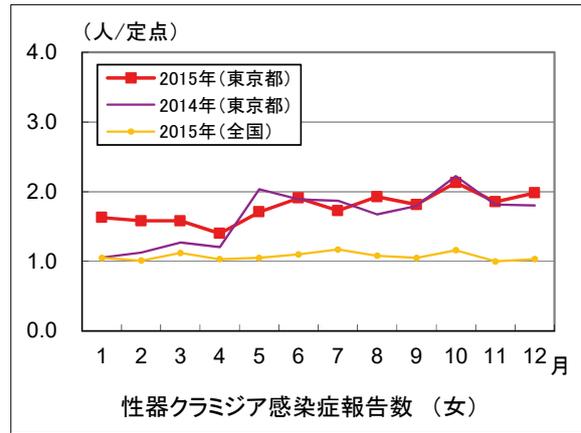
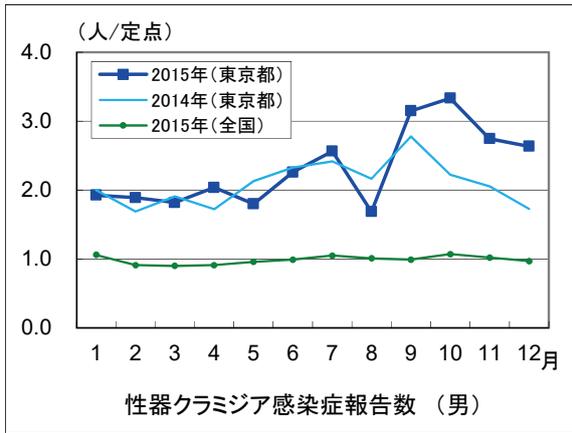
(6) 性感染症

ア 性器クラミジア感染症

2015年の報告数は2,678人、定点当たり49.09人であり、男性の報告数は1,519人、定点当たり27.84人（前年比1.11）、女性の報告数は1,159人、定点当たり21.24人（前年比1.07）であった。

定点当たり報告数を月別に見ると、男性は10月が3.33人で最多、8月が1.69人で最少、女性では10月が2.13人で最多、4月が1.40人で最少であった。保健所別では、男性は江東区の65.50人、女性は台東の142.50人が最多であった。

年齢階級別報告数では、男性は30～34歳の294人が最多で、20歳代と30歳代で男性全体の67.1%を占めた。女性では20～24歳の311人が最多で、20歳代と30歳代で女性全体の79.4%を占めた。

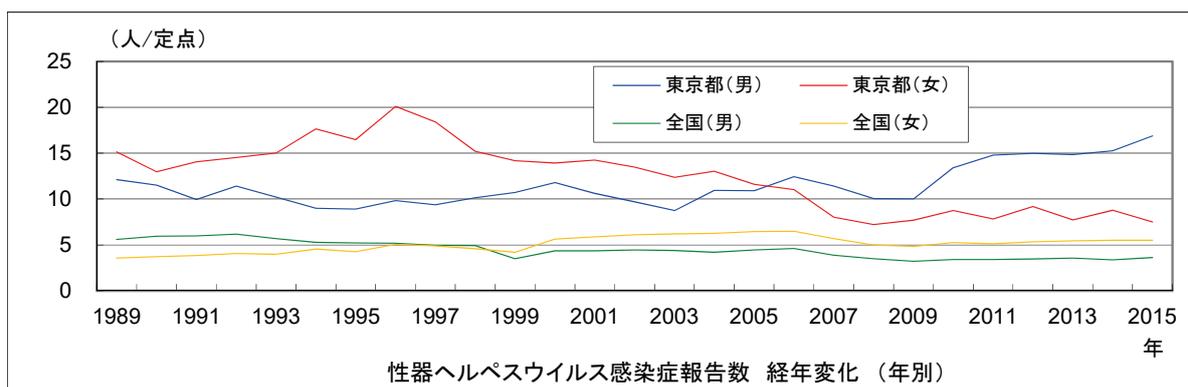
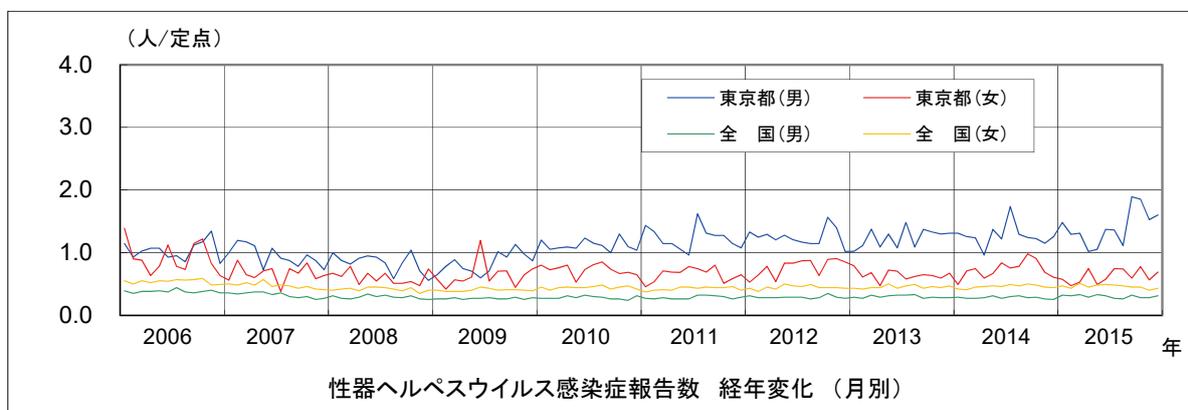
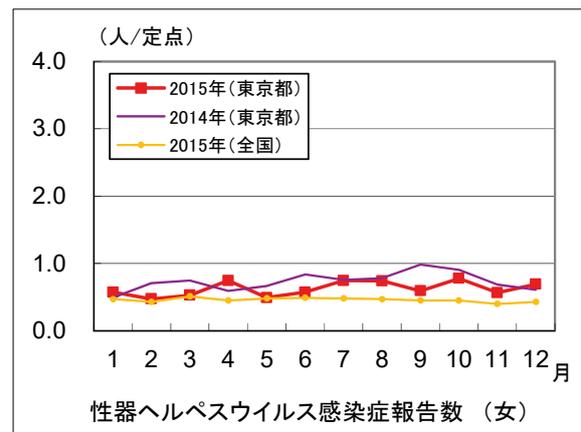
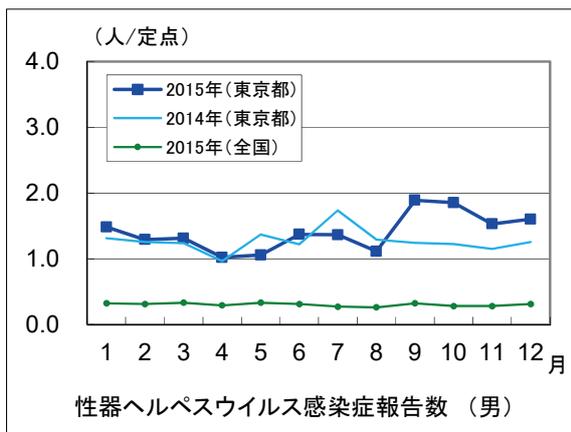


## イ 性器ヘルペスウイルス感染症

2015年の報告数は1,329人、定点当たり24.36人であり、男性の報告数は920人、定点当たり16.87人（前年比1.11）、女性の報告数は409人、定点当たり7.50人（前年比0.86）で、2006年以降男性に多い状況が続いている。

月別の定点当たり報告数は、男性は9月が1.89人で最多、4月が1.02人で最少、女性は10月が0.78人で最多、2月が0.47人で最少であった。保健所別では、男女ともにみなとが最多で、男性は201.50、女性は28.00であった。

年齢階級別報告数では、男性は35～39歳の142人が最多で、30歳代と40歳代で男性全体の59.3%を占めた。女性では25～29歳の83人が最多で、20歳代と30歳代で女性全体の65.8%を占めた。

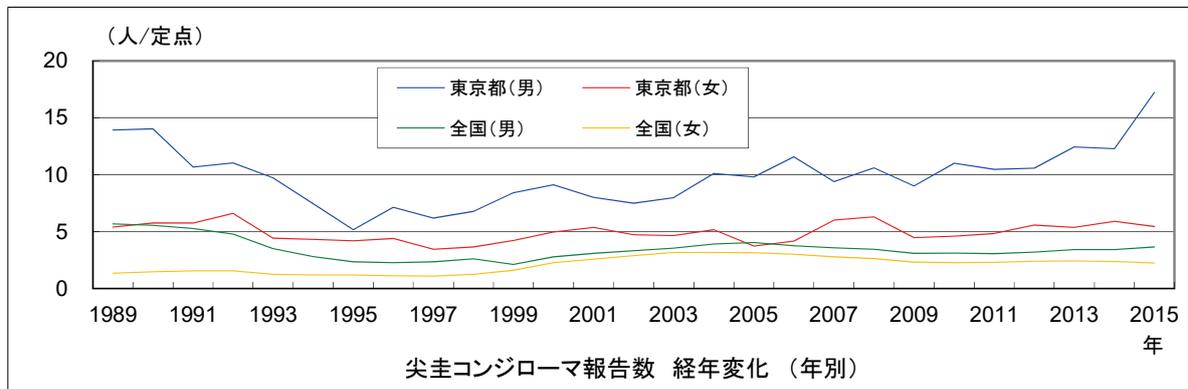
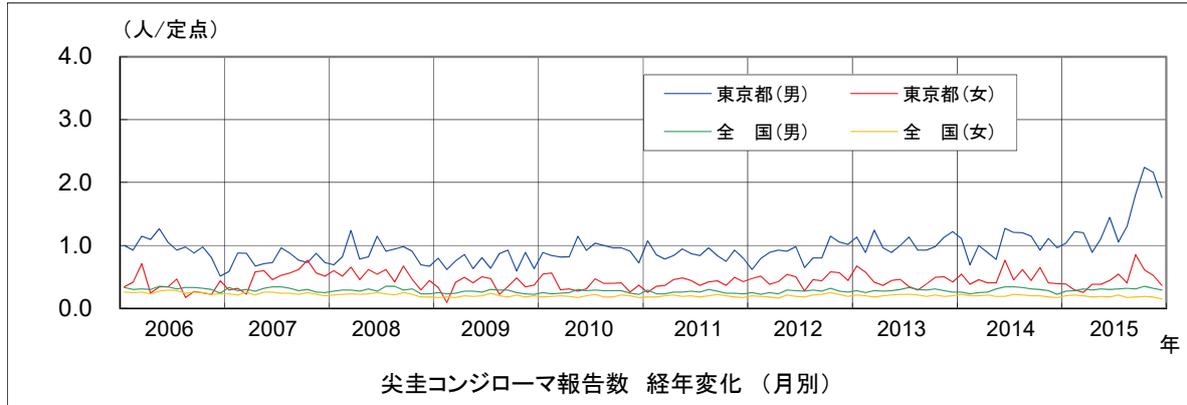
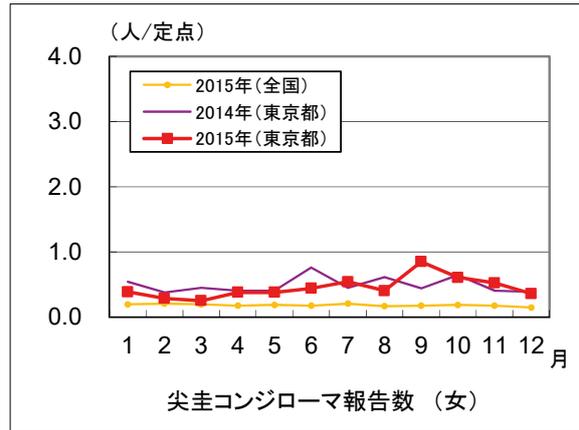
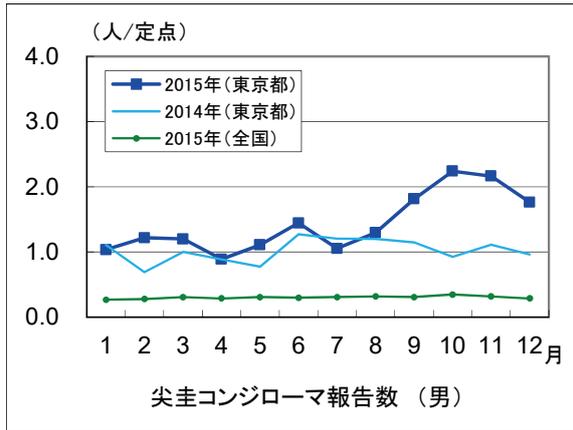


## ウ 尖圭コンジローマ

2015年の報告数は1,237人、定点当たり22.68人であり、男性の報告数は940人、定点当たり17.23人（前年比1.40）、女性の報告数は297人、定点当たり5.45人（前年比0.92）で、男性が多い。

月別定点当たり報告数は、男性は10月が2.24人で最多、4月が0.89人で最少、女性は9月が0.85人で最多、3月が0.25人で最少であった。保健所別では、男性が新宿区の64.64人、女性が台東区の20.50人がそれぞれ最多であった。

年齢階級別報告数では、男性は30～34歳の186人が最多で、30歳代と40歳代で男性全体の64.9%を占めた。女性では20～24歳の86人が最多で、20歳代と30歳代で女性全体の81.1%を占めた。

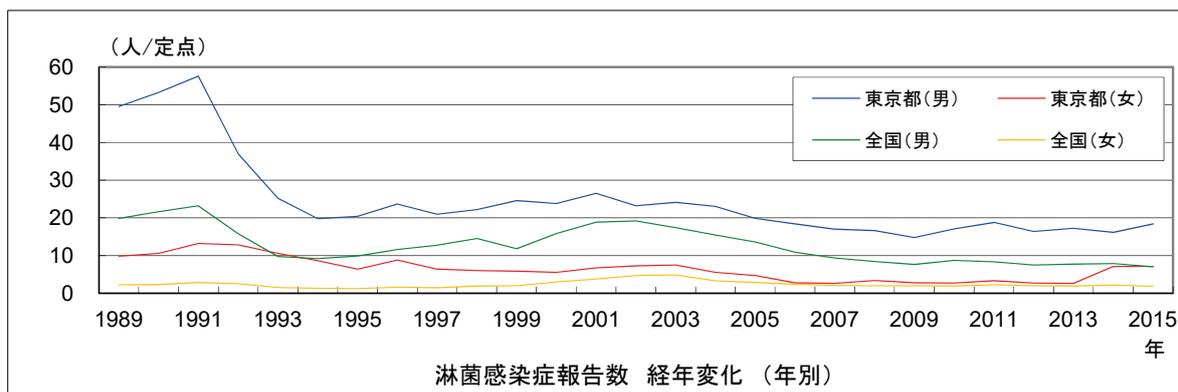
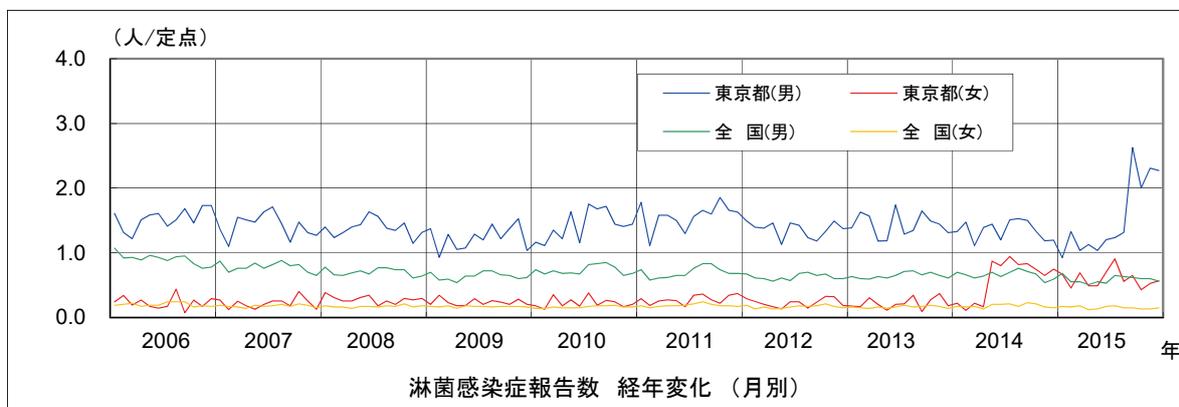
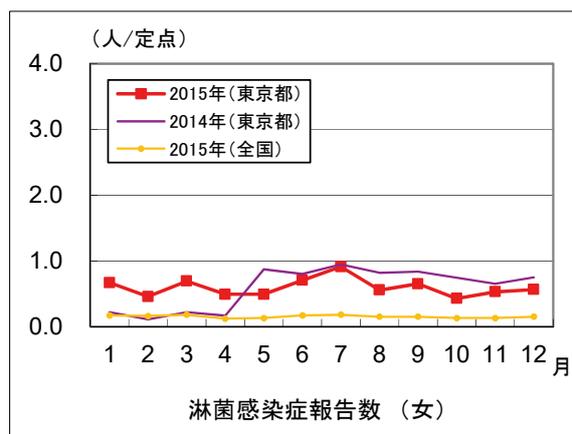
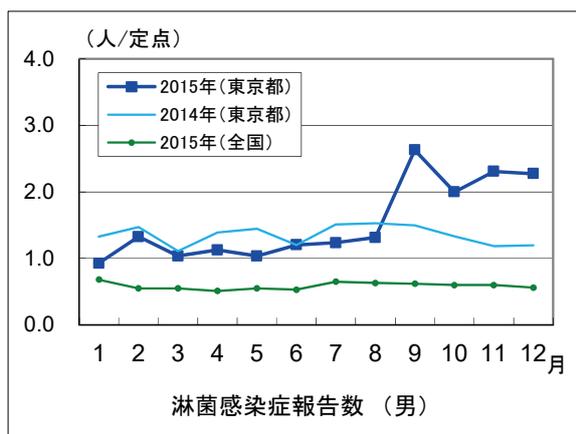


## エ 淋菌感染症

2015年の報告数は1,394人、定点当たり25.55人であり、男性の報告数は1,005人、定点当たり18.42人（前年比1.14）、女性の報告数は389人、定点当たり7.13人（前年比1.00）で、男性は女性の2倍以上の報告数が続いている。

月別定点当たり報告数は、男性は9月が2.63人で最多、1月が0.93人で最少であった。女性は7月が0.91人で最多、10月が0.43人で最少であった。保健所別では、男性は渋谷区の63.60人、女性は台東の128.00人が最多であった。

年齢階級別報告数では、男性は25～29歳の214人が最多で、20歳代と30歳代が男性全体の71.9%を占めた。女性も25～29歳の96人が最多で、20歳代と30歳代が女性全体の75.3%を占めた。

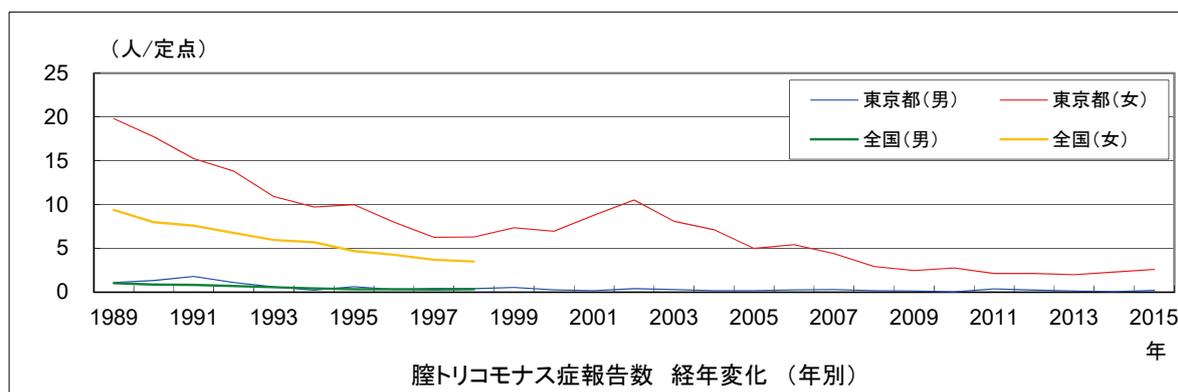
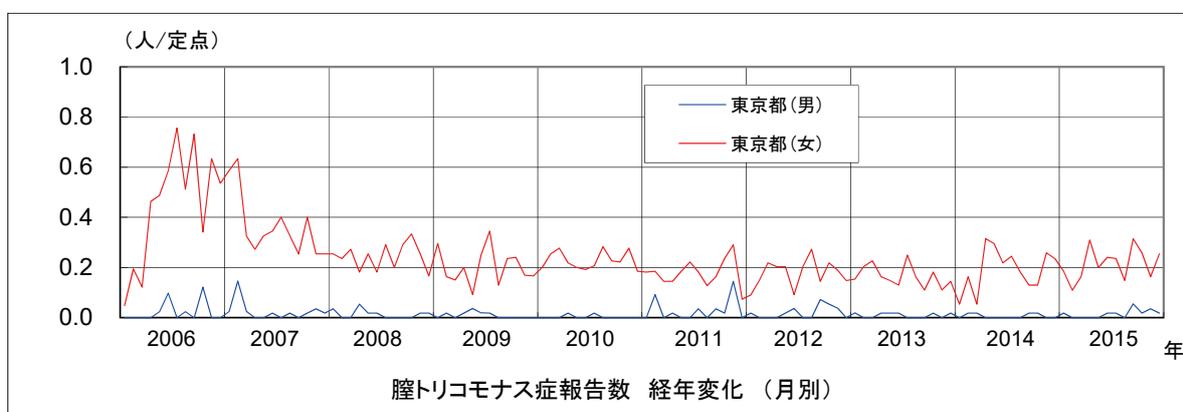
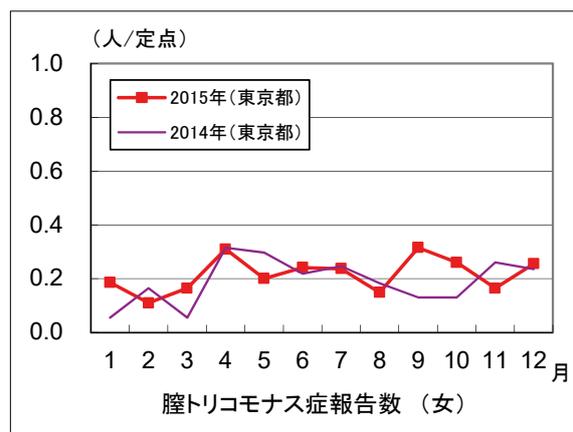
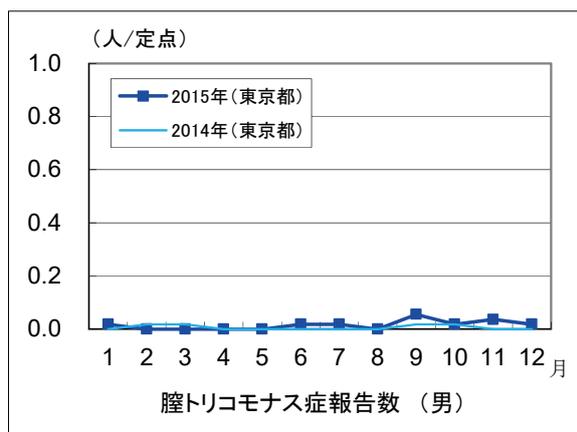


## オ 臍トリコモナス症

2015年の報告数は151人、定点当たり2.77人であり、男性の報告数は10人、定点当たり0.18人（前年比2.50）、女性の報告数は141人、定点当たり2.58人（前年比1.13）で、女性が全報告数の93.4%を占める。

男性は報告数が少なく、季節や地域的傾向等に大きな変動はみられない。女性では、月別定点当たり患者報告数は4月と9月の0.31人で最多、2月の0.11人で最少であった。保健所別では、台東の29.50人が最多であった。

年齢階級別報告数では女性で20～24歳と25～29歳の各29人が最多で、20歳代と30歳代で女性全体の68.8%を占めた。



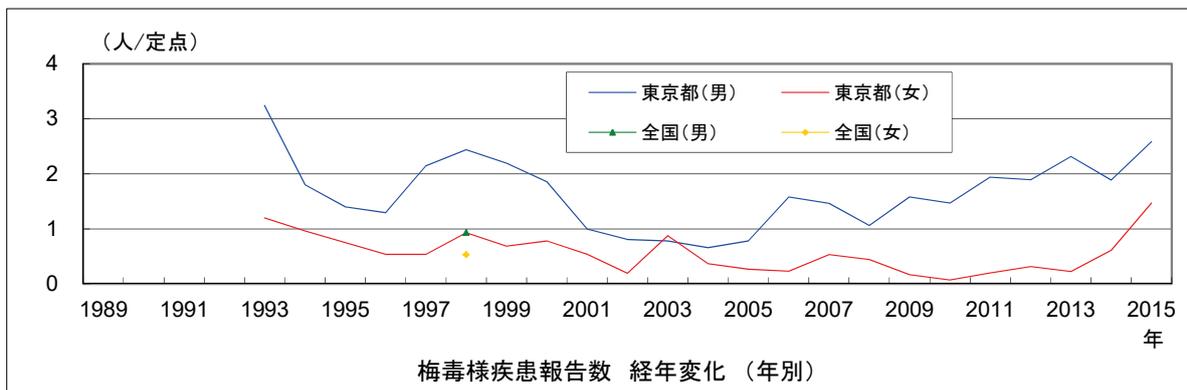
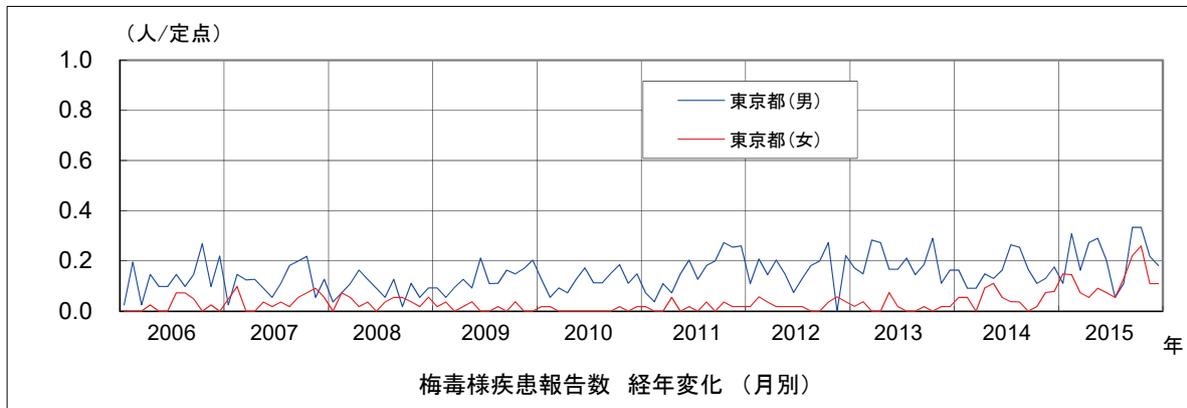
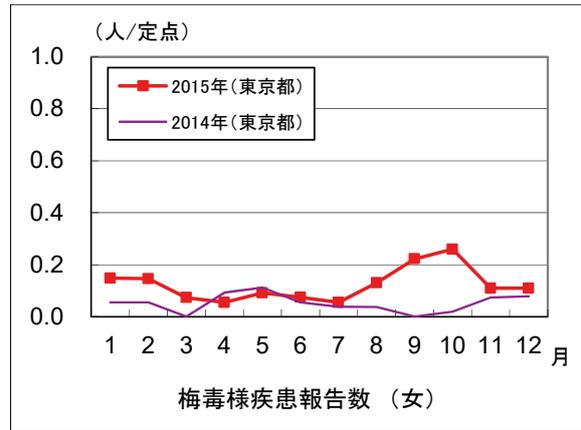
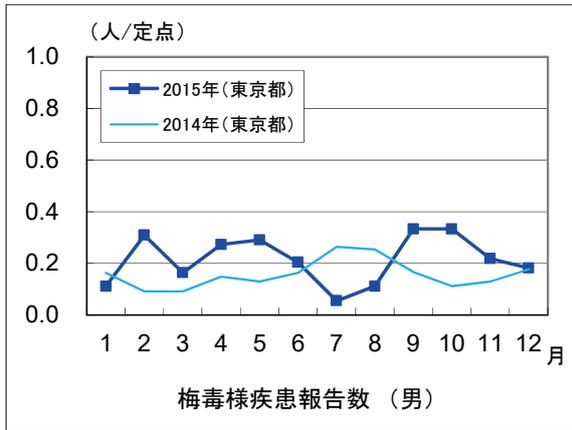
## カ 梅毒様疾患

2015年の報告数は221人、定点当たり4.05人であり、男性の報告数は141人、定点当たり2.58人（前年比1.37）、女性の報告数は80人、定点当たり1.47人（前年比2.40）であった。

過去10年の定点当たり患者報告数では、男女とも、徐々に増加傾向である。

月別定点当たり報告数では、男性は9月と10月が各0.33人で最多、1月、8月が各0.11人で最少、女性は、最多は10月の0.26人であった。保健所別では、男性は新宿区の10.62人が最多で、女性はみなとの19.00人が最多であった。

年齢階級別報告数では、男性は35～39歳の32人が最多で、30歳代と40歳代が男性全体の63.8%を占めた。女性は25～29歳の22人が最多で、20歳代と30歳代が女性全体の83.8%を占めた。



(注) 梅毒様疾患の全国調査は1998年のみ

表4-1(1) 週別患者報告数(インフルエンザ・小児科) 2015年第1週~第53週

週	期間	報告定点数 (インフルエンザ)	インフルエンザ	報告定点数(小児科)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎
1	12.29~1.4	345	3,809	210	78	25	106	481	49	10	43	18	2	1	11
2	1.5~1.11	414	9,892	260	164	70	427	2,254	190	46	236	101	2	6	85
3	1.12~1.18	416	8,198	263	118	44	493	2,224	104	26	237	102	3	2	57
4	1.19~1.25	416	9,625	263	148	70	697	2,432	126	24	218	128	2	5	39
5	1.26~2.1	416	7,844	263	97	37	692	2,244	89	29	207	126	5	6	66
6	2.2~2.8	415	4,743	261	100	56	687	1,968	130	22	151	100	7	1	48
7	2.9~2.15	414	3,204	260	63	33	626	1,910	90	20	168	117	2	1	52
8	2.16~2.22	415	2,213	261	81	48	702	2,196	122	23	174	118	8	3	67
9	2.23~3.1	416	1,694	263	64	56	812	2,354	125	26	194	128	1	2	65
10	3.2~3.8	414	1,175	262	53	47	863	2,259	156	25	234	143	2	1	49
11	3.9~3.15	411	1,113	260	49	55	859	2,349	136	20	183	125	7	3	89
12	3.16~3.22	414	984	263	46	52	817	2,123	154	28	225	141	2	2	57
13	3.23~3.29	415	636	262	44	56	756	1,887	187	26	238	162	4	7	57
14	3.30~4.5	414	580	262	41	56	613	1,761	186	17	250	155	5	6	65
15	4.6~4.12	411	417	263	31	46	642	1,780	129	35	239	167	2	1	61
16	4.13~4.19	414	618	264	37	47	887	2,208	135	38	397	147	6	13	59
17	4.20~4.26	416	528	262	41	100	1,033	2,209	160	58	387	190	7	12	62
18	4.27~5.3	404	202	255	19	133	948	1,825	162	75	350	189	7	18	104
19	5.4~5.10	415	96	264	11	88	443	1,024	141	64	153	122	4	18	66
20	5.11~5.17	418	71	264	15	139	1,092	1,766	154	85	331	189	8	21	69
21	5.18~5.24	412	52	260	18	183	1,070	1,882	127	148	290	209	4	50	74
22	5.25~5.31	415	36	261	15	243	1,107	1,911	171	270	313	219	10	56	68
23	6.1~6.7	414	34	263	9	229	1,043	1,836	174	351	240	191	9	86	87
24	6.8~6.14	416	8	263	17	200	1,077	1,957	125	489	330	210	7	101	80
25	6.15~6.21	414	21	261	14	192	946	1,737	159	721	331	201	13	156	78
26	6.22~6.28	414	13	261	9	188	968	1,679	148	1,158	398	228	10	269	81
27	6.29~7.5	412	10	262	10	183	833	1,511	113	1,541	314	185	10	329	90
28	7.6~7.12	416	8	263	9	204	891	1,493	139	2,720	368	177	7	721	97
29	7.13~7.19	410	7	259	15	175	712	1,263	121	3,948	382	170	12	865	108
30	7.20~7.26	413	10	262	23	117	505	982	115	3,626	234	157	3	805	89
31	7.27~8.2	410	11	261	27	148	468	1,065	91	3,678	157	179	14	807	96
32	8.3~8.9	408	3	258	58	131	367	924	92	2,960	165	166	6	647	92
33	8.10~8.16	374	4	231	35	102	215	580	48	1,535	71	119	1	342	62
34	8.17~8.23	387	4	243	68	120	236	788	55	1,260	111	123	2	282	90
35	8.24~8.30	408	2	256	106	96	288	839	56	1,404	107	178	3	319	106
36	8.31~9.6	414	20	261	172	95	368	982	46	1,198	141	181	9	289	80
37	9.7~9.13	414	30	261	247	86	378	969	54	1,193	107	159	8	249	94
38	9.14~9.20	399	25	252	350	63	398	972	97	1,133	108	177	5	239	73
39	9.21~9.27	411	16	260	209	47	175	517	73	594	52	93	2	89	78
40	9.28~10.4	412	28	260	303	82	435	909	88	618	96	153	4	102	145
41	10.5~10.11	412	36	261	398	87	438	917	77	398	75	140	8	59	130
42	10.12~10.18	410	32	259	363	58	418	867	76	215	71	135	5	36	124
43	10.19~10.25	414	49	261	384	66	539	1,189	107	180	81	146	10	48	156
44	10.26~11.1	411	59	261	359	69	510	1,359	102	141	119	157	7	27	143
45	11.2~11.8	408	77	259	352	72	571	1,397	123	98	87	118	3	18	154
46	11.9~11.15	411	61	259	310	89	655	1,871	142	57	89	143	8	10	141
47	11.16~11.22	410	99	259	335	109	722	2,063	140	97	131	160	12	11	147
48	11.23~11.29	411	75	260	310	98	643	1,974	167	56	94	137	6	13	171
49	11.30~12.6	413	79	259	350	121	848	3,117	213	42	124	142	2	15	155
50	12.7~12.13	414	181	261	356	137	859	3,734	201	30	107	113	6	11	153
51	12.14~12.20	414	231	261	276	147	1,048	3,957	267	27	103	132	5	13	196
52	12.21~12.27	413	304	261	277	133	839	3,381	235	13	116	97	3	5	154
53	12.28~1.3	391	168	243	113	57	274	1,176	98	3	47	53		2	63
合計			59,435		7,197	5,385	35,039	91,052	6,765	32,599	10,174	7,816	300	7,200	4,883

表4-1(2) 週別患者報告数(小児科・眼科・基幹) 2015年第1週～第53週

週	期 間	報告定点数 (小児科)	不明発しん症	川崎病	報告定点数 (眼科)	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	報告定点数 (基幹)	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	(オウム病を除く) クラミジア肺炎	(ロタウイルスによる) 感染性胃腸炎	報告定点数 (基幹)	インフルエンザ入院
1	12.29～1.4	210	2	1	31		7	25	1		1		1	25	70
2	1.5～1.11	260	20	3	39		24	25		3	5		2	25	83
3	1.12～1.18	263	4	4	39	1	17	25	1	1	6		6	25	72
4	1.19～1.25	263	7	4	39		8	25	1	2	3		6	25	66
5	1.26～2.1	263	8	6	39	1	10	25		1	4	1	2	25	33
6	2.2～2.8	261	13	7	39		10	25		1	3	1	1	25	23
7	2.9～2.15	260	10	3	38		7	25	2	4	7		5	25	17
8	2.16～2.22	261	10	1	39		7	25	1	1	6		3	25	16
9	2.23～3.1	263	15	6	39		12	25	1	1	12		2	25	16
10	3.2～3.8	262	12	6	39	1	16	25		1	1	4	6	25	12
11	3.9～3.15	260	13	9	39		15	25		1	3	1	2	25	7
12	3.16～3.22	263	16	5	38		11	25	2	1	5	3	3	25	14
13	3.23～3.29	262	8	3	39		19	25			1	1	6	25	3
14	3.30～4.5	262	16	2	39		20	25		1			4	25	15
15	4.6～4.12	263	18	5	39		14	25		1	2		5	25	6
16	4.13～4.19	264	28	2	39	1	19	25		1	6		5	25	
17	4.20～4.26	262	25	3	39		22	25	3		8	1	4	25	3
18	4.27～5.3	255	15	3	37		18	25	1		3	1	4	25	2
19	5.4～5.10	264	21	4	39		12	25	3		5	1	7	25	1
20	5.11～5.17	264	11	2	39		25	25		1	5		2	25	1
21	5.18～5.24	260	14	1	39		11	25	2		5		4	25	
22	5.25～5.31	261	29	3	38		18	25	1	1	8	1		25	
23	6.1～6.7	263	26	5	39	1	19	25	2		6		2	25	2
24	6.8～6.14	263	32	4	39		25	25		2	5		1	25	
25	6.15～6.21	261	23	3	39	2	21	25		1	8			25	
26	6.22～6.28	261	44	4	39		21	25		2	2		1	25	
27	6.29～7.5	262	29		38		30	25			8	2		25	
28	7.6～7.12	263	44	7	39	2	24	25		2	8	1	1	25	1
29	7.13～7.19	259	52	6	39		36	25	2	1	10	1		25	
30	7.20～7.26	262	58	7	39		26	25	2	5	8			25	1
31	7.27～8.2	261	44	3	39		38	25		1	12	2		25	
32	8.3～8.9	258	36	8	38	1	28	25	2	1	9	1		25	
33	8.10～8.16	231	16	1	36		21	25		1	21	1		25	1
34	8.17～8.23	243	27	2	39		42	25		2	26	1		25	2
35	8.24～8.30	256	52	3	39		26	25	2	1	14	3		25	
36	8.31～9.6	261	49	2	39	1	28	25		5	11	6		25	
37	9.7～9.13	261	57	3	39		42	25		2	17			25	
38	9.14～9.20	252	52	1	37		41	25			24	2		25	1
39	9.21～9.27	260	29	1	39		25	25	2	2	22	1		25	
40	9.28～10.4	260	39	6	39		46	25	2		36	4	2	25	
41	10.5～10.11	261	34	3	39		42	25	1	3	43	3	1	25	
42	10.12～10.18	259	19	2	39	1	24	25		2	22			25	
43	10.19～10.25	261	31	1	39		33	25		1	48			25	
44	10.26～11.1	261	32	3	39		46	25		2	31	2	1	25	
45	11.2～11.8	259	26	7	39	1	27	25		2	26		2	25	
46	11.9～11.15	259	19	3	39		30	25		1	40	3	1	25	1
47	11.16～11.22	259	27	5	39		38	25		6	33	4		25	2
48	11.23～11.29	260	27	3	39		40	25		1	29			25	1
49	11.30～12.6	259	13	6	39	1	29	25	2	1	40	2	2	25	2
50	12.7～12.13	261	16	2	38		24	24		2	30	2	1	25	
51	12.14～12.20	261	18	6	38		32	25	1		32	1	1	25	2
52	12.21～12.27	261	22	7	39		21	25	1		30	2	2	25	7
53	12.28～1.3	243	4	2	37		9	25	1	1	20		1	25	3
合 計		1,312	199			14	1,256		39	72	770	59	99		486

表4-2(1) 週別定点当たり患者報告数(インフルエンザ・小児科) 2015年第1週～第53週

週	期間	報告 定点数 (イン フル エン ザ)	イン フル エン ザ	報告 定点数 (小児科)	RS ウイ ルス 感染 症	咽 頭 結 膜 熱	A 球 菌 咽 頭 炎 レ ン サ	感 染 性 胃 腸 炎	水 痘	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	百 日 咳	ヘル パン ギー ナ	流 行 性 耳 下 腺 炎
1	12.29～1.4	345	11.04	210	0.37	0.12	0.50	2.29	0.23	0.05	0.20	0.09	0.01	0.00	0.05
2	1.5～1.11	414	23.89	260	0.63	0.27	1.64	8.67	0.73	0.18	0.91	0.39	0.01	0.02	0.33
3	1.12～1.18	416	19.71	263	0.45	0.17	1.87	8.46	0.40	0.10	0.90	0.39	0.01	0.01	0.22
4	1.19～1.25	416	23.14	263	0.56	0.27	2.65	9.25	0.48	0.09	0.83	0.49	0.01	0.02	0.15
5	1.26～2.1	416	18.86	263	0.37	0.14	2.63	8.53	0.34	0.11	0.79	0.48	0.02	0.02	0.25
6	2.2～2.8	415	11.43	261	0.38	0.21	2.63	7.54	0.50	0.08	0.58	0.38	0.03	0.00	0.18
7	2.9～2.15	414	7.74	260	0.24	0.13	2.41	7.35	0.35	0.08	0.65	0.45	0.01	0.00	0.20
8	2.16～2.22	415	5.33	261	0.31	0.18	2.69	8.41	0.47	0.09	0.67	0.45	0.03	0.01	0.26
9	2.23～3.1	416	4.07	263	0.24	0.21	3.09	8.95	0.48	0.10	0.74	0.49	0.00	0.01	0.25
10	3.2～3.8	414	2.84	262	0.20	0.18	3.29	8.62	0.60	0.10	0.89	0.55	0.01	0.00	0.19
11	3.9～3.15	411	2.71	260	0.19	0.21	3.30	9.03	0.52	0.08	0.70	0.48	0.03	0.01	0.34
12	3.16～3.22	414	2.38	263	0.17	0.20	3.11	8.07	0.59	0.11	0.86	0.54	0.01	0.01	0.22
13	3.23～3.29	415	1.53	262	0.17	0.21	2.89	7.20	0.71	0.10	0.91	0.62	0.02	0.03	0.22
14	3.30～4.5	414	1.40	262	0.16	0.21	2.34	6.72	0.71	0.06	0.95	0.59	0.02	0.02	0.25
15	4.6～4.12	411	1.01	263	0.12	0.17	2.44	6.77	0.49	0.13	0.91	0.63	0.01	0.00	0.23
16	4.13～4.19	414	1.49	264	0.14	0.18	3.36	8.36	0.51	0.14	1.50	0.56	0.02	0.05	0.22
17	4.20～4.26	416	1.27	262	0.16	0.38	3.94	8.43	0.61	0.22	1.48	0.73	0.03	0.05	0.24
18	4.27～5.3	404	0.50	255	0.07	0.52	3.72	7.16	0.64	0.29	1.37	0.74	0.03	0.07	0.41
19	5.4～5.10	415	0.23	264	0.04	0.33	1.68	3.88	0.53	0.24	0.58	0.46	0.02	0.07	0.25
20	5.11～5.17	418	0.17	264	0.06	0.53	4.14	6.69	0.58	0.32	1.25	0.72	0.03	0.08	0.26
21	5.18～5.24	412	0.13	260	0.07	0.70	4.12	7.24	0.49	0.57	1.12	0.80	0.02	0.19	0.28
22	5.25～5.31	415	0.09	261	0.06	0.93	4.24	7.32	0.66	1.03	1.20	0.84	0.04	0.21	0.26
23	6.1～6.7	414	0.08	263	0.03	0.87	3.97	6.98	0.66	1.33	0.91	0.73	0.03	0.33	0.33
24	6.8～6.14	416	0.02	263	0.06	0.76	4.10	7.44	0.48	1.86	1.25	0.80	0.03	0.38	0.30
25	6.15～6.21	414	0.05	261	0.05	0.74	3.62	6.66	0.61	2.76	1.27	0.77	0.05	0.60	0.30
26	6.22～6.28	414	0.03	261	0.03	0.72	3.71	6.43	0.57	4.44	1.52	0.87	0.04	1.03	0.31
27	6.29～7.5	412	0.02	262	0.04	0.70	3.18	5.77	0.43	5.88	1.20	0.71	0.04	1.26	0.34
28	7.6～7.12	416	0.02	263	0.03	0.78	3.39	5.68	0.53	10.34	1.40	0.67	0.03	2.74	0.37
29	7.13～7.19	410	0.02	259	0.06	0.68	2.75	4.88	0.47	15.24	1.47	0.66	0.05	3.34	0.42
30	7.20～7.26	413	0.02	262	0.09	0.45	1.93	3.75	0.44	13.84	0.89	0.60	0.01	3.07	0.34
31	7.27～8.2	410	0.03	261	0.10	0.57	1.79	4.08	0.35	14.09	0.60	0.69	0.05	3.09	0.37
32	8.3～8.9	408	0.01	258	0.22	0.51	1.42	3.58	0.36	11.47	0.64	0.64	0.02	2.51	0.36
33	8.10～8.16	374	0.01	231	0.15	0.44	0.93	2.51	0.21	6.65	0.31	0.52	0.00	1.48	0.27
34	8.17～8.23	387	0.01	243	0.28	0.49	0.97	3.24	0.23	5.19	0.46	0.51	0.01	1.16	0.37
35	8.24～8.30	408	0.00	256	0.41	0.38	1.13	3.28	0.22	5.48	0.42	0.70	0.01	1.25	0.41
36	8.31～9.6	414	0.05	261	0.66	0.36	1.41	3.76	0.18	4.59	0.54	0.69	0.03	1.11	0.31
37	9.7～9.13	414	0.07	261	0.95	0.33	1.45	3.71	0.21	4.57	0.41	0.61	0.03	0.95	0.36
38	9.14～9.20	399	0.06	252	1.39	0.25	1.58	3.86	0.38	4.50	0.43	0.70	0.02	0.95	0.29
39	9.21～9.27	411	0.04	260	0.80	0.18	0.67	1.99	0.28	2.28	0.20	0.36	0.01	0.34	0.30
40	9.28～10.4	412	0.07	260	1.17	0.32	1.67	3.50	0.34	2.38	0.37	0.59	0.02	0.39	0.56
41	10.5～10.11	412	0.09	261	1.52	0.33	1.68	3.51	0.30	1.52	0.29	0.54	0.03	0.23	0.50
42	10.12～10.18	410	0.08	259	1.40	0.22	1.61	3.35	0.29	0.83	0.27	0.52	0.02	0.14	0.48
43	10.19～10.25	414	0.12	261	1.47	0.25	2.07	4.56	0.41	0.69	0.31	0.56	0.04	0.18	0.60
44	10.26～11.1	411	0.14	261	1.38	0.26	1.95	5.21	0.39	0.54	0.46	0.60	0.03	0.10	0.55
45	11.2～11.8	408	0.19	259	1.36	0.28	2.20	5.39	0.47	0.38	0.34	0.46	0.01	0.07	0.59
46	11.9～11.15	411	0.15	259	1.20	0.34	2.53	7.22	0.55	0.22	0.34	0.55	0.03	0.04	0.54
47	11.16～11.22	410	0.24	259	1.29	0.42	2.79	7.97	0.54	0.37	0.51	0.62	0.05	0.04	0.57
48	11.23～11.29	411	0.18	260	1.19	0.38	2.47	7.59	0.64	0.22	0.36	0.53	0.02	0.05	0.66
49	11.30～12.6	413	0.19	259	1.35	0.47	3.27	12.03	0.82	0.16	0.48	0.55	0.01	0.06	0.60
50	12.7～12.13	414	0.44	261	1.36	0.52	3.29	14.31	0.77	0.11	0.41	0.43	0.02	0.04	0.59
51	12.14～12.20	414	0.56	261	1.06	0.56	4.02	15.16	1.02	0.10	0.39	0.51	0.02	0.05	0.75
52	12.21～12.27	413	0.74	261	1.06	0.51	3.21	12.95	0.90	0.05	0.44	0.37	0.01	0.02	0.59
53	12.28～1.3	391	0.43	243	0.47	0.23	1.13	4.84	0.40	0.01	0.19	0.22		0.01	0.26
	平均		2.74		0.52	0.39	2.54	6.61	0.49	2.38	0.74	0.57	0.02	0.53	0.36

表4-2(2) 週別定点当たり患者報告数(小児科・眼科・基幹) 2015年第1週~第53週

週	期間	報告定点数 (小児科)	不明発しん症	川崎病	報告定点数 (眼科)	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	報告定点数(基幹)					報告定点数 (基幹)	インフルエンザ入院	
								細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	感染性胃腸炎 (ロタウイルスによる)			
1	12.29~ 1. 4	210	0.01	0.00	31		0.23	25	0.04		0.04		0.04	25	2.80
2	1. 5~ 1.11	260	0.08	0.01	39		0.62	25		0.12	0.20		0.08	25	3.32
3	1.12~ 1.18	263	0.02	0.02	39	0.03	0.44	25	0.04	0.04	0.24		0.24	25	2.88
4	1.19~ 1.25	263	0.03	0.02	39		0.21	25	0.04	0.08	0.12		0.24	25	2.64
5	1.26~ 2. 1	263	0.03	0.02	39	0.03	0.26	25		0.04	0.16	0.04	0.08	25	1.32
6	2. 2~ 2. 8	261	0.05	0.03	39		0.26	25		0.04	0.12	0.04	0.04	25	0.92
7	2. 9~ 2.15	260	0.04	0.01	38		0.18	25	0.08	0.16	0.28		0.20	25	0.68
8	2.16~ 2.22	261	0.04	0.00	39		0.18	25	0.04	0.04	0.24		0.12	25	0.64
9	2.23~ 3. 1	263	0.06	0.02	39		0.31	25	0.04	0.04	0.48		0.08	25	0.64
10	3. 2~ 3. 8	262	0.05	0.02	39	0.03	0.41	25		0.04	0.04	0.16	0.24	25	0.48
11	3. 9~ 3.15	260	0.05	0.03	39		0.38	25		0.04	0.12	0.04	0.08	25	0.28
12	3.16~ 3.22	263	0.06	0.02	38		0.29	25	0.08	0.04	0.20	0.12	0.12	25	0.56
13	3.23~ 3.29	262	0.03	0.01	39		0.49	25			0.04	0.04	0.24	25	0.12
14	3.30~ 4. 5	262	0.06	0.01	39		0.51	25		0.04			0.16	25	0.60
15	4. 6~ 4.12	263	0.07	0.02	39		0.36	25		0.04	0.08		0.20	25	0.24
16	4.13~ 4.19	264	0.11	0.01	39	0.03	0.49	25		0.04	0.24		0.20	25	
17	4.20~ 4.26	262	0.10	0.01	39		0.56	25	0.12		0.32	0.04	0.16	25	0.12
18	4.27~ 5. 3	255	0.06	0.01	37		0.49	25	0.04		0.12	0.04	0.16	25	0.08
19	5. 4~ 5.10	264	0.08	0.02	39		0.31	25	0.12		0.20	0.04	0.28	25	0.04
20	5.11~ 5.17	264	0.04	0.01	39		0.64	25		0.04	0.20		0.08	25	0.04
21	5.18~ 5.24	260	0.05	0.00	39		0.28	25	0.08		0.20		0.16	25	
22	5.25~ 5.31	261	0.11	0.01	38		0.47	25	0.04	0.04	0.32	0.04		25	
23	6. 1~ 6. 7	263	0.10	0.02	39	0.03	0.49	25	0.08		0.24		0.08	25	0.08
24	6. 8~ 6.14	263	0.12	0.02	39		0.64	25		0.08	0.20		0.04	25	
25	6.15~ 6.21	261	0.09	0.01	39	0.05	0.54	25		0.04	0.32			25	
26	6.22~ 6.28	261	0.17	0.02	39		0.54	25		0.08	0.08		0.04	25	
27	6.29~ 7. 5	262	0.11		38		0.79	25			0.32	0.08		25	
28	7. 6~ 7.12	263	0.17	0.03	39	0.05	0.62	25		0.08	0.32	0.04	0.04	25	0.04
29	7.13~ 7.19	259	0.20	0.02	39		0.92	25	0.08	0.04	0.40	0.04		25	
30	7.20~ 7.26	262	0.22	0.03	39		0.67	25	0.08	0.20	0.32			25	0.04
31	7.27~ 8. 2	261	0.17	0.01	39		0.97	25		0.04	0.48	0.08		25	
32	8. 3~ 8. 9	258	0.14	0.03	38	0.03	0.74	25	0.08	0.04	0.36	0.04		25	
33	8.10~ 8.16	231	0.07	0.00	36		0.58	25		0.04	0.84	0.04		25	0.04
34	8.17~ 8.23	243	0.11	0.01	39		1.08	25		0.08	1.04	0.04		25	0.08
35	8.24~ 8.30	256	0.20	0.01	39		0.67	25	0.08	0.04	0.56	0.12		25	
36	8.31~ 9. 6	261	0.19	0.01	39	0.03	0.72	25		0.20	0.44	0.24		25	
37	9. 7~ 9.13	261	0.22	0.01	39		1.08	25		0.08	0.68			25	
38	9.14~ 9.20	252	0.21	0.00	37		1.11	25			0.96	0.08		25	0.04
39	9.21~ 9.27	260	0.11	0.00	39		0.64	25	0.08	0.08	0.88	0.04		25	
40	9.28~10. 4	260	0.15	0.02	39		1.18	25	0.08		1.44	0.16	0.08	25	
41	10. 5~10.11	261	0.13	0.01	39		1.08	25	0.04	0.12	1.72	0.12	0.04	25	
42	10.12~10.18	259	0.07	0.01	39	0.03	0.62	25		0.08	0.88			25	
43	10.19~10.25	261	0.12	0.00	39		0.85	25		0.04	1.92			25	
44	10.26~11. 1	261	0.12	0.01	39		1.18	25		0.08	1.24	0.08	0.04	25	
45	11. 2~11. 8	259	0.10	0.03	39	0.03	0.69	25		0.08	1.04		0.08	25	
46	11. 9~11.15	259	0.07	0.01	39		0.77	25		0.04	1.60	0.12	0.04	25	0.04
47	11.16~11.22	259	0.10	0.02	39		0.97	25		0.24	1.32	0.16		25	0.08
48	11.23~11.29	260	0.10	0.01	39		1.03	25		0.04	1.16			25	0.04
49	11.30~12. 6	259	0.05	0.02	39	0.03	0.74	25	0.08	0.04	1.60	0.08	0.08	25	0.08
50	12. 7~12.13	261	0.06	0.01	38		0.63	24		0.08	1.25	0.08	0.04	25	
51	12.14~12.20	261	0.07	0.02	38		0.84	25	0.04		1.28	0.04	0.04	25	0.08
52	12.21~12.27	261	0.08	0.03	39		0.54	25	0.04		1.20	0.08	0.08	25	0.28
53	12.28~ 1. 3	243	0.02	0.01	37		0.24	25	0.04	0.04	0.80		0.04	25	0.12
平均			0.10	0.01		0.01	0.61		0.03	0.05	0.58	0.04	0.07		0.37

表5-1(1) 保健所別患者報告数(インフルエンザ・小児科) 2015年第1週~第53週

	設置定点数(インフルエンザ)	インフルエンザ	設置定点数(小児科)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
千代田	4	480	3	33	13	27	265	24	140	53	33	2	34
中央区	5	695	3	61	98	281	980	54	640	58	122		122
みなと	9	1,057	6	351	312	717	1,852	106	796	161	212	15	137
新宿区	12	1,196	8	471	110	651	1,562	84	712	108	187	6	151
文京	7	736	4	45	74	200	923	212	487	104	161	1	53
台東	7	876	4	72	151	367	2,178	102	697	199	167	2	121
墨田区	8	1,351	5	143	62	687	1,069	100	580	173	155		179
江東区	14	1,896	9	302	121	1,548	5,836	367	1,921	363	366	4	340
品川区	12	1,011	8	143	136	810	2,688	126	869	134	254	3	222
目黒区	8	626	5	166	87	536	1,780	72	817	115	132		164
大田区	21	2,548	13	512	696	2,098	6,413	314	1,767	468	436	26	460
世田谷	25	3,837	16	419	357	2,292	5,726	462	1,650	387	354	3	432
渋谷区	7	645	4	35	14	109	986	77	365	71	85		26
中野区	11	1,174	7	66	40	330	2,828	87	810	296	183		165
杉並	16	2,042	10	143	132	813	2,885	121	788	286	186	1	137
池袋	8	940	5	192	41	210	612	42	258	57	28	3	67
北区	11	1,554	7	73	45	492	2,145	96	1,048	261	244		145
荒川区	7	1,066	4	394	197	927	1,444	178	738	341	212	22	161
板橋区	16	1,532	10	66	36	333	1,990	147	715	450	202	19	144
練馬区	21	2,366	13	226	179	1,952	3,561	360	1,709	669	373	1	363
足立	20	2,714	13	319	253	1,526	5,176	317	1,420	537	349	6	338
葛飾区	13	2,515	8	104	97	725	3,245	187	545	264	250	3	248
江戸川	19	2,995	12	256	333	1,856	4,652	259	1,306	342	313	28	439
八王子市	18	3,706	11	649	315	2,458	6,530	562	2,208	619	417	67	339
町田市	13	2,711	8	84	27	2,157	3,989	344	979	353	254		309
西多摩	14	2,091	8	102	150	661	1,840	142	647	182	144	8	111
南多摩	14	2,618	9	347	140	1,473	2,728	260	1,509	665	330	3	224
多摩立川	21	3,047	14	344	103	2,134	3,933	375	1,326	641	292	12	342
多摩府中	33	5,251	21	411	481	2,586	6,119	613	2,424	1,015	784	44	706
多摩小平	23	3,753	15	661	578	4,065	5,117	535	2,671	802	588	21	516
島しょ	2	406	1	7	7	18		40	57		3		5
合計	419	59,435	264	7,197	5,385	35,039	91,052	6,765	32,599	10,174	7,816	300	7,200
定点当たり報告数		145.11		27.82	20.77	134.57	350.13	26.04	126.39	39.08	30.10	1.15	27.91
前年定点当たり報告数		367.55		23.70	21.54	105.60	322.84	39.69	23.44	19.44	31.18	0.61	61.25
当年/前年		0.39		1.17	0.96	1.27	1.08	0.66	5.39	2.01	0.97	1.89	0.46

表5-1(2) 保健所別患者報告数(小児科・眼科・基幹) 2015年第1週~第53週

	小児科				眼科			基幹						
	設置定点数	流行性耳下腺炎	不明発しん症	川崎病	設置定点数	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	設置定点数	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	感染性胃腸炎 (ロタウイルスによる)	インフルエンザ入院
千代田	3	17	8	9				2			43		3	25
中央区	3	24		2	1		116							
みなと	6	114	10	17				1	5		48	31		33
新宿区	8	36	23	25	2		32	2	4	10	88	1	8	42
文京	4	64	2	1	1		56	1			4			18
台東	4	101	42	2										
墨田区	5	175	69	2	1		21	1	7	1	34		2	24
江東区	9	277	22	14	1		48							
品川区	8	53	18	1	1	1	14							
目黒区	5	22	19	4	1		2							
大田区	13	94	95	12	2		86	1						
世田谷	16	108	121	13	2	3	46	2	8	26	24		17	47
渋谷区	4	9	1		1		65	1	1		47		25	38
中野区	7	33	29	2	1		20							
杉並	10	26	20	22	1		43	2						
池袋	5	43	4	3	1	1	45	1	1	3	32	1		9
北区	7	162	16	3	1		19							
荒川区	4	129	11	4	1		60							
板橋区	10	174	43	1	2	4	57	1			40		7	22
練馬区	13	347	34	7	2		48							
足立	13	311	29	1	2	1	119							
葛飾区	8	90	54	6	1	1	43	1	1		124	22	11	45
江戸川	12	580	41	10	2		38							
八王子市	11	441	163	2	2		59	1			30			22
町田市	8	99	179	5	1									
西多摩	8	358	7	2	1		11	1			60			1
南多摩	9	134	11	4	1		9							
多摩立川	14	134	31	5	2	2	16	1			32	4	6	5
多摩府中	21	329	111	13	3	1	48	3	8	24	108		20	88
多摩小平	15	395	99	7	2		135	2	4	8	56			66
島しょ	1	4						1						1
合計	264	4,883	1,312	199	39	14	1,256	25	39	72	770	59	99	486
定点当たり報告数		18.83	5.06	0.77		0.36	32.49		1.56	2.88	30.85	2.36	3.96	19.44
前年定点当たり報告数		11.57	4.45	0.69		0.34	23.79		0.88	4.09	9.37	0.84	5.36	29.40
当年/前年		1.63	1.14	1.12		1.05	1.37		1.77	0.70	3.29	2.81	0.74	0.66

表5-2(1) 保健所別定点当たり患者報告数(インフルエンザ・小児科)

2015年第1週~第53週

	設置 定点数 (インフル エンザ)	イン フル エン ザ	設置 定点数 (小児 科)	R S ウ イ ル ス 感 染 症	咽 頭 結 膜 熱	A 群 溶 血 性 レ ン サ 球 菌 咽 頭 炎	感 染 性 胃 腸 炎	水 痘	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	百 日 咳	ヘ ル パ ン ギ ー ナ
千代田	4	120.00	3	11.00	4.33	9.00	88.33	8.00	46.67	17.67	11.00	0.67	11.33
中央区	5	150.75	3	20.83	33.00	95.33	328.17	18.33	219.17	19.50	41.17		43.83
みなと	9	117.44	6	58.48	51.74	119.19	307.83	17.60	131.64	26.69	35.24	2.48	22.71
新宿区	12	99.67	8	58.98	13.79	81.61	195.43	10.52	89.41	13.61	23.50	0.75	18.96
文京	7	105.14	4	11.25	18.58	50.17	231.50	53.83	121.75	26.08	40.58	0.25	13.25
台東	7	126.21	4	18.00	37.60	91.20	541.90	25.40	174.25	49.50	41.55	0.50	30.25
墨田区	8	168.88	5	28.60	12.40	137.40	213.80	20.00	116.00	34.60	31.00		35.80
江東区	14	135.43	9	33.98	13.67	172.54	651.79	41.19	217.51	40.54	40.96	0.44	38.96
品川区	12	84.26	8	17.91	17.07	101.41	336.50	15.75	108.89	16.79	31.82	0.38	27.82
目黒区	8	79.09	5	33.35	17.45	107.50	357.55	14.60	165.25	23.05	26.65		33.25
大田区	21	130.51	13	40.01	54.28	162.62	498.41	24.32	141.05	36.31	34.02	2.03	36.53
世田谷	25	153.62	16	26.70	22.61	144.53	361.24	29.05	106.96	24.52	22.46	0.22	27.71
渋谷区	7	92.56	4	8.75	3.50	27.25	246.50	19.25	91.25	17.75	21.25		6.50
中野区	11	117.40	7	11.00	6.67	55.00	471.33	14.50	135.00	49.33	30.50		27.50
杉並	16	128.14	10	14.01	12.46	75.98	274.11	11.36	74.67	26.70	17.68	0.09	12.78
池袋	8	120.58	5	47.30	9.92	49.20	141.43	9.75	64.53	13.40	6.45	0.70	16.67
北区	11	143.28	7	10.60	6.48	70.44	308.24	13.71	151.14	37.39	35.25		20.83
荒川区	7	152.29	4	98.67	49.25	232.67	363.25	44.75	194.42	86.58	53.33	5.50	43.58
板橋区	16	95.75	10	6.60	3.60	33.30	199.00	14.70	71.50	45.00	20.20	1.90	14.40
練馬区	21	115.80	13	18.26	14.04	151.31	276.65	27.74	135.95	52.04	29.15	0.08	29.23
足立	20	138.10	13	24.72	19.77	118.55	401.92	24.51	111.18	41.60	27.11	0.51	26.43
葛飾区	13	202.23	8	13.04	12.25	90.67	409.42	23.42	69.50	33.42	31.38	0.38	31.46
江戸川	19	161.45	12	22.21	28.85	158.54	397.99	22.33	113.86	29.41	26.91	2.44	38.33
八王子市	18	213.36	11	59.46	29.13	225.39	598.44	51.61	203.01	56.73	38.37	6.17	31.20
町田市	13	221.59	8	11.67	3.41	276.88	521.23	44.60	129.33	45.51	33.03		40.93
西多摩	14	149.36	8	12.75	18.75	82.63	230.00	17.75	80.88	22.75	18.00	1.00	13.88
南多摩	14	194.82	9	38.83	15.56	164.06	303.78	29.00	167.67	74.06	36.72	0.33	24.89
多摩立川	21	145.10	14	24.57	7.36	152.43	280.93	26.79	94.71	45.79	20.86	0.86	24.43
多摩府中	33	167.44	21	21.18	24.57	131.16	310.54	31.11	123.01	51.27	39.83	2.23	35.53
多摩小平	23	163.20	15	44.26	38.57	271.70	342.00	35.78	178.60	53.64	39.36	1.40	34.51
島しょ	2	203.00	1	7.00	7.00	18.00		40.00	57.00		3.00		5.00
定点当たり報告数		145.11		27.82	20.77	134.57	350.13	26.04	126.39	39.08	30.10	1.15	27.91
前年定点当たり報告数		367.55		23.70	21.54	105.60	322.84	39.69	23.44	19.44	31.18	0.61	61.25
当年/前年		0.39		1.17	0.96	1.27	1.08	0.66	5.39	2.01	0.97	1.89	0.46

表5-2(2) 保健所別定点当たり患者報告数(小児科・眼科・基幹)

2015年第1週～第53週

	設置定点数 (小児科)	流行性耳下腺炎	不明発しん症	川崎病		設置定点数 (眼科)	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎		設置定点数 (基幹)	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	(オウム病を除く) クラミジア肺炎	(ロタウイルスによる) 感染性胃腸炎	インフルエンザ入院
千代田	3	5.67	2.67	3.00						2			21.50		1.50	12.50
中央区	3	8.33		0.67		1		116.00								
みなの	6	18.95	1.67	2.83						1	5.00		48.00	31.00		33.00
新宿区	8	4.52	2.88	3.13		2		16.00		2	2.00	5.00	44.00	0.50	4.00	21.00
文京	4	16.25	0.50	0.25		1		56.00		1			4.00			18.00
台東	4	25.25	10.50	0.50												
墨田区	5	35.00	13.80	0.40		1		21.00		1	7.00	1.00	34.00		2.00	24.00
江東区	9	31.04	2.44	1.57		1		48.00								
品川区	8	6.63	2.25	0.13		1	1.00	14.00								
目黒区	5	4.45	3.80	0.80		1		2.00								
大田区	13	7.31	7.39	0.94		2		43.50		1						
世田谷	16	6.82	7.69	0.81		2	1.50	23.50		2	4.00	13.00	12.00		8.50	23.50
渋谷区	4	2.25	0.25			1		65.00		1	1.00		47.00		25.00	38.00
中野区	7	5.50	4.83	0.33		1		20.00								
杉並	10	2.48	1.92	2.04		1		43.00		2						
池袋	5	10.25	1.00	0.75		1	1.00	45.00		1	1.00	3.00	32.00	1.00		9.00
北区	7	23.17	2.29	0.43		1		19.00								
荒川区	4	32.75	2.75	1.00		1		60.00								
板橋区	10	17.40	4.30	0.10		2	2.00	28.50		1			40.00		7.00	22.00
練馬区	13	27.04	2.67	0.54		2		24.00								
足立	13	24.19	2.26	0.08		2	0.50	59.50								
葛飾区	8	11.29	6.75	0.75		1	1.00	43.00		1	1.00		124.00	22.00	11.00	45.00
江戸川	12	50.22	3.55	0.87		2		19.00								
八王子市	11	40.38	14.95	0.18		2		29.50		1			30.00			22.00
町田市	8	12.81	22.98	0.66		1										
西多摩	8	44.75	0.88	0.25		1		11.00		1			60.00			1.00
南多摩	9	14.89	1.22	0.44		1		9.00								
多摩立川	14	9.57	2.21	0.36		2	1.00	8.00		1			32.00	4.00	6.00	5.00
多摩府中	21	16.85	5.65	0.66		3	0.33	16.33		3	2.67	8.00	36.00		6.67	29.33
多摩小平	15	26.38	6.62	0.47		2		67.50		2	2.00	4.00	28.00			33.00
島しょ	1	4.00								1						1.00
定点当たり報告数		18.83	5.06	0.77			0.36	32.49			1.56	2.88	30.85	2.36	3.96	19.44
前年定点当たり報告数		11.57	4.45	0.69			0.34	23.79			0.88	4.09	9.37	0.84	5.36	29.40
当年/前年		1.63	1.14	1.12			1.05	1.37			1.77	0.70	3.29	2.81	0.74	0.66

表6 年齢階級別患者報告数(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹) 2015年第1週～第53週

	インフルエンザ	R 感染症 S ウイルス	咽頭結膜熱	A 球菌 溶血性 咽頭炎 レンサ	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ
6か月未満	171	960	24	14	811	68	259	9	130	14	50
12か月未満	641	1,643	407	123	5,749	255	3,235	121	2,540	19	738
1歳	2,303	2,825	1,249	938	12,755	508	10,477	484	3,983	18	2,106
2歳	2,522	1,111	741	1,770	9,022	510	6,469	693	774	9	1,387
3歳	2,521	380	778	3,149	8,291	692	4,089	1,203	206	9	912
4歳	3,315	171	666	4,544	8,035	1,060	2,885	1,698	89	6	687
5歳	3,598	60	473	4,822	6,843	976	1,860	1,721	36	10	461
6歳	3,815	19	324	4,605	5,525	874	1,012	1,383	21	9	278
7歳	3,455	6	192	3,866	4,695	704	620	949	10	15	171
8歳	2,858	4	112	2,898	4,152	461	446	718	10	11	112
9歳	2,488	2	87	2,180	3,362	238	250	467	5	22	87
10～14歳	8,790	8	148	3,831	8,620	338	440	535	7	53	109
15～19歳	2,919	1	19	318	2,036	22	50	7		11	16
20～29歳	3,622	7	165	1,981	11,156	59	507	186	5	94	86
30～39歳	5,125										
40～49歳	5,344										
50～59歳	2,741										
60～69歳	1,593										
70～79歳	1,046										
80歳以上	568										
合計	59,435	7,197	5,385	35,039	91,052	6,765	32,599	10,174	7,816	300	7,200

	流行性 耳下腺炎	不明 発しん 症	川崎 病	急性 出血性 結膜炎	流行 性角 結膜炎	細菌 性髄 膜炎	無菌 性髄 膜炎	マイ コプ ラズ マ肺 炎	(オウ ム病 を除 く) クラ ミジ ア肺 炎	感 染性 胃腸 炎 (ロ タウ イル ス)	イン フル エン ザ入 院
6か月未満	3	42	9		10	10	28	2	1	11	15
12か月未満	15	198	32		13	2	1			13	8
1歳	121	422	67		44	1	3	19		22	16
2歳	230	171	26		44	1	2	32		14	10
3歳	439	105	24	1	25		1	42		14	9
4歳	689	102	18		27		1	54		12	7
5歳	769	63	4		31	1	1	42		7	8
6歳	644	47	3		27			68		2	7
7歳	636	42	8	1	16	1	1	59		1	8
8歳	464	33	2		17		2	62			4
9歳	301	13	2	1	10		1	63		1	5
10～14歳	435	39	3	1	32	3	5	169	1		25
15～19歳	34	5	1		37		1	31	2	1	6
20～29歳	103	30		4	152		8	32			9
30～39歳				3	304	2	7	31	3		11
40～49歳				1	221	4	3	20	7		7
50～59歳					108	2	2	5	4		17
60～69歳				1	63	10		14	3		51
70～79歳				1	75	1	4	15	20	1	98
80歳以上						1	1	10	18		165
合計	4,883	1,312	199	14	1,256	39	72	770	59	99	486

注：小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読みかえる。

注：眼科定点把握対象疾患の「70～79歳」は「70歳以上」と読みかえる。

表7-1 二次医療圏別患者報告数(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹)

2015年第1週～第53週

	設置 定点 数 (イン フル エン ザ)	イン フル エン ザ	設置 定点 数 (小 児 科)	R S ウ イ ル ス 感 染 症	咽 頭 結 膜 熱	A 咽 頭 炎 群 溶 血 性 レ ン サ 球 菌	感 染 性 胃 腸 炎	水 痘	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	百 日 咳	ヘル パン ギ ー ナ
1 区中央部圏	32	3,844	20	562	648	1,592	6,198	498	2,760	575	695	20	467
2 区南部圏	33	3,559	21	655	832	2,908	9,101	440	2,636	602	690	29	682
3 区西南部圏	40	5,108	25	620	458	2,937	8,492	611	2,832	573	571	3	622
4 区西部圏	39	4,412	25	680	282	1,794	7,275	292	2,310	690	556	7	453
5 区西北部圏	56	6,392	35	557	301	2,987	8,308	645	3,730	1,437	847	23	719
6 区東北部圏	40	6,295	25	817	547	3,178	9,865	682	2,703	1,142	811	31	747
7 区東部圏	41	6,242	26	701	516	4,091	11,557	726	3,807	878	834	32	958
8 西多摩圏	14	2,091	8	102	150	661	1,840	142	647	182	144	8	111
9 南多摩圏	45	9,035	28	1080	482	6,088	13,247	1,166	4,696	1,637	1,001	70	872
10 北多摩西部圏	21	3,047	14	344	103	2,134	3,933	375	1,326	641	292	12	342
11 北多摩南部圏	33	5,251	21	411	481	2,586	6,119	613	2,424	1,015	784	44	706
12 北多摩北部圏	23	3,753	15	661	578	4,065	5,117	535	2,671	802	588	21	516
13 島しょ圏	2	406	1	7	7	18		40	57		3		5
合 計	419	59,435	264	7,197	5,385	35,039	91,052	6,765	32,599	10,174	7,816	300	7,200

	設置 定点 数 (小 児 科)	流 行 性 耳 下 腺 炎	不 明 発 し ん 症	川 崎 病	設置 定点 数 (眼 科)	急 性 出 血 性 結 膜 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	設置 定点 数 (基 幹)	細 菌 性 髄 膜 炎	無 菌 性 髄 膜 炎	マイ コ プ ラ ズ マ 肺 炎	(オ ウ ム 病 を 除 く) ク ラ ミ ジ ア 肺 炎	(ロ タ ウ イ ル ス に よ る) 感 染 性 胃 腸 炎	イン フル エン ザ 入 院
1 区中央部圏	20	320	62	31	2		172	4	5		95	31	3	76
2 区南部圏	21	147	113	13	3	1	100	1						
3 区西南部圏	25	139	141	17	4	3	113	3	9	26	71		42	85
4 区西部圏	25	95	72	49	4		95	4	4	10	88	1	8	42
5 区西北部圏	35	726	97	14	6	5	169	2	1	3	72	1	7	31
6 区東北部圏	25	530	94	11	4	2	222	1	1		124	22	11	45
7 区東部圏	26	1,032	132	26	4		107	1	7	1	34		2	24
8 西多摩圏	8	358	7	2	1		11	1			60			1
9 南多摩圏	28	674	353	11	4		68	1			30			22
10 北多摩西部圏	14	134	31	5	2	2	16	1			32	4	6	5
11 北多摩南部圏	21	329	111	13	3	1	48	3	8	24	108		20	88
12 北多摩北部圏	15	395	99	7	2		135	2	4	8	56			66
13 島しょ圏	1	4						1						1
合 計	264	4,883	1,312	199	39	14	1,256	25	39	72	770	59	99	486

表7-2 二次医療圏別定点当たり患者報告数(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹)

2015年第1週～第53週

	設置 定点数 (イン フル エン ザ)	イン フル エン ザ	設置 定点数 (小児 科)	R S ウ イ ル ス 感 染 症	咽 頭 結 膜 熱	A 咽 頭 炎 群 溶 血 性 レ ン サ 球 菌	感 染 性 胃 腸 炎	水 痘	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	百 日 咳	ヘル パン ギ ー ナ
1 区中央部圏	32	121.31	20	28.13	32.42	79.64	309.97	24.94	138.13	28.70	34.80	1.00	23.40
2 区南部圏	33	112.65	21	31.59	39.97	139.21	436.24	21.08	128.16	28.83	33.22	1.39	33.12
3 区西南部圏	40	128.42	25	25.11	18.50	118.18	341.80	24.59	115.93	23.10	23.09	0.13	25.38
4 区西部圏	39	117.63	25	28.15	11.46	72.80	297.33	11.89	93.94	27.95	22.60	0.29	18.42
5 区西北部圏	56	116.65	35	16.48	8.88	87.53	243.96	18.98	110.97	42.02	24.97	0.67	21.43
6 区東北部圏	40	161.51	25	33.13	22.13	127.91	398.37	27.47	110.32	46.22	32.75	1.27	30.52
7 区東部圏	41	153.70	26	27.55	20.24	159.18	450.16	28.45	150.57	34.26	32.59	1.26	37.97
8 西多摩圏	14	149.36	8	12.75	18.75	82.63	230.00	17.75	80.88	22.75	18.00	1.00	13.88
9 南多摩圏	45	209.78	28	39.29	17.49	219.80	479.51	42.28	170.96	59.04	36.29	2.52	31.69
10 北多摩西部圏	21	145.10	14	24.57	7.36	152.43	280.93	26.79	94.71	45.79	20.86	0.86	24.43
11 北多摩南部圏	33	167.44	21	21.18	24.57	131.16	310.54	31.11	123.01	51.27	39.83	2.23	35.53
12 北多摩北部圏	23	163.20	15	44.26	38.57	271.70	342.00	35.78	178.60	53.64	39.36	1.40	34.51
13 島しょ圏	2	203.00	1	7.00	7.00	18.00		40.00	57.00		3.00		5.00

	設置 定点数 (小児 科)	流 行 性 耳 下 腺 炎	不 明 発 し ん 症	川 崎 病	設置 定点数 (眼 科)	急 性 出 血 性 結 膜 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	設置 定点数 (基 幹)	細 菌 性 髄 膜 炎	無 菌 性 髄 膜 炎	マイ コ プ ラ ズ マ 肺 炎	ク ラ ミ ジ ア 肺 炎 (オ ウ ム 病 を 除 く)	感 染 性 胃 腸 炎 (ロ タ ウ イ ル ス に よ る)	イン フル エン ザ 入 院
1 区中央部圏	20	16.04	3.11	1.55	2		86.00	4	1.25		23.75	7.75	0.75	19.00
2 区南部圏	21	7.05	5.42	0.63	3	0.33	33.50	1						
3 区西南部圏	25	5.59	5.70	0.69	4	0.75	28.50	3	3.00	8.67	23.67		14.00	28.33
4 区西部圏	25	3.93	2.92	2.02	4		24.00	4	1.00	2.58	22.58	0.25	2.00	10.50
5 区西北部圏	35	21.42	2.85	0.41	6	0.83	28.37	2	0.50	1.50	36.00	0.50	3.50	15.50
6 区東北部圏	25	21.44	3.78	0.44	4	0.50	55.67	1	1.00		124.00	22.00	11.00	45.00
7 区東部圏	26	40.46	5.17	1.02	4		26.75	1	7.00	1.00	34.00		2.00	24.00
8 西多摩圏	8	44.75	0.88	0.25	1		11.00	1			60.00			1.00
9 南多摩圏	28	24.38	12.74	0.40	4		17.00	1			30.00			22.00
10 北多摩西部圏	14	9.57	2.21	0.36	2	1.00	8.00	1			32.00	4.00	6.00	5.00
11 北多摩南部圏	21	16.85	5.65	0.66	3	0.33	16.33	3	2.67	8.00	36.00		6.67	29.33
12 北多摩北部圏	15	26.38	6.62	0.47	2		67.50	2	2.00	4.00	28.00			33.00
13 島しょ圏	1	4.00						1						1.00

表8-1 月別患者報告数(基幹)

2015年1月~12月

	報告定点数	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	薬剤耐性緑膿菌感染症
1月	25	79	15	2
2月	24	76	22	1
3月	25	66	6	4
4月	25	83	19	1
5月	25	70	20	1
6月	25	68	23	
7月	25	94	9	6
8月	25	71	17	1
9月	25	59	10	2
10月	25	61	7	3
11月	25	71	5	3
12月	25	79	5	4
合計		877	158	28

表8-2 月別定点当たり患者報告数(基幹)

2015年1月~12月

	報告定点数	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	薬剤耐性緑膿菌感染症
1月	25	3.16	0.60	0.08
2月	24	3.17	0.92	0.04
3月	25	2.64	0.24	0.16
4月	25	3.32	0.76	0.04
5月	25	2.80	0.80	0.04
6月	25	2.72	0.92	
7月	25	3.76	0.36	0.24
8月	25	2.84	0.68	0.04
9月	25	2.36	0.40	0.08
10月	25	2.44	0.28	0.12
11月	25	2.84	0.20	0.12
12月	25	3.16	0.20	0.16
平均		2.93	0.53	0.09

表8-3 月別・性別患者報告数(基幹) 2015年1月~12月

	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	男	女	男	女	男	女
1月	56	23	8	7	1	1
2月	49	27	18	4	1	
3月	47	19	5	1	2	2
4月	58	25	10	9	1	
5月	45	25	11	9		1
6月	44	24	13	10		
7月	60	34	6	3	3	3
8月	45	26	11	6	1	
9月	34	25	4	6	2	
10月	35	26	2	5	1	2
11月	44	27	4	1	3	
12月	58	21	2	3	2	2
合計	575	302	94	64	17	11

表8-4 性別・年齢階級別患者報告数(基幹) 2015年1月~12月

	メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症		薬剤耐性 緑膿菌感染症	
	男	女	男	女	男	女
0歳	120	48	11	6		
1~4歳	61	67	27	23	1	
5~9歳	17	9	7	2		
10~14歳	21	3	3			
15~19歳	12	3				
20~24歳	3	2	6	1	2	1
25~29歳	2	1	2		1	
30~34歳	6	3		1		
35~39歳	7	5		2		
40~44歳	8	6	1	1	1	
45~49歳	22	4		2		
50~54歳	9	7		1		
55~59歳	20	4	3			
60~64歳	15	8	3		2	
65~69歳	25	20	3	2		2
70歳以上	227	112	28	23	10	8
合計	575	302	94	64	17	11
定点当たり報告数	23.08	12.13	3.79	2.57	0.68	0.44
前年定点当たり報告数	21.81	14.63	4.85	2.62	0.64	0.20
当年/前年	1.06	0.83	0.78	0.98	1.07	2.18

表9-1 月別患者報告数(性感染症)

2015年1月~12月

報告定点数	性器クラミジア感染症	性器ヘルペスウイルス	尖圭コンジローマ	淋菌感染症	臍トリコモナス症	梅毒様疾患	
1月	54	192	111	77	86	11	14
2月	55	191	97	83	98	6	25
3月	55	187	101	80	95	9	13
4月	55	189	97	70	89	17	18
5月	55	193	85	82	84	11	21
6月	54	225	105	102	103	14	15
7月	55	236	116	88	118	14	6
8月	54	195	100	92	101	8	13
9月	54	268	134	144	177	20	30
10月	54	295	142	154	131	15	32
11月	55	253	115	148	156	11	18
12月	55	254	126	117	156	15	16
合計		2,678	1,329	1,237	1,394	151	221

表9-2 月別定点あたり患者報告数(性感染症)

2015年1月~12月

報告定点数	性器クラミジア感染症	性器ヘルペスウイルス	尖圭コンジローマ	淋菌感染症	臍トリコモナス症	梅毒様疾患	
1月	54	3.56	2.06	1.43	1.59	0.20	0.26
2月	55	3.47	1.76	1.51	1.78	0.11	0.45
3月	55	3.40	1.84	1.45	1.73	0.16	0.24
4月	55	3.44	1.76	1.27	1.62	0.31	0.33
5月	55	3.51	1.55	1.49	1.53	0.20	0.38
6月	54	4.17	1.94	1.89	1.91	0.26	0.28
7月	55	4.29	2.11	1.60	2.15	0.25	0.11
8月	54	3.61	1.85	1.70	1.87	0.15	0.24
9月	54	4.96	2.48	2.67	3.28	0.37	0.56
10月	54	5.46	2.63	2.85	2.43	0.28	0.59
11月	55	4.60	2.09	2.69	2.84	0.20	0.33
12月	55	4.62	2.29	2.13	2.84	0.27	0.29
平均		4.09	2.03	1.89	2.13	0.23	0.34

表9-3 月別・性別患者報告数(性感染症) 2015年1月~12月

	報告 定 点 数	性器クラミジア 感染症		性器ヘルペス ウイルス感染症		尖圭 コンジローマ		淋菌感染症		膣トリコモナス症		梅毒様疾患	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
1月	54	104	88	80	31	56	21	50	36	1	10	6	8
2月	55	104	87	71	26	67	16	73	25		6	17	8
3月	55	100	87	72	29	66	14	57	38		9	9	4
4月	55	112	77	56	41	49	21	62	27		17	15	3
5月	55	99	94	58	27	61	21	57	27		11	16	5
6月	54	122	103	74	31	78	24	65	38	1	13	11	4
7月	55	141	95	75	41	58	30	68	50	1	13	3	3
8月	54	91	104	60	40	70	22	71	30		8	6	7
9月	54	170	98	102	32	98	46	142	35	3	17	18	12
10月	54	180	115	100	42	121	33	108	23	1	14	18	14
11月	55	151	102	84	31	119	29	127	29	2	9	12	6
12月	55	145	109	88	38	97	20	125	31	1	14	10	6
合 計		1,519	1,159	920	409	940	297	1,005	389	10	141	141	80

表9-4 月別・性別定点当たり患者報告数(性感染症) 2015年1月~12月

	報告 定 点 数	性器クラミジア 感染症		性器ヘルペス ウイルス感染症		尖圭 コンジローマ		淋菌感染症		膣トリコモナス症		梅毒様疾患	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
1月	54	1.93	1.63	1.48	0.57	1.04	0.39	0.93	0.67	0.02	0.19	0.11	0.15
2月	55	1.89	1.58	1.29	0.47	1.22	0.29	1.33	0.45		0.11	0.31	0.15
3月	55	1.82	1.58	1.31	0.53	1.20	0.25	1.04	0.69		0.16	0.16	0.07
4月	55	2.04	1.40	1.02	0.75	0.89	0.38	1.13	0.49		0.31	0.27	0.05
5月	55	1.80	1.71	1.05	0.49	1.11	0.38	1.04	0.49		0.20	0.29	0.09
6月	54	2.26	1.91	1.37	0.57	1.44	0.44	1.20	0.70	0.02	0.24	0.20	0.07
7月	55	2.56	1.73	1.36	0.75	1.05	0.55	1.24	0.91	0.02	0.24	0.05	0.05
8月	54	1.69	1.93	1.11	0.74	1.30	0.41	1.31	0.56		0.15	0.11	0.13
9月	54	3.15	1.81	1.89	0.59	1.81	0.85	2.63	0.65	0.06	0.31	0.33	0.22
10月	54	3.33	2.13	1.85	0.78	2.24	0.61	2.00	0.43	0.02	0.26	0.33	0.26
11月	55	2.75	1.85	1.53	0.56	2.16	0.53	2.31	0.53	0.04	0.16	0.22	0.11
12月	55	2.64	1.98	1.60	0.69	1.76	0.36	2.27	0.56	0.02	0.25	0.18	0.11

表9-5 保健所別、二次医療圏別患者報告数(性感染症)

2015年1月~12月

	設置 定点 数	性器クラミジア 感染症		性器ヘルペス ウイルス感染症		尖圭 コンジローマ		淋菌感染症		膣トリコモナス症		梅毒様疾患		合 計	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
千代田	2	123	9	13	5	40	2	64				4		244	16
中央区	3	81	24	49	6	13		29	3		1	3	1	175	35
みなと	2	130	25	403	56	67	38	38			3	3	38	641	160
新宿区	7	282	109	126	78	444	134	231	41		8	72	9	1,155	379
文京	1	61		16		8		25				2		112	
台東	2	18	285	2	18	6	41	19	256	1	59	10	22	56	681
墨田区	2	20	25	10	2	5		12	2		1	1	2	48	32
江東区	2	131	5	37	3	34	2	77		1	2	8	1	288	13
品川区	1	57	5	40	2	15	2	22				2		136	9
大田区	2	41	75		1			18			4			59	80
渋谷区	5	303	75	163	92	228	29	318	16	7	11	11	4	1,030	227
中野区	2	35	9	7			6	10	2	1	2	5	1	58	20
杉並	2	45	9	7		10		28	2			3		93	11
池袋	3	120	108	41	67	33	13	70	26		15	9	1	273	230
北区	1	10		2		25		6						43	
荒川区	1		13		7		1	5			5				31
板橋区	2	19	31	2	9	6	4	17	4		2	3		47	50
足立	2	11	41		1			2	2		3			13	47
江戸川	2	21	55	2	8	4	3	15	4		1	5		47	71
八王子市	4	3	66		14		4		5		9		1	3	99
町田市	1		49		23		10				4				86
多摩立川	2	3	137		15		6		20		10			3	188
多摩府中	3	5	1			2	2	4						11	3
多摩小平	1		3		2				1		1				7
合 計	55	1,519	1,159	920	409	940	297	1,005	389	10	141	141	80	4,535	2,475
定点当たり報告数		27.84	21.24	16.87	7.50	17.23	5.45	18.42	7.13	0.18	2.58	2.58	1.47	83.13	45.37
前年定点当たり報告数		25.14	19.76	15.24	8.76	12.29	5.92	16.19	7.11	0.07	2.28	1.89	0.61	70.83	44.45
当年/前年		1.11	1.07	1.11	0.86	1.40	0.92	1.14	1.00	2.50	1.13	1.37	2.40	1.17	1.02

区中央部圏	10	413	343	483	85	134	81	175	259	1	63	22	61	1,228	892
区南部圏	3	98	80	40	3	15	2	40			4	2		195	89
区西南部圏	5	303	75	163	92	228	29	318	16	7	11	11	4	1,030	227
区西部圏	11	362	127	140	78	454	140	269	45	1	10	80	10	1,306	410
区西北部圏	6	149	139	45	76	64	17	93	30		17	12	1	363	280
区東北部圏	3	11	54		8		1	2	7		8			13	78
区東部圏	6	172	85	49	13	43	5	104	6	1	4	14	3	383	116
南多摩圏	5	3	115		37		14		5		13		1	3	185
北多摩西部圏	2	3	137		15		6		20		10			3	188
北多摩南部圏	3	5	1			2	2	4						11	3
北多摩北部圏	1		3		2				1		1				7

表9-6 保健所別、二次医療圏別定点当たり患者報告数(性感染症)

2015年1月~12月

	設置 定点 数	性器クラミジア 感染症		性器ヘルペス ウイルス感染症		尖圭 コンジローマ		淋菌感染症		臍トリコモナス症		梅毒様疾患		合 計	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
千代田	2	61.50	4.50	6.50	2.50	20.00	1.00	32.00				2.00		122.00	8.00
中央区	3	27.00	8.00	16.33	2.00	4.33		9.67	1.00		0.33	1.00	0.33	58.33	11.67
みなと	2	65.00	12.50	201.50	28.00	33.50	19.00	19.00			1.50	1.50	19.00	320.50	80.00
新宿区	7	41.33	15.95	18.55	11.43	64.64	20.26	33.67	5.98		1.24	10.62	1.31	168.81	56.17
文京	1	61.00		16.00		8.00		25.00				2.00		112.00	
台東	2	9.00	142.50	1.00	9.00	3.00	20.50	9.50	128.00	0.50	29.50	5.00	11.00	28.00	340.50
墨田区	2	10.00	12.50	5.00	1.00	2.50		6.00	1.00		0.50	0.50	1.00	24.00	16.00
江東区	2	65.50	2.50	18.50	1.50	17.00	1.00	38.50		0.50	1.00	4.00	0.50	144.00	6.50
品川区	1	57.00	5.00	40.00	2.00	15.00	2.00	22.00				2.00		136.00	9.00
大田区	2	20.50	37.50		0.50			9.00			2.00			29.50	40.00
渋谷区	5	60.60	15.00	32.60	18.40	45.60	5.80	63.60	3.20	1.40	2.20	2.20	0.80	206.00	45.40
中野区	2	17.50	4.50	3.50			3.00	5.00	1.00	0.50	1.00	2.50	0.50	29.00	10.00
杉並	2	22.50	4.50	3.50		5.00		14.00	1.00			1.50		46.50	5.50
池袋	3	40.00	36.00	13.67	22.33	11.00	4.33	23.33	8.67		5.00	3.00	0.33	91.00	76.67
北区	1	10.00		2.00		25.00		6.00						43.00	
荒川区	1		13.00		7.00		1.00		5.00		5.00				31.00
板橋区	2	9.50	15.50	1.00	4.50	3.00	2.00	8.50	2.00		1.00	1.50		23.50	25.00
足立	2	5.50	20.50		0.50			1.00	1.00		1.50			6.50	23.50
江戸川	2	12.00	27.50	1.00	4.00	3.00	1.50	9.50	2.00		0.50	2.50		28.00	35.50
八王子市	4	0.75	16.50		3.50		1.00		1.25		2.25		0.25	0.75	24.75
町田市	1		49.00		23.00		10.00				4.00				86.00
多摩立川	2	1.50	68.50		7.50		3.00		10.00		5.00			1.50	94.00
多摩府中	3	1.67	0.33			0.67	0.67	1.33						3.67	1.00
多摩小平	1		3.00		2.00				1.00		1.00				7.00
合 計	55	1,519	1,159	920	409	940	297	1,005	389	10	141	141	80	4,535	2,475
定点当たり報告数		27.84	21.24	16.87	7.50	17.23	5.45	18.42	7.13	0.18	2.58	2.58	1.47	83.13	45.37

区中央部圏	10	41.30	34.30	48.30	8.50	13.40	8.10	17.50	25.90	0.10	6.30	2.20	6.10	122.80	89.20
区南部圏	3	32.67	26.67	13.33	1.00	5.00	0.67	13.33			1.33	0.67		65.00	29.67
区西南部圏	5	60.60	15.00	32.60	18.40	45.60	5.80	63.60	3.20	1.40	2.20	2.20	0.80	206.00	45.40
区西部圏	11	33.40	11.74	12.96	7.20	41.75	13.17	24.77	4.15	0.09	0.95	7.43	0.92	118.73	37.27
区西北部圏	6	24.83	23.17	7.50	12.67	10.67	2.83	15.50	5.00		2.83	2.00	0.17	60.50	46.67
区東北部圏	3	3.67	18.00		2.67		0.33	0.67	2.33		2.67			4.33	26.00
区東部圏	6	30.17	14.33	8.47	2.20	7.57	0.87	18.20	1.00	0.17	0.70	2.37	0.57	63.83	19.33
南多摩圏	5	0.60	23.00		7.40		2.80		1.00		2.60		0.20	0.60	37.00
北多摩西部圏	2	1.50	68.50		7.50		3.00		10.00		5.00			1.50	94.00
北多摩南部圏	3	1.67	0.33			0.67	0.67	1.33						3.67	1.00
北多摩北部	1		3.00		2.00				1.00		1.00				7.00

表9-7 年齢階級別患者報告数(性感染症) 2015年1月~12月

	性器クラミジア 感染症		性器ヘルペス ウイルス感染症		尖圭 コンジローマ		淋菌感染症		臙トリコモナス症		梅毒様疾患		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
0歳														
1~4歳														
5~9歳														
10~14歳		3		2				1						6
15~19歳	14	78	1	8	5	11	14	8		7	1		35	112
20~24歳	196	311	56	73	70	86	183	79		29	9	20	514	598
25~29歳	278	276	87	83	122	72	214	96	1	29	23	22	725	578
30~34歳	294	199	140	73	186	48	189	57	4	21	22	13	835	411
35~39歳	252	134	142	40	137	35	137	61	3	18	32	12	703	300
40~44歳	213	67	138	50	169	19	122	42		10	21	3	663	191
45~49歳	154	52	126	27	118	12	79	28		15	15	5	492	139
50~54歳	54	27	88	18	63	7	38	13	1	6	10	4	254	75
55~59歳	28	7	68	12	35	2	11	4		3	5	1	147	29
60~64歳	26	1	30	5	19	3	12				3		90	9
65~69歳	9	2	23	6	9		5		1	1			47	9
70歳以上	1	2	21	12	7	2	1			2			30	18
合計	1,519	1,159	920	409	940	297	1,005	389	10	141	141	80	4,535	2,475

表10 検査結果別報告数(基幹) 2015年1月~12月

病原体	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ 肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	合計
<i>Streptococcus agalactiae</i>	6					6
<i>Staphylococcus epidermidis</i>	2					2
<i>Streptococcus pneumoniae</i>	2					2
other bacteria	2					2
<i>Escherichia coli</i> k1	1					1
<i>Mycobacterium tuberculosis</i>	1					1
<i>Serratia</i> sp.	1					1
<i>Staphylococcus aureus</i>	1					1
Enterovirus nt.		7				7
Candida		1				1
coxsackievirus a9		1				1
echovirus 9		1				1
herpes simplex virus nt		1				1
<i>Mycoplasma pneumoniae</i>			715			715
<i>Chlamydia pneumoniae</i>				57		57
rotavirus group unknown					85	85
rotavirus group a nt.					4	4
記載無し	23	61	55	2	10	151
合計	39	72	770	59	99	1,039

表11 疑似症サーベイランス報告数 2015年第1週～第53週

週	期 間	定点数	発熱及び 呼吸器症状	発熱及び 発しん・水疱	保健所	定点数	発熱及び 呼吸器症状	発熱及び 発しん・水疱	年齢階級	発熱及び 呼吸器症状	発熱及び 発しん・水疱
1	12.29～1.4	443	4		千代田	4			0歳	12	6
2	1.5～1.11	443	7		中央区	5			1歳	26	6
3	1.12～1.18	443	7	1	みなと	9	2		2歳	12	3
4	1.19～1.25	443	4		新宿区	13			3歳	7	1
5	1.26～2.1	443	3		文京	8			4歳	8	
6	2.2～2.8	443	1		台東	7			5歳	2	1
7	2.9～2.15	443	2		墨田区	9			6歳	1	
8	2.16～2.22	443	8	1	江東区	14			7歳	1	1
9	2.23～3.1	443	2	1	品川区	13			8歳	1	1
10	3.2～3.8	443	1		目黒区	8			9歳	4	
11	3.9～3.15	443			大田区	22			10～14歳		
12	3.16～3.22	443	2	1	世田谷	28			15～19歳	2	
13	3.23～3.29	443			渋谷区	9	32	2	20～29歳	8	1
14	3.30～4.5	443	2		中野区	11			30～39歳	5	
15	4.6～4.12	443			杉並	16			40～49歳	6	1
16	4.13～4.19	443	1		池袋	9			50～59歳	3	
17	4.20～4.26	443	1		北区	11			60～69歳	6	
18	4.27～5.3	443	2	1	荒川区	7			70～79歳	19	
19	5.4～5.10	443			板橋区	18	71	17	80歳以上	3	
20	5.11～5.17	443	2	1	練馬区	21			合 計	126	21
21	5.18～5.24	443		1	足立	21					
22	5.25～5.31	443	1		葛飾区	13					
23	6.1～6.7	443	3	1	江戸川	19					
24	6.8～6.14	443	3		八王子市	19					
25	6.15～6.21	443	2		町田市	13					
26	6.22～6.28	443	1		西多摩	15					
27	6.29～7.5	443			南多摩	15					
28	7.6～7.12	443	3		多摩立川	23	3				
29	7.13～7.19	443	3		多摩府中	36	18				
30	7.20～7.26	443	1		多摩小平	24		2			
31	7.27～8.2	443	1		島しょ	3					
32	8.3～8.9	443	6	1	合 計	443	126	21			
33	8.10～8.16	443	4	2							
34	8.17～8.23	443	1	1							
35	8.24～8.30	443	3	2							
36	8.31～9.6	443	3								
37	9.7～9.13	443	2	5							
38	9.14～9.20	443	1	1							
39	9.21～9.27	443	2								
40	9.28～10.4	443	8								
41	10.5～10.11	443	1								
42	10.12～10.18	443	2	1							
43	10.19～10.25	443	2								
44	10.26～11.1	443	1								
45	11.2～11.8	443	2								
46	11.9～11.15	443	3								
47	11.16～11.22	443	1								
48	11.23～11.29	443	4								
49	11.30～12.6	443	3								
50	12.7～12.13	443	2								
51	12.14～12.20	443	1								
52	12.21～12.27	443	4								
53	12.28～1.3	443	3								
合 計			126	21							

